

官報

號外

大正八年三月九日

日曜日

印刷局

第四十二回 帝國議會 衆議院議事速記錄第二十一號

大正八年三月八日(土曜日)午後一時十二分開議

議事日程 第二十號 大正八年三月八日

午後一時開議

- 第一 都市計畫法案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 市街地建築物法案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第五 衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 衆議院議員選舉法中改正法律案(高木益太郎君外三名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 衆議院議員選舉法中改正法律案(武富時敏君外六名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 煙草專賣法中改正法律案(小林源藏君外十六名提出) 第一讀會
- 第九 織物消費稅法中改正法律案(小林源藏君外十六名提出) 第一讀會

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ガアリマス

(原田書記官朗讀)

- 一去六日政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
- 都市計畫法案
- 市街地建築物法案
- 一去五日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
- 煙草專賣法中改正法律案
- 提出者 小林 源藏君 武藤 金吉君
兒玉 好熊君 長田 桃藏君
原田佐之治君 高田 松平君
大津淳一郎君 高木 正年君
森田 茂君 大堀 孝君
渡邊 昭君 高松 正道君
松井文太郎君 森本一朗君
吉田 中君 秋田 清君
中川隣之輔君

織物消費稅法中改正法律案

提出者

- 小林 源藏君 武藤 金吉君
兒玉 好熊君 長田 桃藏君
原田佐之治君 高田 松平君
大津淳一郎君 高木 正年君
森田 茂君 大堀 孝君
渡邊 昭君 高松 正道君
松井文太郎君 森本一朗君
吉田 中君 秋田 清君
中川隣之輔君

家畜市場法中改正法律案

提出者

- 齋藤 珪次君 高橋嘉太郎君
指田 義雄君 工藤 吉次君
佐藤 喜八君 齋藤 安雄君
石射文五郎君 小山田信藏君
熊谷 直太君 工藤 卓爾君
遠藤 良吉君 八田 宗吉君
阿部武智雄君 野村治三郎君
東京帝國大學醫科大學藥學科擴張ニ關スル建議案
提出者 小林 源藏君 大口 喜六君
金杉英五郎君 土屋清三郎君

工業原料植物研究所設置ニ關スル建議案

提出者

- 鶴澤 總明君
大船渡、久慈間鐵道建設ニ關スル建議案
提出者 高橋嘉太郎君 工藤 吉次君
佐藤 喜八君 小林 源藏君
萩 亮君 中村啓次郎君

一昨七日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鐵道統一ニ關スル建議案

提出者

- 柏原文太郎君 鶴澤 宇八君
關 和知君 津田 毅一君
野村 嘉六君

一去五日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

宗教法制定ニ關スル質問主意書

提出者

- 田中 善立君

一去六日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

勞働政策ニ關スル再質問主意書

提出者

- 小山 松壽君

一昨七日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

清涼飲料水營業取締並內務省令改正ニ關スル質問主意書

提出者

- 橫山勝太郎君 三木 武吉君
田中 善立君 鈴木富士彌君

西伯利ニ關スル質問主意書

提出者

- 加藤 定吉君

一今八日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

朝鮮事變ニ關スル質問主意書

提出者

- 川崎 克君

一去五日內閣總理大臣ヨリ議長宛左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

農商務省所管事務政府委員被仰付

提出者

- 農商務技師 橋川 司亮

一昨七日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

事業公債金特別會計法案(政府提出)

臨時國庫證券法中改正法律案(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)

造幣局据置運轉資本增加及設備擴張費ニ關スル法律案(政府提出)

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

北海道鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

北海道舊土人保護法中改正法律案(政府提出)

一去二月二十五日議決シタル本院ノ決議ニ對シ去六日左ノ電報ヲ受領セリ

譯文

余ハ深ク閣下カ日本衆議院ヲ代表シテ表明セラレタル感念ヲ感荷シ余ノ誠實ナル謝辭ヲ議會ニ傳ヘラレシコトヲ悃請ス

巴黎千九百十九年三月四日午後八時十分

佛蘭西共和國內閣議長

デエ、クレマンソー

東京衆議院議長大岡育造閣下

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

去五日常任委員補選結果左ノ如シ
第四部

決算委員 菅野傳右衛門君(中野寅次郎君補闕)

去五日辭任シタル常任委員左ノ如シ

第二部選出決算委員 諏訪部庄左衛門君

第八部選出決算委員 村松 恆一郎君

去六日常任委員補選結果左ノ如シ

第二部 決算委員 百瀬清治君(諏訪部庄左衛門君補闕)

第八部 決算委員 中川幸太郎君(村松恆一郎君補闕)

去五日私立學校用地免租ニ關スル法律案委員有森新吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ柏原文太郎君ヲ、水産講習所内ニ淡水科特設ニ關スル建議案委員唐端清太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ鶴澤宇八君ヲ、大正六年度豫備金支出ノ件外六件(承諾ヲ求ムル件)委員川村精之君辭任ニ付其ノ補闕トシテ高田耘平君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

去六日耕地整理法中改正法律案委員小鹽八郎右衛門君辭任ニ付其ノ補闕トシテ堀尾茂助君ヲ議長ニ於テ選定セリ

一昨七日財政整理ニ關スル臨時調査機關設置ノ建議案委員井島義雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ一宮房治郎君ヲ、農務省新設ニ關スル建議案委員上田彌兵衛君辭任ニ付其ノ補闕トシテ堀尾茂助君ヲ、延松鐵道速成ニ關スル建議案委員井島義雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ原田十衛君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

一去六日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
市中改正法律案外三件委員

委員長 小山田信藏君 理事 野村 嘉六君

延松鐵道速成ニ關スル建議案委員

委員長 長峰 與一君 理事 松浦與三郎君

能代、五所川原間鐵道建設ニ關スル建議案委員

委員長 池田 龜治君 理事 佐々木平次郎君

鶴岡、大泉間國有輕便鐵道敷設ニ關スル建議案委員

委員長 熊谷 直太君 理事 關原 彌里君

新見、庄原間輕便鐵道建設ニ關スル建議案委員

委員長 福井 三郎君 理事 湯淺 凡平君

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ申ス事ガアリマス、第六部選出豫算委員井島義雄君、右常

任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ之ヲ許可致シマス、第六部ノ諸君ハ速ニ選舉ヲ行ヒ、御届出アランコトヲ望ミマス、日程第一及第三ハ便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ一括議題ト致シマス、第一、都市計畫法案、第三、市街地建築物法案——床次内務大臣

第一 都市計畫法案(政府提出) 第一讀會

都市計畫法

第一條 本法ニ於テ都市計畫ト稱スルハ交通、衛生、保安、經濟等ニ關シ永久ニ公共ノ安寧ヲ維持シ又ハ福利ヲ増進スル爲ノ重要施設ノ計畫ニシテ市ノ區域内ニ於テ又ハ其ノ區域外ニ互リ施行スヘキモノヲ謂フ

第二條 前條ニ規定スル市ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス其ノ市ノ都市計畫區域ハ關係市町村及都市計畫委員會ノ意見ヲ聞キ主務大臣之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受クヘシ

第三條 都市計畫、都市計畫事業及毎年度執行スヘキ都市計畫事業ハ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ主務大臣之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 都市計畫委員會ハ組織、權限及費用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 都市計畫事業ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政廳之ヲ執行ス

主務大臣特別ノ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政廳ニ非サル者ヲシテ其ノ出願ニ依リ都市計畫事業ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

第六條 都市計畫事業ノ執行ニ要スル費用ハ行政官廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ國、公共團體ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ公共團體、行政廳ニ非サル者之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ者ノ負擔トス

主務大臣必要ト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ受クル利益ノ限度ニ於テ前項ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七條 主務大臣必要ト認ムルトキハ前條ノ規定ニ依

リ公共團體ノ負擔スヘキ毎年度ノ金額ノ最低限度ヲ定ムルコトヲ得

第八條 公共團體ハ第四條又ハ第六條ノ費用ニ充ツル爲メ特別稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ府縣費ヲ市ニ分賦スル場合ニ於テ市カ營業稅、雜種稅又ハ家屋稅ヲ賦課スルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ其ノ稅率ヲ定ムヘシ

一 地租制 地租百分ノ十二半以內

二 國稅營業稅制 國稅營業稅百分ノ十七以內

三 營業稅、雜種稅又ハ家屋稅 各府縣稅十分ノ四以內

四 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルモノ

公共團體ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ公共團體ノ他ノ收入ヲ以テ第四條又ハ第六條ノ費用ニ充ツルコトヲ得

第九條 都市計畫區域内ニ存スル國有河岸地ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノハ第六條ノ費用ヲ負擔スル公共團體ニ之ヲ下付スルコトヲ得

第十條 都市計畫區域内ニ於テ市街地建築物法ニ依リ區域又ハ地區ノ指定、變更又ハ廢止ヲ爲ストキハ都市計畫ノ施設トシテ之ヲ爲スヘシ

都市計畫區域内ニ於テハ市街地建築物法ニ依リ區域及地區ノ外土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ風致又ハ風紀ノ維持ノ爲メ特ニ地區ヲ指定スルコトヲ得

第十一條 第十六條第一項ノ土地ノ境域内又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ指定スル地區内ニ於ケル建築物、土地ニ關スル工事又ハ權利ニ關スル制限ニシテ都市計畫上必要ナルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 都市計畫區域内ニ於ケル土地ニ付テハ其ノ宅地トシテノ利用ヲ増進スル爲メ土地區劃整理ヲ施行スルコトヲ得

前項ノ土地區劃整理ニ關シテハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外耕地整理法ヲ準用ス

第十三條 都市計畫トシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル土地區劃整理ハ認可後一年內ニ其ノ施行ニ著手スル者ナキ場合ニ於テハ公共團體ヲシテ都市計畫事業トシテ之ヲ施行セシム

前項ノ規定ニ依リ公共團體ノ施行スル土地區劃整理ニ付耕所整理法ヲ準用シ難キ事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第十四條 地方長官土地區劃整理ノ設計ニ關スル認可ヲ爲ス場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條 土地區畫整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ
勅令ノ定ムル所ニ依リテ之ヲ定ム

第十六條 道路、廣場、河川、港灣、公園其ノ他勅令
ヲ以テ指示スル施設ニ關スル都市計畫事業ニシテ内
閣ノ認可ヲ受ケタルモノニ必要ナル土地ハ之ヲ收用
又ハ使用スルコトヲ得

前項土地附近ノ土地ニシテ都市計畫事業トシテノ建
築敷地造成ニ必要ナルモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

第十七條 土地區畫整理ノ爲又ハ衛生上若ハ保安上
ノ必要ニ依リ建築物ノ整理ノ爲必要アルトキハ建築
物其ノ他ノ工作物ヲ收用スルコトヲ得

第十八條 前二條ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテ
ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外土地收用法ヲ
適用ス

前項ノ規定ニ依リ土地收用法ノ適用ニ付テハ前條ノ
工作物ハ之ヲ土地ト看做ス

第十九條 第十六條又ハ第十七條ノ規定ニ依リ收用
又ハ使用ニ付テハ第三條ノ規定ニ依リ都市計畫ノ認
可ヲ以テ土地收用法ニ依リ事業ノ認定ト看做ス

第二十條 土地收用法第二十二條第一項ノ協議調ハ
サル場合又ハ其ノ協議ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ
ハ事業執行者ハ主務大臣ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコト
ヲ得

前二項ノ規定ハ損失ノ補償ノ協議ニ關シテハ之ヲ適
用セス

第二十一條 第九條ノ規定ニ依リ下付ヲ受ケタル土地
及第十六條第二項ノ規定ニ依リ收用シタル土地ノ處
分及管理ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 都市計畫事業ニ依リ生ジタル營造物ノ
管理ニ付特ニ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
其ノ管理者ヲ定ム

第二十三條 行政執行法第五條及第六條ノ規定並
之ニ基キテ發スル命令ハ本法若ハ本法ニ基キテ發ス
ル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ行フヘキ作爲
又ハ不作爲ヲ行政廳カ強制スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之
ニ依リテ爲ス處分ニ依リ私人ノ義務ニ屬スル負擔金
其ノ他ノ費用ハ行政廳國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ
徵收スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ徵收金ノ先取特權ノ順位並其ノ
追徵還付及時效ニ付テハ行政廳ノ統轄スル公共團

體ノ徵收金ノ例ニ依リ

第二十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定
シタル事項ニ付行政廳ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ
訴願スルコトヲ得

本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ
於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二十六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規
定シタル事項ニ付行政廳ノ爲シタル違法處分ニ因リ
權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴
スルコトヲ得

附則

第二十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 東京市區改正條例、東京市區改正土地
建物處分規則及大正七年法律第三十六號並之ニ
基キテ發シタル命令ハ之ヲ廢止ス

第二十九條 東京市區改正條例及東京市區改正土
地建物處分規則ノ適用又ハ準用ヲ受ケル市ハ第二
條第一項ノ規定ニ依リ指定セラレタルモト看做ス

第三十條 東京市區改正條例又ハ大正七年法律第
三十六號ニ依リ内閣ノ認可ヲ受ケタル設計又ハ議定
シタル事業ハ各本法ニ依リ内閣ノ認可ヲ受ケタル都市
計畫又ハ都市計畫事業ト看做ス

第三十一條 東京市區改正條例、東京市區改正土地
建物處分規則若ハ大正七年法律第三十六號又ハ之
ニ基キテ發シタル命令ニ依リ爲シタル處分ハ本法又ハ
本法ニ基キテ發スル命令ニ抵觸セザル限り本案ニ依リ
爲シタル處分ト看做ス

第三十二條 東京市區改正土地建物處分規則ノ適
用又ハ準用ニ依リ行政廳ノ爲シタル處分ニ關シテハ同
規則第一條第二項乃至第四項ハ仍其ノ效力ヲ有ス

第三十三條 東京市區改正條例又ハ大正七年法律
第三十六號大正七年勅令第百八十四號ニ依リ下付
ヲ受ケタル官有ノ河岸地ハ其ノ下付ヲ受ケタル市ノ所
有ニ屬スル間地租ヲ免除ス但シ其ノ都市計畫事業ノ
終リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ河岸地ヨリ收入スル金額ハ其ノ市ノ都市計畫
事業ノ終リ迄之ヲ他ニ支出スルコトヲ得

第一項ノ河岸地ノ下付ヲ受ケタル市ハ之ヲ賣却讓與
スルコトヲ得但シ已ムヲ得サル場合ニ於テ都市計畫
委員會ノ議決ヲ經テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキ
ハ此ノ限ニ在ラス

第三 市街地建築物法案(政府提出) 第一讀會

市街地建築物法

第一條 主務大臣ハ本法ヲ適用スル區域内ニ住居地
域、商業地域又ハ工業地域ヲ指定スルコトヲ得

第二條 建築物ニシテ住居ノ安寧ヲ害スル虞アル用途
ニ供スルモノハ住居地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得

第三條 建築物ニシテ商業ノ利便ヲ害スル虞アル用途
ニ供スルモノハ商業地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得

第四條 工場、倉庫其ノ他之ニ準スヘキ建築物ニシテ
規模大ナルモノ又ハ衛生上有害若ハ保安上危險ノ
虞アル用途ニ供スルモノハ工業地域内ニ非サレハ之ヲ
建築スルコトヲ得

主務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ建築物ニシテ若
シク衛生上有害又ハ保安上危險ノ虞アル用途ニ供ス
ルモノニ付テハ工業地域内ニ於テ其ノ建築ニ付特別
地區ヲ指定スルコトヲ得

第五條 前三條ノ規定スル建築物ノ種類ハ勅令ヲ以
テ之ヲ定ム

第六條 前四條ノ規定ノ適用ニ付テハ新ニ建築物ノ
用途ヲ定メ又ハ建築物ヲ他ノ用途ニ供スルトキハ其
ノ用途ニ供スル建築物ヲ建築スルモノト看做ス

第七條 道路敷地ノ境界線ヲ以テ建築線トス但シ特
別ノ事由アルトキハ行政官廳ハ別ニ建築線ヲ指定ス
ルコトヲ得

第八條 建築物ノ敷地ハ建築線ニ接セシムルコトヲ要
ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ
受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 建築物ハ建築線ヨリ突出セシムルコトヲ得
但シ建築線カ道路幅ノ境界線ヨリ後退シテ指定セラ
レタルモノナルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ建築物ノ
前面突出部又ハ基礎ハ道路幅ノ境界線ヲ超エサル
範圍内ニ於テ建築線ヨリ之ヲ突出セシムルコトヲ得

第十條 行政官廳ハ市街ノ體裁上必要ト認ムルトキハ
建築線ニ面シテ建築スル建築物ノ壁面ノ位置ヲ指定
スルコトヲ得

第十一條 建築物ヲ建築スル場合ニ於ケル其ノ高又ハ
其ノ敷地内ニ存セシムヘキ空地ニ關シテハ地方ノ狀
況、地域及地區ノ種別、土地ノ情態、建築物ノ構造、
前面道路ノ幅員等ヲ參酌シ勅令ヲ以テ必要ナル規
定ヲ設クルコトヲ得

第十二條 主務大臣ハ建築物ノ構造、設備又ハ敷地
ニ關シ衛生上又ハ保安上必要ナル規定ヲ設クルコト
ヲ得

第十三條 主務大臣ハ火災豫防上必要ト認ムルトキハ防火地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル防火設備又ハ建築物ノ防火構造ニ關シ必要ナル規定ヲ設ケルコトヲ得

防火地區内ニ於テハ建物ノ部分ヲ爲ス防火壁ハ土地ノ疆界線ニ接シテ設ケルコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ學校、集會場、劇場、旅館、工場、倉庫、病院、市場、屠場、火葬場其ノ他命令ヲ以テ指定スル特殊建築物ノ位置、構造、設備又ハ敷地ニ關シ必要ナル規定ヲ設ケルコトヲ得

第十五條 主務大臣ハ美觀地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル建築物ノ構造、設備又ハ敷地ニ關シ美觀上必要ナル規定ヲ設ケルコトヲ得

第十六條 主務大臣ハ建築物ノ工事執行ニ關シ必要ナル規定ヲ設ケルコトヲ得

第十七條 行政官廳ハ建築物左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ除却、改築、修繕、使用禁止、使用停止其ノ他ノ必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

一 保安上危險ト認ムルトキ
二 衛生上有害ト認ムルトキ
三 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ建築物ヲ建築シタルトキ

第十八條 本法適用區域ノ設定若ハ變更、地域若ハ地區ノ指定若ハ變更其ノ他ノ場合ニ於テ從來存在スル建築物其ノ後新ニ建築セラレタリトセハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スヘキモノナルトキハ行政官廳ハ相當ノ期間ヲ指定シ其ノ建築物ニ付前條ニ掲クル必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ措置ヲ命スルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ建築物所在地ノ公共團體ヲシテ損失ヲ補償セシム

前項ノ規定ニ依リ補償ヲ受クヘキ者補償金額ニ付不服アルトキハ其ノ金額決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十九條 建築主、建築工事請負人、建築工事管理業者又ハ建築物ノ所有者若ハ占有者若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ二千元以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十條 前條ノ規定ハ前條ニ掲クル者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者其ノ營業ニ關シ前條ニ規定スル違反ヲ爲シタルト

キハ此ノ限ニ在ラス
前條ニ掲クル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者其ノ營業ニ關シ前條ニ規定スル違反ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得

前條ニ掲クル者法人ナルトキハ明治三十三年法律第五十二條ヲ準用ス

第二十一條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政官廳ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得

本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二十二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政官廳ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十三條 本法適用ノ區域ハ勅令ヲ以テ指定スル市、區其ノ他ノ市街地トス

特別ノ必要アル場合ニ於テハ勅令ヲ以テ其ノ定ムル所ニ依リ前項ノ市街地ノ外ニ互リ本法適用ノ區域ヲ定ムルコトヲ得

第二十四條 本法ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ建築工事中ノ建築物、建築工事ニ著手セサルモ設計アル建築物又ハ建築物ニ非サル工作物ニ之ヲ準用スルコトヲ得

第二十五條 本法ノ全部又ハ一部ノ適用ヲ必要トセサル建築物ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條 本法ニ於テ道路ト稱スルハ幅員九尺以上ノモノヲ謂フ

道路ノ新設又ハ變更ノ計畫アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ計畫ノ道路ハ之ヲ道路ト看做ス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣床次竹二郎君登壇〕
〔拍手起ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 近時都市ノ膨脹ハ著シイ現象デゴザイマス、東京市、大阪市ハ固ヨリコト、其他ノ大都市ニ於キマシテモ、市ノ區域内外ニ互テ、膨脹發展ノ勢ハ殊ニ顯著ナル狀況デゴザイマス、人口稠密ニナリマス結果ハ、自ラ都市ノ交通、衛生、保安、經濟等ニ甚シク影響アルコトハ申スマデモゴザイマセヌ、之ニ對スル相當ナル都市計畫ヲ立テ、進ミタイト云フコトハ、何レノ都市ニ於キマシテモ、要望セラレテ居ル所デゴザイマス、四十議會ニ於

テ兩院ノ協賛ヲ得テ、取敢ヘズ東京市區改正條例中ニ一部ノ改正ヲ加ヘラレタノデアリマシテ、京都、大阪、其他内務大臣ノ指定スル地ニモ、之ヲ準用スル途ヲ開ケラレタノデアリマス、是デハ未ダ十分デゴザイマセヌ、將來秩序アル健全ナル發達ヲ遂ゲシメタルニ云フニハ十分デゴザイマセヌ、殊ニ市區改正條例ニ附屬致シマスル土地建物處分規則ト云フモノハ、三十年前ノ發布デアリマシテ、不備ノ點モ尠カラズ、當議會ニ於テ問題ニナタコトモアリマシテ、當時政府ニ於テハ、適當ノ時機ニ於テ改正ヲ致シタイト云フコトヲ言明致シマシタコトモゴザイマス、此法案ノ中ノ要點ヲ申上ゲマスレバ、第一ハ都市ノ發達ニ應ズル地域設定ニ關スル規定ヲ致シタコトデゴザイマス、現行法デハ土木又ハ衛生ニ關スル工事ノ設計ヲ定メルト云フ途ハ開ケテゴザイマセヌ、住居、商業、工業等ノ地域ヲ設定スルコトニ付テハ、何等ノ規定ガゴザイマセヌ、目今是等ノ事ハ都市ノ狀況ヨリシテ、必要ナルコト、考ヘルノデアリマス、尙ホ市街地ノ利用ヲ計ル上ニ於キマシテ、土地區劃ノ整理ニ關スルコトハ必要ナル事デゴザイマス、現在ニ於キマシテハ是等ニ關スル規定ガ無イ爲メニ、已ムヲ得ズ耕地整理法ヲ適用致シテ居ルノデアリマス、甚ダ遺憾ニ感ズル點ガゴザイマス、又現在ノ法律ニ於キマシテハ、都市計畫ノ實行上、此收用ニ關スル制度ハ、不十分デゴザイマス、仍テ之ヲ今日ノ時代ニ應ズル土地收用法ヲ規定致シタ譯デアリマス、或ハ又道路ニ沿ウテ建築敷地等ノ利用ヲ計ル上ニ於テ、建築地帶ニ關スル收用ノ規定ヲモ致シマシタ、以上改正ノ重ナル事柄デゴザイマス、大體今日ノ市區改正條例ヲ骨子トシテ襲用——踏襲致シテゴザイマス、右法案大體ノ說明デゴザイマス、此市街地建築物法案ハ、都市計畫法案ト相俟テ、始メテ都市計畫ノ實行ヲ得ル次第デゴザイマス、此法案ニ於キマシテハ、住居、商業、又ハ工業ノ地域ヲ設定スル事ニ關スル規定ヲ致シマシタ、尙ホ道路ト建築トノ關係、建築物ノ高さ、若クハ構造等ニ關スル規定ヲ致シマシタ、今日ノ時代ニ應ジテ都市ノ計畫ヲ實行致シタイ積リデアリマス、市區改正條例ヲ發布セラル、際ニ當リマシテモ政府當局ニ於キマシテハ、同時ニ建築ニ關スル制度ヲモ立テタイト云フ希望モアツタ趣デアリマシタ、其當時民度未ダ進マザルモノアリ、其儘ニナテ居リマシタ、爾來此建築ニ關スル事、或ハ屋上制限ナリ、若クハ衛生上有害ナル建築ニ對スル取締等ナル、斷片的ニ地方ノ警察令ヲ以テ取締規則ヲ設ケデアリマス、今日ノ實況デゴザイマス、民度ノ進ミマシテ、段々規模ノ宏大ナル建築物ノ建築セラレ、今日ニ當リマシテハ、是等ノ取締規則ノミヲ以テ十分ナリト申スコトハ出來マセヌ、ソレ故ニ此法案ヲ設定致シマ

○國務大臣(床次竹二郎君) 高木君ニ御答致シマスガ、
勅令ヲ以テ指定スル市ト云フモノハ、今ノ所デドウ云フ考カ
トニフ御尋ハ、此法案ノ二十九條ニ「東京市區改正條例
及東京市區改正土地建物處分規則ノ適用又ハ準用ヲ受
クル市ハ第二條第一項ノ規定ニ依リ指定セラレタルモノト
看做ス」唯今斯様ニ承知ヲ下サレテ宜シウゴザイマス、ソレ
カラ第二ノ(高木益太郎君「今六大都市デスナ」ト呼フ)左
様デアリマス、都市計畫ニ關スル豫算ガアルカト云フコトデ
アリマスカ、ソレハ取調ベテ居リマセヌ、大體ハ法案ニ就テ
御覽下サル如ク、先ヅ此都市デアリマスレバ、現在東京ハ
市區改正條例ニ依ッテ市區改正ヲ致シテ居リマスガ、ソレ
ニ今日ヨリモヨリ以上ノ便利ノ途ヲ開キタイト云フコトニ、
承知ヲ下サレバ宜シウゴザイマス、事業ノ計畫、順序、實行
ノ順序等ハ、都市委員會ニ於テ自然定ムル譯デアリマス、ソ
レカラ第三ノ財源ノコトニ就キマシテハ、現行市區改正條
例ニ別段變更ハ加ヘテ居リマセヌ、新タナル考ヲ有シテ居リ
マセヌ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス(高木益太郎君「何年間ニ
完成スル見込デアリマスカ」ト呼フ)ソレハソレ、各都市ニ
於テ、都市計畫委員會ガ何レ組織サレマスカ、是等ノ委
員ニ於テ十分審議ヲ盡サル、積リデアリマス、左様ニシテ決

定スル積リデアリマス、ソレカラ労働者ノ家居問題、其他縷縷御述ニナリマシタ事ハ、私モ至極御同感デアリマスガ、此案ニ就テハ、直接其等ノ所マデ考テ及ボシテ居リマセヌ、何レサウ云フ問題ハ、追々調査ヲ致サナレバナラヌト考ヘテ居リマス、第四委員會ノ組織、此委員會ノ組織モ、専ラ現在東京市區改正委員會ト相異ナラザル組織ヲ致ス積リデアリマス、唯今御注意ノアリマシタ、區ニ從事スル人ニシテ、其必要ナリト思フ人ハ、總テ加フルコトガ出來ル譯ニナッテ居リマスカラ、注意ヲ致シマス(高木益太郎君「財源ハドウデスカ」ト呼フ)其事ハ考ヘテ居リマセヌ、自然他日必要ガアル時、更ニ考慮致シマス

○議長(大岡育造君) 兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 唯今ノ日程第一及第三ハ、一括シテ委員ニ付託シ、其委員ハ二十七名トシ、議長指名ニセラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナレバ、岩崎君ノ動議ノ如ク決定致シマス

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ便宜上政府ノ同意ヲ得テ、日程第八及第九ヲ一括シテ議題ト爲シ、簡單ニ提出者ノ御説明ヲ求メ、先ジ其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ——日程變更ニ政府ハ同意デスカ

○國務大臣(床次竹二郎君) 簡單ノ御説明デアリマスレバ、同意致シマス

○議長(大岡育造君) 條件附加デアリマス、簡單ノ御説明デアリマスレバ、政府ハ同意スルト云フコトデアリマス

第八 煙草專賣法中改正法律案(小林源藏君外十六名提出) 第一讀會

第二十條ノ二 政府ハ煙草排作者ノ組織スル組合又ハ其ノ聯合組合ニ對シ專賣事務執行上必要ナル施設ヲ爲シ又ハ其ノ補助ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ組合又ハ聯合組合ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依

リ豫算ノ範圍内ニ於テ交付金ヲ下付スルコトヲ得

附則

本法ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九 織物消費稅法中改正法律案(小林源藏君外十六名提出) 第一讀會

織物消費稅法中左ノ通改正ス

第二十二條 政府ハ織物ノ製造者又ハ販賣者ノ組織スル組合ニ對テ徵稅上必要ナル設備ヲ爲シ又ハ徵收事務ノ補助ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ組合ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ取扱ヒタル織物中消費稅ヲ賦課シタル織物ノ價額ノ千分ノ一以內ノ金額ヲ交付スルコトヲ得

本法ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(大岡育造君) 小林源藏君

〔小林源藏君登壇〕

〔拍手起リ「簡單」ト呼フ者アリ〕

○小林源藏君 諸君、唯今議題ニ供セラレマシタ所ノ二ツノ法律案ハ、各派協同シテ提出致シタノデ、而モ其贊成者ハ、内閣員並ニ政府ノ役人タル所ノ議員ヲ除イテハ、殆ド各派ヲ通ジテ全部贊成セラレテ提出シタル所ノ法案デアリマス、隨テ爰ニ殆ド説明ヲ要サヌ位デアリ、諸君ノ要求ヲ俟タズシテ、簡單ニ說明シテ宜シイノデアリマスケレドモ、尙ホ數言ノ説明ヲ爲ササルベカラザル所以ノモノハ、近クハ政府ノ贊成ヲ求メ、遠クハ貴族院ノ諸公ニ對ヘント欲スル意昧デアルト申シテ宜シイノデアリマス(笑聲起リ「簡單々々」ト呼フ者アリ)茲ニ此二法案ト殆ド同ジキ所ノ建議案ヲ提出致シマシテ、政府委員ト反覆質問應答致シマシタル結果ニ依リマス、織物組合ガ織物消費稅徵收上ニ於テ多大ノ便宜ヲ與ヘ、隨テ多大ノ金ヲ費シテ居リ、葉煙草ノ耕作組合ガ、葉煙草收納上ニ於テ、是亦諸般ノ手傳ヲ爲シテ、其組合自身ガ政府ノ爲メニ金ヲ使テ居ルト云フコトハ、明白ナル事實トナッテ居ルノデアリマス、而シテ政府ハ其事實ヲ認メテ居ルカラシテ、此議會ニ追加豫算ヲ提出シタイト思ッテ居ルトモ申シタノデアリマスガ、退イテ考ヘテ見ルニ、事實ハ斯ノ如クニナッテ居ルケレドモ、組合ハ政府ノ手傳ヲ爲スコトヲ拒ムコトモ出來、又政府ハ交付金ヲ與ヘルコトヲ拒ムコトモ出來ルノデアリマス、是ニ於テ其交付金ノ歲出ヲシテ、法律ノ結果ニ基ク歲出ヲシムルト同時ニ、組合ニ對シテ政府ガ諸般ノ手傳ヲ命ズコトヲ得ル權力ヲ、政府ニ與ヘント欲スル所ノ此法律案デアリマス(分リマシタ「ト呼フ者アリ」)立憲的ニ此行爲ヲ規定セント欲スル所ノ法律案

第五 衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(續)(委員長報告)

第六 衆議院議員選舉法中改正法律案(高木益太郎君外三名提出) 第一讀會(續)(委員長報告)

第七 衆議院議員選舉法中改正法律案(武富時敏君外六名提出) 第一讀會(續)(委員長報告)

〔小川平吉君登壇〕

〔拍手起リ〕

○小川平吉君 衆議院議員選舉法中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ八回開會ヲ致シマシタ、殆ド毎回一人ノ缺席者無ク、非常ナル勵精ヲ以テ、慎重ニ此案ニ就テ研究審議ヲ盡サレマシタ、明治三十三年ノ選舉法改正案ニ於テ、六回十四時間ヲ費シ、明治四十五年ノ選舉法改正案ニ於テ、四回十一時間半ヲ費シタニ較ベマスレバ、今回ハ實ニ八回三十六時間半ト云フ十分ナル時間ヲ費シテ、極メテ慎重ニ審議ヲ盡シマシタ次第デアリマス、委員會ニ現レタル質問應答ノ趣意ハ、後ニ通告ガ澤山ゴザイマスカラシテ、後ノ御方ヨリ十分ニ精シク述ベラレコトデアアラウト思ヒマスカラ、爰ニハ極メテ簡單ニ其要旨タケヲ御紹介申スコトニ止メヤウト考

デアリマスルカラ、各派協同シテ、殆ド全會一致贊成セラレタ所以デアルト思フノデアリマス、其内容ニ就キマシテハ、委員會ニ於テ委シク政府ト質問應答計議ヲ重ネテ宜シイト思ヒマスルカラ、茲ニハ說明致シマセヌガ(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)速ニ委員會ニ付議シテ、可決セラレンコトヲ切望シテ已マザルモノデアリマス、本日ハ最も重要ナル選舉法改正案ノ上程サレテ居ルニモ拘ラズ、日程ヲ變更シテ此法案說明ノ機會ヲ與ヘラレタルコトヲ、此ニ證シテ感謝致シマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 兩案ヲ一括シテ、議長指名ヲ以テ、特ニ二十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ、岩崎君ノ動議ノ如ク決シマシタ、是ヨリ日程第五、第六、第七ヲ一括議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メル、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ委員長小川平吉君

第五 衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(續)(委員長報告)

第六 衆議院議員選舉法中改正法律案(高木益太郎君外三名提出) 第一讀會(續)(委員長報告)

第七 衆議院議員選舉法中改正法律案(武富時敏君外六名提出) 第一讀會(續)(委員長報告)

〔小川平吉君登壇〕

〔拍手起リ〕

○小川平吉君 衆議院議員選舉法中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ八回開會ヲ致シマシタ、殆ド毎回一人ノ缺席者無ク、非常ナル勵精ヲ以テ、慎重ニ此案ニ就テ研究審議ヲ盡サレマシタ、明治三十三年ノ選舉法改正案ニ於テ、六回十四時間ヲ費シ、明治四十五年ノ選舉法改正案ニ於テ、四回十一時間半ヲ費シタニ較ベマスレバ、今回ハ實ニ八回三十六時間半ト云フ十分ナル時間ヲ費シテ、極メテ慎重ニ審議ヲ盡シマシタ次第デアリマス、委員會ニ現レタル質問應答ノ趣意ハ、後ニ通告ガ澤山ゴザイマスカラシテ、後ノ御方ヨリ十分ニ精シク述ベラレコトデアアラウト思ヒマスカラ、爰ニハ極メテ簡單ニ其要旨タケヲ御紹介申スコトニ止メヤウト考

極メテ簡單ニ其要旨タケヲ御紹介申スコトニ止メヤウト考

ヘルノデアリマス、第一、此普通選舉論者ハ、納税ノ制限ヲ
全ク撤廢シタリ、是ハ世界ノ大勢ニモ從ヒ、日本ノ現狀
並ニ將來ニ照シテ、今日ノ財産上ノ制限ハ不必要デア
ルコトヲ趣意ヲ以テ、質問討論ヲセラレマシタ、之ニ對スル制限
必要論者ハ、今日ノ日本ノ現狀ニ照シテ、財産上ノ制限
置ク必要ガ有ル、歐羅巴諸國ノ歴史ヲ見テモ、普通選舉
至ルマデニハ、幾多ノ年月ト階級トヲ經テ、然ル後ニ漸ク到
達シタノデアリ、今日日本ノ現狀ハ、恆産アル者ハ恆心アリ、
且又相當ノ智識資格ヲ具ヘテ居ルノデアリカラシテ、矢
張財産上ノ制限ヲ置クノハ、今日ノ現狀ニ於テ、最も相當
デアルト云フ趣意デゴザイマス、又國民黨並ニ憲政會ノ財
產上ノ制限ヲ、直接國稅ニ圓ニ低下スル所ノ論者ノ主張
ハ、選舉權ハ益々擴張スルコトヲ必要トスル、併ナガラ普通
選舉ニ達スルノハ、餘リニ急激デアリガ、今日ノ場合ニ於テ
ハ、出來得ルダケ此制限ヲ低下スル必要ヨリシテ、二圓マデ
下ゲルト云フ論デアリマシタ、政府ノ方ノ主張ハ、今日ノ場
合ハ府縣會議員ノ選舉資格モ、直接國稅三圓以上ヲ納ム
ル者ニ與ヘテ居ル、急激ニ之ヲ飛越エテ二圓ニマデ下ゲルト
云フコトハ、餘リニ穩當デナイ、乃チ三圓ヲ以テ相當トスル
スウ云フ趣意デアリマシタ、又智識階級——ニ選舉權ヲ
與ヘルト云フ主張ガアリマシタ、之ニ就キマシテハ、中學卒
業以上ノ者、若クハ是ト同等以上ノ學力有リト檢定セラレ
タル者ニ選舉權ヲ與ヘルノガ相當デアリ、殊ニ是等ノ者ニ
選舉權ヲ與ヘル結果トシテ、選舉界ノ弊害ヲ革正スルコト
ガ出來ル、又是等ノ者ハ、都市ニ多クシテ郡部ニハ割合ニ
少イノデアリカラシテ、今日ノ法律ニ依テ、都會ニハ選舉權
者ガ比較ノ少ク、郡部ニハ比較ノ多イ、此偏輕偏重ニ向
テ緩和ヲスル利益ガ在ル、斯様ナ主張デアリマス、之ニ對ス
ル政府ノ主張ノ概要ハ、成程智識階級ニ選舉權ヲ與フル
ト云フコトハ、一應尤ノヤウデアリケレドモ、併ナガラ中學卒
業以上ノ者ト云ヘバ、其數五十餘万人ノ中、或ハ既ニ現在
ノ法ニ依テ選舉權ヲ享有シテ居ル者ガアル、或ハ又年齡二
十五歳ニ達セザルガ爲メニ、選舉權ヲ與ヘルコトガ出來ナイ
者ガアル、之ヲ差引クトキハ、僅カ十萬位ノ數ニ充タナイノ
デアリ、之ヲ以テ選舉界ヲ廓清スルトカ、或ハ現時ノ偏輕偏
重ヲ矯ムルト云フガ如キ事ハ、殆ド望ムベカラザル事デアリ、
殊ニ此學校卒業生ダケニ與ヘルト云フコトニナレバ、學校ヲ
卒業セザル所ノ、是レ以上ノ學力ヲ有シ、是レ以上ノ智識
ヲ有スル國民ノ數ハ非常ニ多數デアリ、之ニ對シテ選舉權
ヲ與ヘナイト云フコトハ、不公平デアリ、不徹底デアリ、而シ
テ又是等ノ人ニ向テ選舉權ヲ與ヘント欲スレバ、如何ニシ
テ之ヲ與ヘルカ、其標準ヲ見出スコトガ甚ダ困難デアリ、到
底實行不可能ノ事デアリ、斯様ナ趣意ヲ以テ反對セラレタ

ノデアリ、又大選舉區小選舉區ノ政府ノ主張ニ依レバ、明
治三十三年ニ小選舉區ヲ變ジテ、現在ノ大選舉區制ニ改
メル場合ニ於ケル立法ノ趣意ハ、其後現行法ヲ實行シタル
結果トシテ、十分ニ之ヲ達スルコトノ出來ナイコトガ明ニナ
テ參タ、又大選舉區デアリガ故ニ、種々ナル弊害ガ續出致
シテ、選舉費ハ非常ニ膨脹シ、選舉區ハ非常ニ腐敗スル
云フコトニナツタノデアリ、殊ニ今回改正ノ結果トシテ、選舉
權者ノ數ハ政府ノ案ニ從フモ、尙且ツ現在ノ倍數ニ達ス
ル、斯ノ如ク選舉權者ノ數ガ非常ニ増加スルニ從テ、益々
困難デアリ、又現在ノ大選舉區制ハ、相當ニ健全ノ發達ヲ
促スニ付テ甚ダ障礙ガアル、之ヲ小選舉區ニ變ズルコトハ、
是等ノ弊害ノ中ノ餘程多ク矯正スルコトガ出來ルノデア
ル、斯様ナ大體ニ於テ主張デアリマス、之ニ反シテ大選舉區
論者ハ、小選舉區トナレバ、少數ノ選舉權者ガ代表ヲ出ス
機會ヲ失フノデアリ、大選舉區ニ於テハ比較ノ其弊ガ少ナ
イ、今日理想トスル所ハ、比例代表ノ制度ニ在ルケレドモ、
比例代表ノ制度ハ、理想ニ止ラテ實行スルコトガ出來ナイ、
切メ大選舉區ニスレバ、此比例代表ノ趣意ヲ幾分達スル
コトガ出來ル、又取締云々ノ如キコトハ、大選舉區トシテモ、
小選舉區トシテモ殆ド相違ハ無イノデアリ、大選舉區ノ腐敗、
選舉費ノ膨脹ト云フ事ニ至テモ、是亦大選舉區小選舉
區ニ於テ餘リ變ル所ハ無イノデアリ、又政府ノ主張ニ依レ
バ、小選舉區制ヲ採用スル結果トシテ、全國ノ中ニ幾多無
競爭ノ區域ガ出來ル、政府ニ於テハ、是ハ最も喜バシイ現
象デアルト云フケレドモ、大選舉區論者ノ主張ニ從ヘバ、無
競爭ハ必ズシモ喜バシキ事デナイ、立憲政治ノ原則トシテ、
互ニ政見ヲ發表シテ相爭フノガ寧ろ原則デアリ、又小選舉
區、即チ政府ノ主張ニ從ヘバ、小選舉區トナツタ結果、候補
者ト選舉人トハ、其關係極メテ密接ト相成リ、選舉人ガ候
補者ノ人物、學識、品行、之ヲ知悉スルコトハ、大選舉區ニ
於ケルヨリモ極メテ便利デアリ、斯様ニ主張スルニ對シテ、
大選區論者ハ、小選舉區トナツタ結果トシテ、候補者ガ
或ハ政見ノ發表ヲスル機會ガ極メテ少ナクナリハセヌカ、即
チ無競爭ノ場合等ニ於テハ、候補者ノ政見發表ノ演說會
ノ如キハ、一回モ開カナイト云フ風ノ現象ヲ呈スルコトニナ
リハセヌカ、却テ是ハ立憲政治ノ原則ニ照シテ不都合デア
ル、大體斯様ナ議論ト記憶シテ居リマス、次ニ政府ノ小選
舉區ノ區畫ニ就テ、或ハ不公平デアリ、斯様ナ主張ガゴザイ
マシタ、之ニ對シテ政府ハ、人口十三萬一人一選舉區ノ方
針ヲ以テ、小選舉區ノ區畫ヲ致シ、之ニ地理、歴史、人情、
風俗、並ニ交通ノ便否等ヲ參酌致シテ、或ハ二人、或ハ三
人ノ區ヲ設ケタノデアリ、少シモ不公平ナ區畫ヲ致シタモノ

デハナト、斯様ナ答辯デアリマス、何レ詳細ノ事ハ、後ニ議場
ニ於テ通告ノ方ニヨリ御演說ニナラウト思ヒマス、此論
旨ノ御紹介ハ右ノ程度ニ止メテ置キマス、委員會ニ於テハ、
尙ホ今井嘉幸君ヨリ小委員會ヲ組織致シテ、而シテ各派
ノ議論ノ一致點ヲ見出シタイト云フコトノ動議ガ提出セラ
レマシタ、併ナガラ此動議ハ少數ニシテ否決ニナリマシタ、尙
又政府提出ノ法律案ニ對シテ、委員三士忠造君並ニ津田
毅一君ヨリ、修正ノ案ヲ御提出ニナリマシタ、是ハ今朝印
刷致シテ御手許ニ配付致シマシタカラ、御覽ニナツコトデ
アラウト考ヘマスカラ、此案ヲ一々茲ニ御紹介致スコトハ省
略致シマス、唯、要點ニ就テ、修正案提出ノ趣意ヲ極メテ簡
單ニ申上ゲテ置カウト思ヒマス、即チ三士君提出ノ修正案
ハ、現行法——デアリマセヌ、誤リマシタ、政府提出案ノ第
十三條ノ、政府ニ對シ受負ヲ爲ス所ノ會社ノ無限責任社
員役員等ニ對シテ、被選舉權ヲ與ヘナイコトニナツテ居リマ
ス、此被選舉權ヲ與ヘナイ者ノ中ニ、會社ノ發起人、取締
役、監査役等ヲ包含シテアルノデアリマス、然ルニ修正案提出
者ノ意見ニ依レバ、會社ノ發起人ナルモノハ、取締役、監査
役等ト相違シテ、左マデ政府ト密著ナル利害關係ヲ有スル
者デナイ、又或一定ノ期間ヲ經過スレバ、會社ガ創立セラル
レバ、既ニ發起人ノ資格ハ無クナルモノデアリ、是等ノ者ニ
マデ被選舉權ヲ禁ズルノハ不當デアリ、仍テ之ヲ削除シタ
イト云フノガ、第十三條ニ對スル修正意見デアリマス、ソレ
カラ第五十五條ニ於テハ、今回政府提出ノ法律案ニ依レ
バ、或ハ二郡ヲ合シテ一選舉區トシ、或ハ三郡四郡ヲ合シ
テ一選舉區トスルコトニナツテ居リマス、其結果トシテ投票
ヲ了リマシタ場合ニ於テ、一選舉區全體、即チ場合ニ依テ
ハ三郡若クハ四郡ト云フ此多數ノ郡ノ投票ヲ悉ク、集メテ、
之ヲ混同致シテ開票スルコトニナツテ居ルノデアリマス、斯
ノ如キハ非常ナル混雜ヲ來ス、殊ニ今回ノ改正案ニ依レバ、
選舉權者ノ數ハ非常ニ増加シテ居ル、之ヲ三郡若クハ四
郡ノ投票ヲ混同シテ開クト云フコトハ、餘程混雜ヲ來スノ
ミナラズ、其中ノ一部分ノ、或ハ一町或ハ一村ニ於テ無効
投票等ノ起リマシタル増合ニ、其影響ガ即チ二郡三郡若ク
ハ四郡ト云フガ如キ、選舉區ノ全體ニ及ボスコトニ相成ル
ノデアリ、是ハ甚ダ宜シクナイノデアリカラシテ、投票ヲ開ク
場合ニ、各郡ノ投票ハ之ヲ混同スルコトナクシテ、各郡別ニ
之ヲ開票スルコト云フ所ノ修正案デアリマス、此趣意ニ關聯
シテ、三四ノ條項ノ文字ヲ修正ガ行ハレテ居リマス、又第
八十九條ニ、官吏ノ選舉ニ關スル不當行為ヲ取締ル所ノ、
規定ヲ設ケタイト云フ修正案ガ出テ居リマス、即チ官吏ガ
選舉ニ關シ、故意ニ其職務ノ執行ヲ怠リ、若クハ職權ヲ濫
用シテ、選舉ノ自由ヲ妨害シタル者ヲ罰スル、斯様ナ規定

ナアリマス、又其八十九條ノ政府提出案ニアリマス所ノ、官吏若クハ吏員其ノ職權ヲ濫用シテ、被選舉人ノ氏名ノ表示ヲ強要シタル場合ニハ、之ヲ罰スルコト云フ規定ニ就キマシテ、其ノ職權ヲ濫用シテ云フ分テテ削除シタリト云フノ、三土忠造君ヨリ提出ノ修正案ノ趣意デゴザイマス、又津田毅一君ヨリ提出ノ修正案ハ、政府案ノ別表、山梨縣ノ部ニ於テ、第二區西山梨郡、東山梨郡、北巨摩郡、中巨摩郡、此四郡ヲ合シテ一選舉區トシ、二人ノ議員ヲ選出スルコトニ規定セラレテ居リマス、之ヲ東山梨二郡ヲ分テ一選舉區トシ、北巨摩郡、中巨摩郡ヲ分テ一選舉區トシ、各獨立ノ區トシテ、一人ツノ議員ヲ選出致シタイ、斯様ナ案デアリマス、而シテ其趣意ハ、此選舉區ハ政府提出ノ案ニ依ルトキハ、其區域ハ餘リニ應キニ失シテ居ル、而シテ此四郡ヲ合併致シマスレバ、其町村ノ數百二十四ト云フガ如キ、全國ニ類例ヲ見ザル所ノ非常ニ多クノ町村ヲ含有シテ居ル、餘リニ是ハ廣大ニ失スルノデアル、且又東山梨北巨摩中巨摩トハ、地勢ガ一方ハ山間デアル、一方ハ平坦地デアル、地勢ノ相違ガアル、人情風俗モ異ンデ居ル、而シテ人口ノ數ハ、東山梨十萬ニ殆ド達セントシテ居ル、九萬八千某ト云フ教ニナシ、大正二年ノ統計ニ依レバ、斯ノ如クデアルガ、今日ハ既ニ二十萬以上ニ達シテ居ル、中巨摩北巨摩ハ今日十六萬何千人ト云フ——今日デハゴザイマセス、大正二年ノ統計ニ依テ十六萬何千、今日ハ十七萬、斯ノ如キハ他ノ選舉區ニ於テモ、澤山斯ノ如キ例ガアルノデアルカラシテ、此區畫ハ之ヲ修正致シタイ、斯様ナ趣意ニ依テ修正案ヲ提出セラレマシタ、委員會ニ於キマシテハ、各案ニ就テ審議ヲ致シタル結果、高木益太郎君外三名ヨリ提出セラレマシタル所ノ法律案、並ニ武富時敏君外六名ヨリ提出セラレマシタル所ノ法律案、是ハ共ニ否決セラレマシタ、而シテ政府提出ノ法律案ニ對スル所ノ三土忠造君ノ修正、並ニ津田毅一君ノ修正案ハ、多數ヲ以テ可決セラレマシタ、且又政府提出ノ改正案ハ、此修正ヲ除クノ外、全部原案ノ通り可決スルコトニ相成リマシタ、此段御報告ヲ申上ゲマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
○議長(大岡育造君) 三案ヲ一括シ議題トシテ二讀會ヲ開キマス、通告ノ順序ニ依テ發言ヲ許可致シマス——齋藤隆夫君

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナレバ、三案共ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ決定致シマシタ
○岩崎勳君 議長
○議長(大岡育造君) 岩崎勳君
○岩崎勳君 直チニ三案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 直チニ第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 三案ヲ一括シ議題トシテ二讀會ヲ開キマス、通告ノ順序ニ依テ發言ヲ許可致シマス——齋藤隆夫君

衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出) 第二讀會
衆議院議員選舉法中改正法律案(高木益太郎君外三名提出) 第二讀會
衆議院議員選舉法中改正法律案(武富時敏君外六名提出) 第二讀會

〔拍手起ル〕
○齋藤隆夫君 諸君、選舉法ノ改正ハ、我國ニ於ケル多年ノ懸案デアリマス、從來屢、此議會ノ問題トナリマシテ、今日ニ至ルマデ未ダ其成立ヲ見ル能ハザルコトハ、國家憲政ノ爲メニ御互ニ遺憾トスル所デアリマス、然ル所本期議會ニ當リマシテハ、國民黨先ヅ之ヲ提出シ、續イテ憲政會之ヲ提出シ、政府モ亦最後ニ之ヲ提出シ、斯ノ如クニシテ此問題ガ全國民ノ注意ヲ喚起スニ至リタルコトハ、御互ニ大ニ慶ブベキ事デアリマス、過日モ此壇上ニ於テ一言致シマシタルガ如ク、選舉法ノ改正ハ、何レノ國ニ於キマシテモ、最も重大ナル、最も困難ナル問題デアリマス、其形式ニ於テハ兎ニ角、實質ニ至テハ、憲法ノ改正ト殆ド同一ノ效力ヲ持ッテ居ルモノデアリマス、ソレ故ニ吾々ハ此問題ヲ審査スルニ當リマシテ、政府ト云ハズ、政黨ト云ハズ、互ニ胸襟ヲ披イテ一致點ヲ發見シ、若シ出來得ルナラバ、全會一致ヲ以テ之ヲ通過セシムルコトハ、吾々ガ國家ニ對シ、國民ニ對シテ酬ユル所以ナリト思料致シテ居リマス、(ヒヤ——)ト呼フ者アリ)ソレ故ニ委員會ニ於キマシテハ、吾々ノ同志者ヨリ之ニ關シテ最も適切ナル所ノ提案ヲ致シ、此目的ニ向ッテ一步ヲ進メント試ミマシタレドモ、不幸ニシテ其議ハ

成立スルニ至ラズ、此問題ニ就キマシテ、今日互ニ議論ヲ上下セネバナラヌコトハ、固ヨリ吾々ノ本意トスル所デアリマセヌ、併ナガラ事此ニ至ッテハ已ムヲ得ナイ、吾々ハ吾々ノ主張ヲ明ニシテ、一ハ以テ政府及反對黨諸君ノ再考ヲ求メ、一ハ以テ汎ク天下國民ノ判斷ニ訴ヘントスルモノデアリマス、唯今議題ニナッテ居リマス所ノ議案ハ、委員長ノ報告ノアリマシタルガ如ク、國民黨ノ提出案、憲政會ノ提出案、及政府ノ提出案、此三案デアリマス、而シテ此三案ヲ通ジテ最も主ナル事柄ハ、大體三種ニ分レテ居リマス、即チ第一ハ選舉權ノ擴張ニ關スル事デアアル、第二ハ選舉區制ノ變更ニ關スル事デアアル、第三ハ別票ノ組立ニ關スル事デアアル、此外選舉取締ニ就テ、僅カナル修正ガ加ヘラレテ居リマス、以上ノ三點ニ就キマシテ、本員ガ政府案及國民黨案ノ或ル點ヲ排シ、飽マデ吾々ノ提出案ヲ維持セネバナラヌ所ノ理由ヲ述ベテ、諸君ノ御判斷ヲ求メントスルモノデアリマス、先ヅ第一ハ選舉權ノ擴張ハ今日時代ノ要求デアリマス、時代ノ要求デアアルノミナラズ、其機運モ最早目前ニ迫ッテ居リマスルニ依テ、今日何人ト雖モ選舉權ノ擴張ニ反對スルコトガ出來ナイ、唯、問題ハ擴張ノ程度並ニ其方法デアリマス、此點ニ就キマシテハ、政府案、國民黨案、憲政會案、此三案ヲ通ジテ、制限選舉ヲ執ルト云フ一點ニ至ッテハ、一致點ヲ見出シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此三案ニ對シテ吾々ノ主張ヲ明ニスルニ當ッテ、世ニ所謂普通選舉論ニ對スル所ノ本員ノ卑見ハ、全ク爭點ニ關係無キモノトシテ、一切省略スルコトニ致シマス、唯、誤解ヲ防グガ爲メニ一言ヲ致シテ置キタイ、本員ハ世ノ普通選舉論者ニ對シテハ、常ニ多大ノ同情ヲ拂ッテ居リマス、多大ノ敬意ヲ拂ッテ居リマス、同時ニ此議論、此運動ガ益、盛ントナッテ、全國ノ津々浦々ニ至ルマデモ反響シ、日本全國民ガ眞ニ政治的ニ覺醒シ、眞ニ政治的ニ奮起シ、此聲ニ應ジテ吾々ガ此議場ニ於テ普通選舉論ヲ唱ヘル所ノ時機、其時機ノ一日モ速ニ到來スルコトヲバ、衷心ヨリ希望シテ止マナイモノデアリマス、此一言ヲ以テ、普通選舉ニ對スル所ノ言說ヲ打切リテ、進ンデ制限選舉ノ下ニ於キマシテ、吾々ガ政府及反對黨ト所見ヲ異ニスル點ヲ述ベル積リデアリマス、諸君、若シ並ニ一國在リ、其國ハ世界ニ對シテ文明國トシテ誇ッテ居リマス、世界ニ對シテ、我等ハ立憲三十年ノ歴史ヲ有セリト誇ッテ居ル、又我等ハ政黨内閣ヲ有セリト誇ッテ居ル、然ルニ醜デ其實際ノ有様ヲ見マシタナラバ、參政權ヲ有スル所ノ國民ハ百人ニ付テ僅ニ二三人半ニ足ラナイノデアル、加之政黨内閣ト稱スル其政黨所屬ノ代議士三向ッテ投票シタル者ハ、

御報告ヲ申上ゲマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 岩崎勳君
○岩崎勳君 唯今議題ニナッテ居リマス所ノ三案ハ、共ニ現行法ニ對スル修正ノ意味デアリマス、又中ニハ共通ノ點モアリマシテ、各原案ニ對スル賛成論反對論ハ、何レモ第二讀會ニ於テ之ヲ爲スコトヲ至當ト信ジマスガ故ニ、便宜上茲ニ三案共ニ第二讀會ニ移スベシトノ決定ヲ與ヘラレシコトヲ望ミマス

〔贊成々々ノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 岩崎勳君

○議長(大岡育造君) 岩崎勳君

○議長(大岡育造君) 岩崎勳君

○議長(大岡育造君) 岩崎勳君

○議長(大岡育造君) 岩崎勳君

○議長(大岡育造君) 岩崎勳君

六千万ノ國民中ニ於キマシテ僅ニ五十万ニ足ラナイノデア
リマス、然ルニ此内閣ヲ以テ政黨内閣デアルト稱シ、剩ヘ國
民ニ基礎ヲ置ク所ノ内閣デアルト稱シ、全國到ル處ニ於テ
政黨内閣ノ祝賀會ヲ開ク所ノ一部ノ慌テ者サヘルコトヲ
聞キマシタナラバ、世界立憲國民ハ之ヲ稱シテ何ト申スカ、
更ニ此内閣ガ國民ノ聲ニ餘儀ナクセラレテ、選舉權ヲ擴張
スルト稱シナガラ、直接國稅三圓以上ヲ納ムル者ハ、如何
ナル愚物ニモ選舉權ヲ與ヘルガ、然ラザル者ニ向テハ、如何
ナル智者、如何ナル識者ニモ、斷ジテ選舉權ヲ與ヘスト定
ムルコトヲ聞キマシタナラバ、世界立憲國民ハ、最早果然ト
シテ言フ所ヲ知ラナイデアラウト思ヒマス(拍手起ル)諸君、
近時我國ニ於ケル政治界ノ有様ハ斯ノ如キモノデアル、唯
今吾々ノ目ノ前ニ現レテ居ル所ノ政府提出ノ選舉法改正
案ナルモノハ、實ニ斯ノ如キモノデアリマス、固ヨリ制限選
舉ヲ維持致シマス以上ハ、納稅階級ヲ認ムルコトハ萬已
ムヲ得ナイ次第デアル、此點ニ就キマシテハ、吾々モ政府當
局者ト意見ヲ一ニシテ居ル次第デアリマス、併ナガラ吾々ハ
此主義ノ下ニ於キマシテ、成ベク多クノ有權者ヲ作ルコト
ハ、今日時代ノ要求ヲ満足セシムルガ爲メニ、最モ必要ナ
事ト考ヘテ居リマス、ソレ故ニ第一ニハ常識ノ上ヨリ考ヘ、
第二ニハ現時市町村公民權ノ程度ニ考ヘテ、吾々ハ之ヲ
二圓ニ引下セントスル者デナリマス、三圓ト二圓ニ世人ハ之
ヲ以テ無意味ノ爭デアルト稱スルカハ、知ラナイガ、實際ハ左
様デアリマセヌ、之ヲ三圓ニスルカ、或ハ二圓ニスルカト云
フコトハ、實ニ五十万ノ國民ガ、新ニ選舉權ヲ得ルヤ否ヤト
云フ大問題デアリマス、今日我國ノ選舉人ハ、全國ヲ通ジ
テ百五十万ニ足ラナイノデアリマス、此政府ノ改正案ニ依
リマシテモ、二百九十万ニ足ラナイノデアリマス、此數ノ中
ニ新ニ五十万人ヲ加ヘルヤ否ヤト云フコトハ、決シテ無意
味ナル爭デナイ、國家ノ上ヨリ見テ實ニ大問題デアリマス、
又吾々ハ更ニ智識階級ナル者ニ向テ、新ニ選舉權ヲ與ヘ
ント主張スル者デアリマス、申スマデモゴザイマセヌガ、國家
ハ納稅者ニ向テ選舉權ヲ與ヘルハ、決シテ彼等ガ納稅ス
ルガ爲メデアリマセヌ、彼等ガ納稅ノ義務ヲ果スガ爲メニ
非ズ、彼等ガ有シテ居ル所ノ政治能力、之ヲ目的トシテ與
ヘルノデアル、此點ニ就キマシテハ、委員會ニ於キマシテ内
務大臣ハ、或ル委員ノ質問ニ對シ、頗ル答辯ヲバ躊躇セラ
レタ模様デアリマシタガ、遂ニ吾々ト同一ノ意見ニ到著セラ
レタルコトハ幸デアル、即チ内務大臣ノ言ヲ藉テ言フナラ
バ、納稅階級ハ恆産アル者デアル、恆産アル者ハ恆心ノアル
者デアル、恆産アル者ハ政治能力ノアル者デアル、故ニ之ニ
選舉權ヲ與ヘルコトニナツテ居ルト云フ、詰マリ吾々ノ意見
ト同一ノ歸點ニ到著セラレタコトハ、本員等ノ聊カ満足ス

ル所デアリマス、果シテ斯ノ如ク納稅者ニ向テ權利ヲ與ヘ
ルノハ、彼等ガ納稅スル爲メデハナイ、彼等ガ政治能力ヲ有
スル爲メデアルトスルナラバ、茲ニ納稅ノ事實無シト雖モ、他
ノ事實ニ依テ、寧ロ納稅者以上ニ政治能力有リト認ムル
所ノ階級ガ現存シテ居リマスナラバ、此階級ニ向テ選舉
權ヲ與ヘルト云フコトハ、國家トシテ執ルベキ正當ノ道デア
リマス、此點ニ就キマシテ、委員會ニ於テ文部大臣ハ、確ニ
其能力ニ向テ稟書ヲシテ居ラレルノデアル、委員會ニ於テ
文部大臣ハ、如何ナル事ヲ申シテ居ラル、カト云フト、或ル
委員ノ質問ニ對シ、今日我國ニ於テハ、小學中學ヲ通ジテ、
其教科書ノ中ニハ、憲法ニ關スル事、及ビ憲政運用ニ關ス
ル事ガ記載シテアル、即チ常識アリ立憲思想アル所ノ國民
ヲ作ルノガ、從來我國ニ於ケル、普通教育ノ大目的デア
ト明言シテ居ラル、ノデアル、更ニ之ニ關スル本員ノ質問ニ
對シテハ、是等ノ學校卒業業者ニハ、確ニ政治能力アリト明
言セラレタノデアリマス、又左様デナクテハナラヌノデアリマ
ス、斯ノ如ク國家ハ一方ニ於テハ是等ノ者ニ向テ立憲教
育ヲ施シ、政治能力ヲ保シテ居リナガラ、他ノ一方ニ
於テ、彼等ニ向テ選舉權ヲ與ヘナイト云フコトニナリマ
シタナラバ、國家ノ行動ニ於テ一大矛盾ガ起ルノミナラ
ズ、教育ノ效果、教育ノ權威ト云フモノガ、少シモ發揮ス
ルコトガ出來ナイノデアリマス(拍手)殊ニ諸君モ御承
知ノ如ク、今日直接國稅十圓以上納ムル所ノ階級ニ
於キマシテハ、眼ニ一丁字モ無イ、候補者ノ姓名スラ記
載スルコトノ出來ナイ者ガ、ドノ位アルカ知レマセヌ、之
ヲ三圓ニ引下デレバ、實ニ驚クベキモノガアラウト思フ、
然ルニ一方ニ於テハ、是等ノ階級ヲ自シテ政治能力ガアリ
ト認メテ選舉權ヲ與ヘテ居リナガラ、他ノ一方ニ於テハ、國
家ノ認定ニ依テ政治能力アリト試験済ニナツテ居ル階級ニ
向テ、選舉權ヲ與ヘルハ不當デアルト云フ議論ハ、是ハ
何處ニ行ツテモ通用スルコトノ出來ナイ議論デアリマス(拍
手)政府與黨ノ人ト雖モ、斯様ナ議論ヲ聽カレマシタナ
ラバ、聊カ失望セラレト思フ、然ルニ此點ニ關シテ、内務大臣ハ
如何ナル辯明ヲシテ居ラレルカト云フト、内務大臣ノ辯明
ハ大體二ツデアリマス、即チ第一ハ、選舉權ヲ與ヘル所ノ標
準ハ最モ明確デナクテハナラヌ、然ルニ智識階級ト云フモノ
ハ明確ヲ缺ク、是ハ如何ナル誤解デアリマスカ、若シ吾々ガ漫
然ト智識階級ト稱シタナラバ、ソレハ明確ヲ缺キマセウガ、
吾々ハ苟モ法律ヲ制定スルニ當テ、斯様ナ漫然タル所ノ文
字ヲ用キルモノデハナイ、吾々ガ稱スル智識階級ハ如何ナル
者カト云ヘバ、國民黨ノ提案ニ於テ、憲政會ノ提案ニ於テ、
明ニ記載セラレテ居ルノデアル、即チ中學校、師範學校、若
クハ文部大臣ニ於テ是ト同等以上ト認メタル學校ヲ卒業

シ、又ハ是ト同等ノ學力ヲ有スル者ト檢定セラレタル者ト
云フノデアル、諸君、何所ニ不明確ノ點ガアリマス、若シ之ヲ
不明確ト云フナラバ其人ハ盲目デアル、精神上ノ盲目ニ非
ザル限り、之ヲ以テ不明確トハ言ハレヌデアラウト思ヒマス、
(拍手起ル)第二ニハ如何ナル事ヲ言ハレテ居ルカト云フト、
唯今委員長ノ報告ノ中ニモアリマシタ如ク、智識有リ能力
有ル者ハ、今日學校卒業業者バカリデナイ、學校卒業業者以外
ニ於テ數多ノ智識有リ能力有ル者ガアルニ拘ラズ、單ニ此
階級ノミニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトニナレバ、不公平ノ
結果ヲ來スカラ宜シクナイ——實ニ是ハ三百理窟デアリマ
ス(ノウ)「ヒヤ」ト呼フ者アリ、三百理窟デナラバ
尙ホ宜シイ、斯ル事ヲ輕率ニ斷言シテ、政府自ラ定メタ所
ノ標準ヲ、政府自ラ打毀シテ居ルコトニ氣ガ付カナイ(ヒヤ
ヒヤ)何故ナラバ若シ斯様ナ事ヲ申スナラバ、政府ガ定メタ
所ノ財產階級ハ如何ナルモノデアルカ、政府ガ唯一ノ標準
無識ナル愚物モ澤山有ルノデアル、又政治上ノ智者能力
者ハ、財產階級以外ニ於テモ澤山有ルノデアリス、然ルニ財
產階級ノミニ選舉權ヲ與ヘテ、此以外ノ智者能力者ニ向
テ選舉權ヲ與ヘスト云フコトハ、甚ダ不公平デアルト反問シ
タナラバ、内務大臣ハ何ト答ヘルデアラウカ、恐クハ答ヘルコ
トガ出來ナイデアラウト思ヒマス、凡ソ選舉權ナルモノハ、普通
選舉タルト制限選舉タルト問ハズ、何レノ場合ニ於テモ、
或ル階級ヲ標準トシテ與ヘルモノデアル、委員會ニ於ケル内
務大臣ノ言ヲ藉リテ言フナラバ、所謂客觀的事實ヲ標準ト
シテ與ヘルモノデアル、各人各個ノ能力ヲ逐一試験シテ
與ヘルモノデアリマセヌ、是ハ選舉權ノミニ限ラナイ、國家
ノ法制ハ總テ斯ノ如キモノデアリマス、例ヘバ民法ニ於キマ
シテ二十歳ヲ以テ成年トシテ、彼等ノ全部ニ對シテ民法上
ノ能力ヲ與ヘテ居ル、併ナガラ實際ニ於テハ、十八歳ニシテ
完全ナル能力ヲ備ヘテ居ル者ガアリ、二十五歳トナツテモ、マ
ダ能力ノ缺乏シテ居ル者ガアルノデアリマス、然ルニ是等各
別ノ事實ヲ捉ヘテ來テ二十歳ヲ以テ成年トスルノハ不當デ
アルト云フ者ガアリマシタナラバ、誰カ其思フ嗤ハザル者ア
ランヤデアル、此位ノ事ハ如何ニ内務大臣ト雖モ、御承知ニ
ナツテ居ラケレバナラヌ筈デアリマス、然ルニ是等ノ點ヲバ
無視シテ智識階級ニ對スル選舉權ノ擴張ヲ排斥セラル、
ト云フコトハ、現政府ヲバ擁護スル諸君ノ爲メニモ、甚ダ遺
憾ニ堪ヘナイ次第デアル、(ノウ)「更ニ他ノ點ヨリ考ヘテ
見タナラバ如何デアリマスカ、過日モ此處ニ於テ一言致シマ
シタルガ如ク、若シ此政府ノ原案ノ如ク、直接國稅ノミヲ以
テ標準ト致シマスルト、其結果郡部ト市部トノ間ニ於キマ
シテ、非常ニ不權衡ナル結果ヲ來スノデアル、詳シキ事ハ煩ヲ

省クガ爲メニ省略シマスガ、概括シテ申シマシテモ、此政府ノ原案ニ依レバ、選舉權ヲ得ル者ハ郡部ニ於テハ百人ニ付テ五人六分アリマス、市部ニ於テハ百人ニ付テ、僅ニ三人二分ナリテ居リマス、更ニ之ヲ各事實ニ就キ主ナル二三人ノ都市ニ就テ見マスルト、東京市ニ於テハ百人ニ付三人、大阪府ニ於テハ二人四分、京都市ニ於テハ三人一分位ニシカナラヌノデアリマス、其他ノ市街地ハ推シテ知ルベキノデアリマス、申スマデモナク選舉權ノ擴張ト云フモノハ、全國各地ヲ通ジテ、成ベク之ヲ平均セシメナクハナリマセヌ、市部ニ厚クシテ郡部ニ薄キハ不可ナリ、之ト同時ニ市部ニ薄クシテ郡部ニ厚キモ、亦片輪ノ擴張タルヲ免レヌノデアアル、然ルニ吾々ノ主張スルガ如ク、智識階級ニ向テ新ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトニナリマスレバ、此間ノ不權衡ヲバ、或ル程度マデ調和スルコトガ出來ルノデアリマス、假令十分ナラズト雖モ、少クトモ一種ノ調和劑トナルハ爭フベカラザル事デアアル、統計ノ示ス所ニ依リマシテモ、智識階級ト云フモノハ、郡部ニ少クシテ市部ニ多イノデアアル、直接國稅三圓以上ヲ納ムル者ノ中ニ就キマシテモ、此階級ハ市部ニ於テハ千人ニ付テ十七人デアリマス、郡部ニ於テハ千人ニ付テ三人七分アルノデアリマス、殊ニ納稅セザル所ノ智識階級ト云フモノハ、其大部分ハ市部ノ住民デアルト云フコトハ、容易ニ推定スルコトガ出來ルノデアリマス、此點ニ就テモ內務大臣ハ如何ナル説明ヲシテ居ラル、カト云フト、全國五十三萬ノ智識階級ノ中ニ於テ、三圓以上ノ納稅者ハ十五萬人許リアル、残りハ僅ニ三十八萬人ニ過ギナイ、此中デ二十萬人許リハ二十五歳ニ達シテ居ラヌ、問題ハ僅ニ十八萬人ニ過ギナイノデアアル、此ノ位ノ者ニ新ニ選舉權ヲ與ヘルガ爲メニ、從來ノ立法例ヲ破テ、新シキ標準ヲ設ケル程ノ必要ハ無イト言テ居ル、是ハ實ニ不都合千萬ナル、不親切千萬ナル所ノ申分デアリマス、今日ノ制限選舉ノ下ニ於テハ十八萬人ト云フ有權者ハ決シテ少ナイモノデアナイ、現行法ノ下ニ於テ、東京市ヲ始メトシテ、全國ニ跨ル五十五ノ獨立市區ニ於テ有權者ガ幾爭アルカト云ヘバ、丁度十八萬人許リデアリマス、又此政府ノ改正案ニ依テ更ニ二十有餘ノ獨立選舉區ヲ増加シ、別ニ選舉權ヲ擴張シテスラ、全國市區ニ於ケル有權者ハ僅ニ二十九萬人ニ足ラナイノデアリマス、之ヲ對照致シマスレバ、十八萬人ト云フ數ハ、決シテ看過スベカラザル所ノ數デアリマス、殊ニ此數ハ年々増加シテ行クコトハ事實デアアル、年々幾萬ノ卒業生ハ送ラレテ出

ルノデアアル、二十萬ノ者ハ追ヒト二十四歳ニ達スルノデアリマス、此中デ約半數ガ納稅階級ニ屬スル者トシテモ、其他ノ半數ハ吾々ノ主張ニ依テ、新ニ選舉權ヲ得テ來ルノデアリマス、十八萬人ハ増加シテ、年々少クトモ二萬内外ノ選舉權者ハ、吾々ノ主張ニ依テ新シキ權利ヲ得ルノデアリマス、斯ノ如ク之ヲ理論ノ上ヨリ見マシテモ、又實際ノ上ヨリ見マシテモ、更ニ郡市ノ權衡ヲ維持スル上カラシテモ、此智識階級ナル者ハ、制限選舉ノ下ニ於テハ、默過スベカラザル所ノ國家有用ノ分子デアリマス、ソレ故ニ數年以前我國ニ於テ此主張ガ現レマシタ以來、今日ニ至ルデ輿論ハ之ヲ歡迎シテ居リマス、之ヲ排斥シタル所ノ形迹ハ無イ、然ルニ政府ニ何ガ故ニ之ヲ排斥シタカ、內務大臣ノ答ヘラル、所少シモ要點ニ接觸セズ、唯、顧ミテ他ヲ言フニ過ギナイノデアリマス、詰マリ從來因レタ所ノ自己ノ僻見ヲ拋棄スルコトガ出來ナイニ依テ、此新シキ標準ヲ採ルコトニ躊躇シテ居ラル、ニ相違ナイト思フ、此理由ニ依テ吾々ハ飽マデ智識階級ニ向テ、此機會ニ於テ新ニ選舉權ヲ附與スルコトヲ主張スル者デアリマス、唯、此處ニ於テ、後ニ立タレル所ノ反對論者ガ辯駁セラル、所ガアルデアラウト思フ、第一ニ今日我國ノ法制ニ於テハ、獨り中央議會ノミナラヌ、地方自治體ノ議會ニ於テモ、智識階級ト云フ者ヲ認メテ居ラヌ、ソレ故ニ中央議會ノ選舉權ノミニ知識階級ヲ認ムルコトハ宜シクナイト言フカモ知レヌ、併ナガラ吾々ハ、中央議會ノ選舉權ヲ擴張スルト同時ニ、地方議會ノ選舉權ヲ擴張スルコトハ、既ニ議案トナテ提議シテ居ルノデアリマス、又吾々ガ此智識階級ニ附屬セシメテ居ル所ノ一ノ條件、即チ獨立ノ生計ヲ營ムト云フコトハ、甚ダ不徹底ト言フカモ知レヌ、是ハ不徹底デモ何デモナイ、假リニ是ガ不徹底トシテ見タ所デ、此條件ヲ排除クト云フ理由ニハナクテモ、此根本タル智識階級ニ向テ選舉權ヲ與ヘルコトヲ否定スル理由ニハナラヌ、或ハ諸外國ノ例ヲ示シテ、歐羅巴ノ或國ニ於テハ智識階級ハ認メテ居ルガ、是ハ財産ノ外ニ更ニ智識階級ニ向テ、一人ニ二三ノ投票權ヲ與ヘテ居ル、之ニ依テ始メテ智識階級ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトガ意味ヲ爲スト主張スルカハ知ラヌガ、是ハ少シモ議論ニナラナイノデアアル、詰マル所、以上述べタル理由ニ依リマシテ、智識階級ニ向テ新ニ選舉權ヲ與ヘルト云フ方法ニ依テ、今日選舉權ノ擴張ヲ圖ラントスルモノデアリマス、次ハ選舉區制ニ關スル問題デアリマス、現行ノ大選舉區制ハ、理論及實際ニ於テ小選舉區制ニ優テ居ルバカリデアナイ、

我國ニ於テハ、過去二十年ノ間、比較的圓滿ニ之ヲ行ッテ來タノデアリマス、世ニ謂フ所ノ選舉界ノ弊害ナルモノハ、決シテ大選舉區制ノ下ニ起タモノデアナイ、若シ之ヲ改メマシタナラバ、更ニ一層大ナル所ノ弊害ガ起ルコトハ、容易ニ想像スルコトガ出來ルノデアリマス、ソレ故ニ從來憲政會、國民黨、其他ノ各派モ此點ニ就テハ何等ノ主張ヲ致サザルニ拘ラヌ、獨リ政友會ノ問題トスベカラザルモノヲ、強テ問題トシテ之ヲ爭フテ居ルノデアアル、曩ニ第二十八議會ニ於テ、時ノ內務大臣、今日ノ總理大臣タル所ノ原敬君ガ、此選舉區制ノ改正ヲ企テントシテ、貴族院ノ爲メニ葬リ去ラレテシマッタノデアアル、次ニ昨年ノ議會ニ於テハ、政友會ノ名ニ依テ此案ガ現レテ出テ來タガ、是亦故ナク之ヲ撤回シテ、其無責任ヲバ議場ニ表白シタノデアアル、政府及政友會ノ小選舉區案ナルモノガ議會ニ現レテ出ルノハ、今回ガ第三回目デアリマス、然ルニ其度毎ニ小選舉區ヲ名稱スル所ノ所謂別表ノ内容、此別表ノ内容ニ於テ幾多ノ變化ガ起テ來テ居ルト云フコトハ、諸君、實ニ奇怪千萬ナル次第デアリマセヌカ、第二十八議會ニ提出セラレタル所ノ別表ト、昨年提出セラレタル所ノ別表トノ間ニハ、確ニ四十有餘箇所ノ相違ガアリマス、昨年提出セラレタル所ノ本年提出セラレタル所ノ間ニハ、是亦確ニ四十六七箇所ノ變化ガアルノデアリマス、若シ政黨派ノ觀念ヲ離レテ、公平無私ニ小選舉區制ヲ主張スルノナラバ、此案ガ議會ニ現レル度毎ニ、其内容ニ至ッテ斯クマデ數多ノ變化ガ起テ來ル譯ハ無イ、此一事實ヲ以テモ、此小選舉區案ナルモノガ如何ニ不公平ナルモノデアルカ、如何ニ不誠實ナルモノデアルカト云フコトハ、容易ニ想像スルコトガ出來ルノデアリマス(拍手起ル)大小選舉區ノ利害得失ニ至リマシテハ、是マデ屢、此議場ニ於テ論爭セラレテ居ルモノナラズ、昨年ノ議會ニ於テハ、本員モ亦其卑見ノ一斑ヲ披露シテ置キマシタ、ソレ故ニ是等ノ點ニ就テハ重ネテ論及スルコトハ止マヌ、殊ニ今回ノ小選舉區案提出ノ理由トシテ、內務大臣ガ述べラレタル所ノ事柄ニ至ッテハ、甚ダ失禮ナガラ、本員ノ見ル所ニ依レバ實ニ抱腹絶倒ノ至リデアアル、此議場ニ於テ議論スルニ足ルベキモノハ、唯、一ツモアリマセン、試ニ其題目ヲ列ベマスト、曰ク大選舉區デハ運動費ガ多ク掛ル、何ヲ根據トシテ斯様ナ事ヲ斷言スルカ、小選舉區内ニ於ケル所ノ密ナル運動、大選舉區内ニ於ケル疎ナル運動、運動費ガ多ク掛ル掛ラナイト云フコトハ、全ク其時其場合ノ事情ニ依テ決スルモノデ

アル小選舉區の場合ニ於テモ、隨分多額ノ運動費ヲ使シタ
者モアリマス、ツイ其處ニ居ラレル所ノ中橋文部大臣ノ如
キモ、先年金澤市ノ選舉ニ方テハ、驚クベキ多額ノ費用ヲ
抛タレト云フコトヲ聞イテ居ルノデアル、曰ク補選選舉ニ
困ル、一體ハ誰ガ困ルノデアルカ、國民ガ困ルト云フノカ、
政黨ガ困ルト云フノカ、候補者ガ困ルト云フカ、誰ガ困ルト
云フカ、サッパリ譯ノ分ラヌ所ノ困リ方デアル、曰ク同士打ガ
始マル、何ノ事カサッパリ譯ガ分ラヌ(君ガ分ラナイ)默ッテ
聽ケ、何ガ分ラヌト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ願ヒマス

○齋藤隆夫君 曰ク私設選舉區ノ繩張ノ破リ合ハスル、
是亦何ノ事デアルカ全ク意義ヲ成サナイ事デアル、曰ク無競
爭地ガ出來ル、寢テ居テモ當選スル、誠ニ喜バシイ、無競
爭ノ裏面ニハ、忌ムベキ事實ガ伏在シテ居ルト云フコトニ氣
ガ付カレナイノデアル、選舉競爭ハ決シテ忌ムベキ事デナイ、
選舉競爭ハ立憲政治ノ花デアル、立憲政治ハ此花ガ立派
ニ開イテ、始メテ果實ヲ結ブノデアルマス(拍手起ル)吾ハ
選舉競爭ヲ歡迎スル一人デアル決シテ之ヲ排斥スル者デハ
アリマセヌ、曰ク候補者ノ地盤ガ固クナル是亦何ノ事デアル
カ、甚張譯ノ分ラヌ事デアル、大體先ヅ是レ位ノモノデアル、
而シテ是ガ全部ノ理由デアルカ、又一部ノ理由デアルカト
念ヲ押シタ所ガ、是ガ全部ノ理由デアルト明答セラレタルコ
トハ、諸君ノ記憶セラレル通りデアル、併シ今日斯ル事ヲバ
逐一捉ヘテ議論ヲ交ヘテ居タナラバ、五日經テモ十日
經テモ盡キルモノデナイ、殊ニ是等ノ事ガ何方ニ決マラウ
ガ、國民ノ側カラ見テ是ガ何ノ關係ガアルカ、議員候補者、
或ハ運動屋ノ側カラ見タナラバ、何カノ理由ニナルカハ知ラ
ナイガ、國家ノ側ヨリ見、國民ノ側ヨリ見タナラバ、全ク沒
交渉ノ事デアリマス、後ニ現レル所ノ反對論者モ、眞逆斯
様ナ事ヲバ逐一取上ゲテ議論セラレル所ノ聞人デモナカラ
ウト思フ、若シ是等ノ議論ガ現レマシタナラバ、後ニ立タル
ル所ノ吾等ノ同論者ニ於テ、之ヲ粉碎セラレルコト、存ジマ
スカラ、本員ハ一切之ニハ論及致シマセヌ、唯ダ之ニ關聯
シテ一言致シテ置キタイ事ガアル、ソレハ何デアルカト云フト
唯今委員長ノ報告ノ中ニモアリマシタルガ如ク、小選舉區
ト云フモノハ政黨ノ發達ニ便利デアル、大政黨ノ樹立ニ便
利デアル、二大政黨ヲ對立セシメテ、立憲政治ノ運用ヲ圖
滿ナラシムルニ便利デアル、是ハ言葉ハ違ヒマスガ、内務大
臣モ委員會ニ於テ述ベラレタ事デアル、後ニ現ル、所ノ松

田君ノ如キモ、確ニ此議席ニ於テ左様ナ意見ヲ述ベラレタ
コトガアル、大間違ノ甚シキモノデアル、一體一國ニ於テ大
政黨ガ現レルカ、小黨分立スルカト云フコトハ、何レモ其國
ノ歴史、社會ノ狀態、政治界ノ有様等ニ依テ決セラルベキ
問題デアラ、選舉區制杯トハ何等ノ關係ノ無イモノデア
ル、其證據ニハ歐羅巴大陸諸國ハ如何デアリマス、歐羅
巴大陸諸國ハ悉ク小選舉區制ヲ採テ居ル、併ナガラ小黨
分立、實ニ名狀スベカラサルモノガアルノデアリマス、歐羅巴
大陸ニ於テ二大政黨ノ樹立ト云フ國ハ、唯、ノ一ツモ無イ、
又小選舉區制ヲ採テ居ル所ノ英吉利ハドウデアルカ、(英
吉利ハ大陸デヤナイ)ト呼フ者アリ)二大政黨ノ樹立ハ「ア
ングロ、サクソン」民族ノ特權デアルト誇テ居タ所ノ英吉
利デスラ、昨年ノ總選舉ニ當テハ、確ニ九ツノ政黨政派ガ
現レテ來テ居ルノデアル、今日漸ク二大政黨ヲ維持シテ
居ル國ハ、世界ノ立憲國中ニ於テ、唯一ノ北米合衆國アル
ノミデアリマス、是モ近時勞働者ノ出現ニ依テ、小黨分立
ノ傾向ヲ示サントシテ居ルノデアル、之ヲ我國ノ歴史ニ微シ
テ見マシテモ、小選舉區時代ニ於キマシテハ、小黨分立實
ニ甚シキモノガアル、大選舉區時代ニ入ッテカラ、初メテ
大政黨ノ樹立ヲ見タノデアリマス、殊ニ文明ガ進歩スルニ
從テ社會ハ益々複雜ニナル、階級ノ利害ガ衝突スル、階級
代表ノ觀念ガ熾ニナル、隨テ小黨分立ハ、世界立憲國ニ
於ケル現在及將來ノ大勢デアリマス、此事實ヲ知ラズシテ、
法律ノ力ニ依テ選舉區制ヲ變更シ、其助ケニ依テ大政黨
ノ樹立ヲ計ル、二大政黨ノ對立ヲ實現セントスルガ如キハ、
全ク世間知らズノ盲目目デアリマス、(ヒヤ)ト呼ヒ拍
手スル者アリ)慶應義塾ヤ早稻田大學ノ討論會ニ於テナ
ラバ兎ニ角、苟モ活社會ニ游泳スル所ノ政治家ノ口ニスベ
キ事デハナイ、強テ選舉區制ト政黨ト關係ガアルトスルナ
ラバ、大選舉區コソ却テ大政黨ノ樹立ニ便利デアル、何故ナ
ラバ小選舉區ノ下ニ於キマシテハ、個人の勢力ヲ發揮スル
コトガ出來マスケレドモ、大選舉區ノ下ニ於テハ是ハ出來ナ
イ、併ナガラ一體斯様ナ理窟ト云フモノハ、選舉區制ノ變
更ニ抑、何ノ關係ガアルカ、斯様ナ事柄ヲバ百列ベテ見タ所
デ、選舉區制度トハ全ク關係ハ無イノデアリマス、太小選
舉區ノ利害得失ト云フモノハ、其根本ノ主義ハ唯、一ツシ
カナイ、何デアルカト云ヘバ即チ比例代表、少數代表ニ關ス
ル事デアリマス、是ヨリ外ニ大小選舉區ノ根本トナルベキ所ノ
爭點ハ無イノデアル、申スマデモナク代議政治ノ下ニ於キマ

シテハ、少數代表ト云フコトハ最モ必要デアリマス、如何ニ
スレバ少數代表ノ實ヲ舉ゲルコトガ出來ルカト云フコトハ、
今日何レノ立憲國ニ於キマシテモ、政治家及學者ノ攻究ヲ
怠ラナイ所デアアル、專制政治ハ、少數ヲ以テ多數ヲ支配ス
ル所ノ政治デアリマス、代議政治ハ、決シテ多數ヲ
以テ少數ヲ壓倒スル所ノ制度デハナイ、多數少數各、之ニ
比例スル所ノ代表者ヲ送ッテ、國政ノ上ニ彼等ノ自由意思
ヲ加味セシムルコトガ代議政治ノ要諦デアル、隨テ選舉
區制ヲ定ムルニ當テモ出來得ル限リ此目ノ二向テ便宜
ヲ與ヘルト云フコトハ、施政者ノ當ニ努メネバナラヌ途デア
リマス、此點ニ於キマシテ、現時ノ程度ニ於テハ大選舉區
單記投票ノ右ニ出ヅルモノハ無イ、此外ニ比例代表ト云フ
モノモゴザリマス、ケレドモ、是ハ尙ホ攻究中デゴザイマシテ、
世界僅ニ二三ノ小國ガ試驗的ニ之ヲ行ッテ居ルニ過ギナイ、
直チニ取テ以テ之ヲ我國ニ行フコトハ出來マセヌ、固ヨリ
何事ニ就キマシテモ、原則ガアレバ例外モアリマス、或ル稀
有ノ場合ヲバ想像致シマシタナラバ、大選舉區ノ上ニ於キ
マシテモ少數代表ヲ實現スルコトハ出來ナイ、却テ小選舉
區ノ下ニ於テ、少數代表ヲ實現スルコトガナイトモ限ラナ
イ、併ナガラ是ハ全ク稀有ノ場合デアリマス、吾々ガ國家ノ
法制ヲ定ムルニ當リマシテハ、總テ事物ノ原則ヲバ基ト做
シ、其例外ヲ取除クガ爲メニ努メネバナラヌト云フコトハ是
ハ當然デアル、床次內務大臣ヲ首メトシテ、反對論者ガ動
モスレバ引用スル所ノ例ガアル、大選舉區ノ場合ニ於テモ、
若シ一人ノ候補者ガ非常ニ多數ノ投票ヲ獨占シタナラバ、
少數代表ノ實ヲ舉ゲルコトガ出來ナイデハナイカト言フ、斯
様ナ稀有ノ假設ノ例ヲ引舉ゲルナラバ、小選舉區ノ場合ニ
於テハ山程アリマス、斯ル稀有ノ假例ヲ設ケテ此原則ニ抵
抗セントスル如キハ、全ク常識ナキ所ノ空論デアル、斯様ナ
空論ニ對シテハ別ニ辯駁スル必要ハアリマセヌ、又內務大
臣ハ、過日本會ヨリ引續イテ委員會ニ於テ如何ナル事ヲ明
言シテ居ラル、カト云フト、少數代表ト選舉區制トハ關係
ハ無イ、小選舉區必ズシモ少數代表ニ不便ナラズ、大選舉
區必ズシモ少數代表ニ便ナラズト斷言シテ居ラル、若シ
冗談デアラナラバ、兎ニ角、眞面目ニ斯様ナ事ヲ考ヘテ居ラ
ル、ナラバ、本員ハ失禮ナガラ床次君ノ頭ノ程度ヲ疑ハザル
ヲ得ナイノデアル、(同感々々)君ノ頭ヲ疑ハザルヲ得ナイ
ト呼フ者アリ)此點ニ就キマシテハ床次君ヨリ、其處ニ居ラ
ル、所ノ三土忠造君ノ方ガ餘程進歩シテ居ル(笑聲起ル)

餘程常識ガアルノデアル、三土君ハ昨日ノ委員會ニ於テ、此選舉區制ニ就テ如何ナル事ヲ述ベタカト云フト、結局吾等ト同一ノ意見デアアル、(「見ナケレバ分ラナイカ」)默テ聽ク「ト呼フ者アリ」靜ニ聽キ給ヘ、三土君ハ斯ウ云フ事ヲ言テ居ル「ソレカラ此區制ニ就キマシテハ、是ハ御互ニ根本ノ意見ヲ異ニシテ居リマスガ、段々小選舉區ト大選舉區トノ便利ナル點、即チ利益ナル點ヲ舉ゲテ見マス、大體ニ於テ大選舉區ノ方ガ利益ナル點ガ多イノデアリマス」ト言テ居ル「其通り」間連シテ居ル「ト呼フ者アリ」又少數代表ニ關シテドウ云フコトヲ言テ居ルカ「私ハ此少數代表ト云フコトニ就キマシテハ、確ニ小選舉區ハ大選舉區ヨリモ不便デアルト考ヘマス、是ハ同感デアアル」ト明言シテ居ルノデアリマス、(「拍手起ル」)政友會ガ主張スル所ノ小選舉區制ノ理由ト云フモノハ、政友會員自身ノ口ヨリ全ク打破セラレテ居ルノデアアル、(「拍手起リ」皆ナ讀メ「ト呼フ者アリ」)其他大小選舉區ニ關スル利害得失論ハ澤山ニゴザイマスケレドモ、何レ後ノ論者モ述ベラル、コト、信ジマスルニ依テ、此以上ハ略シマスガ、此場合ニ於テ諸君ノ御注意ヲ喚起スベキ所ノ、最も必要ナル事實ガ茲ニ一ツアルノデアリマス、(「謹聽」ト呼フ者アリ)第二十八議會ニ於キマシテ、衆議院ハ小選舉區案ヲ可決シ、之ヲ貴族院ニ送りマシタ、所ガ貴族院ニ於テハ之ヲ大選舉區ニ修正シタ、ソコデ兩院協議會ガ開カレマシテ、其兩院協議會ノ結果ヲバ、時ノ政友會ノ代議士伊藤大八君ガ此議場ニ報告セラレテ居リマス、其報告ハ最も簡單明瞭ニ大小選舉區ノ利害得失ヲ表白シテ居ル、此席上ニ於テ其一節ヲ朗讀致シマス「伊藤大八君 協議委員ハ昨日二時ニ協議委員會ニ集マリマシテ、抽籤ニ依リマシテ、貴族院議員ノ久保田男爵ガ其日ノ會ヲ整理スルコトニ相成リマシタ、直チニ衆議院側ヨリ貴族院ノ修正ノ御意思ノ在ル所ヲ質問ニ及ビマシタ、貴族院側ニ於キマシテハ、大要修正ノ意見ヲ四箇ニ大別スレバナルヤウニ考ヘテ居リマス」是カラガ本當デアリマス、(「是マデハ嘘カ」ト呼フ者アリ)「小選舉區ヲ大選舉區ニ修正シタルノハ、小選舉區ト云フモノハ、公明ナル國民ノ代表者ヲ出スニハ適セナイ、大選舉區ノ方ガ適當ナル國民ノ代表者ヲ出スニ宜シイ、小選舉區ニ於テ議員ヲ出ス場合ニハ、地方ノ情弊ニ陥リ易イ、此故ニ小選舉區ハイケナイ、第二ハ小選舉區ニハ、少數代表者ヲ出スニ遺憾ノ點ガアル、大選舉區ニ在リマシテハ、斯様ナル不備ヲ補フノ得ガアル、斯ウ云フコトデアリ

マス、第三ハ小選舉區ニ於テハ競争ガ激烈ヲ來シテ、自治體ノ平和ヲ破ル、一家ノ平和ヲ紊スト云フヤウナ虞ガアルカライケナイ、第四ハ競争ガ激烈ノ結果、斯様ナル取締ヲ爲スニ甚ダ不便デアラルカシテ、現今ノ法律ノ如ク選舉區制ヲ致サズニ體刑ヲ科シテサウシテ此取締ニ制裁ヲ加フルガ適當デアアル云々」諸君、此通りデアリマス、(「ソレハ貴族院ガ言ッタノダラウ」ト呼フ者アリ)今日政黨政派ノ外ニ立ッテ、最も公平無私ニ大小選舉區ノ利害得失ヲ追究スル者ハ、必ズ此點ニ到達スルノデアリマス、(「十年昔ノ議論ダ」ト呼フ者アリ、拍手起ル)最早諄々シク述ブルノ必要ハアリマセウガ、之ヲ要スルニ今日世界ノ立憲國ノ大多數ハ、小選舉區制ヲ採用シテ居ルコトハ事實デアアル、併ナガラ小選舉區制ヲ採用シテ居ル所ノ國ノ歴史、其事情ニ就テ述ベント欲スレバ述ブル事ハ澤山ゴザイマスガ、ソレハ一切省略シテ置キマセウ、併シ是等ノ諸國ハ、此小選舉區ノ爲メニ、實際ニ於テ少數代表ノ實ヲ舉グルコトノ出來ナイノ非常ニ苦シテ居ル、ソレ故ニ近時比例代表ノ研究ハ、幾多ノ方法ニ依テ益々、進歩シテ居ルノデアリマス、先日私が一言致シタル所ノ、最近英國ノ選舉法ノ調査委員會ニ於キマシテモ、調査委員會ニ於テハ、市部ヲバ大小選舉區ト爲シ、三人以上、五人以下ノ大選舉區ト爲シテ、或種類ノ比例代表法ヲ行フト云フコトヲ決メタノデアリマスガ、保守的ノ國民デアルニ依テ、議會ニ於テハ暫ク之ヲ待タウト云フコトニナッテ居ルノデアアル、如何ナル種類ノ比例代表デモ、大選舉區制ノ下ニ非ラザレバ、斷ジテ行フトコトガ出來ナイノデアリマス、今日世界立憲國ハ、大勢ヨリ見マシタナラバ、小選舉區制ハ段々廢シテ、將ニ大選舉區制ニ入ラントスル所ノ傾向ヲ示シテ居ルノデアアル、(「ノウ」ト「ヒヤ」ト「嘘ヲ言フナ」ト呼フ者アリ)幸ニシテ我國ハ二十年來此制度ヲ行ヒ來リ、多年ノ慣習ト、幾度カノ經驗ニ依テ、法律の選舉區ノ間ニ自然的ノ選舉區ヲ生ジ、圓滿ニ此制度ヲ運用シテ來タノデアリマス、本員ハ斷言致シマス、今日ノ我國ノ選舉法ニ於キマシテ、世界列強ニ對シテ誇ルベキモノハ一ツモ無い、唯、誇ルニ足ルベキモノハ大選舉區單記投票法デアリマス、世界列強國ガ未ダ曾テ經驗セザル所ノ、此大選舉區ノ單記投票制ヲ二十年來我國ガ行ヒ來タト云フコトハ、我國ガ世界列強ニ對シテ誇ルベキ確ニ一ノ事實デアリマス、(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)然ルニ何等堂々タル理由アルニ非ズ、何等公明ナル理由アルニ非ズ、唯、一黨一派ノ利害ノ爲メニ、(「ノウ」ト呼フ

者アリ、拍手起ル)此選舉區制ノ根本ニ向ッテ打破ヲ企テントスルガ如キコトハ、決シテ國家ヲ念ヒ、黨政ヲ念フ所ノ道デアリマセウ、此點ニ於キマシテ本員ハ、政府ノ小選舉區案ナルモノニ向ッテハ、根本ヨリ反對スルノ意見ヲ表白致シマス、次ハ別表ノ改正ニ關スル事デアリマス、即チ小選舉區ヲ土臺トシテ組立テラレテ居ル所ノ別表、此別表ノ内容ニ含マレテ居ル所ノ選舉區ノ構成、及議員ノ配當ニ關スル事デアリマス、別表ハ其組立ニ依テ、各政黨政派ノ利害ニ關係スル重大ナルモノデアアル、別表ノ組立ニ依テ、一黨ノ爲メニ利益ヲ圖ラントスルナラバ、或程度マデハ其目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリマス、床次內務大臣ノ言明ニ依リマス、此別表ハ最も公平ナル考ヲ以テ作タノデアルト言ハル、何人ト雖モ不公平ナル考ヲ以テ、法律規則ヲ制定スルト公言スル者ハ無い、左様ナ公言ハ全ク無益デアリマス、又假令本人ハ公平ナル考ヲ持ッテ居ルニシロ、實際ニ於テ不公平ナル事蹟ガ現レテ居ルナラバ、起案者タル者ハ、之ニ對シテ責任ヲ負ハネバナラスノデアアル、(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)此別表ハ床次內務大臣ガ言ハル、如ク、果シテ公平ナルモノデアルカ不公平ナルモノデアルカ、本員ハ此別表ノ内容ノ公平ニ非ズ、甚ダ不公平ナルデアルト云フコトヲ、事實ニ基イテ論證致シマセウ、(「拍手起ル」)其事實ヲ舉ゲヨ、是カラ舉ゲテヤルカラ默テ聽ク「ト呼フ者アリ」先ヅ內務大臣ノ說明ニ依リマスルト云フト、此別表ハ一區一人ヲ以テ大原則トシテ居ル、萬已ムヲ得ザル場合ノ外ハ一區二人ニハシナイ、又人口十三萬ヲ以テ中心トシテ居ルニ依テ、其結果トシテ十萬ヨリ十八萬ニ互ッテ居ル、已ムヲ得ザル場合ニ於テ、十九萬ノ所ガ五箇所アル、又九萬ノ所ガ十二箇所アル、是ハ內務大臣ノ別表ニ關スル所ノ說明ノ大體デゴザイマスガ、此別表ノ内容ヲバ逐一審查致シマスルト云フト、內務大臣ノ說明ト云フモノハ、事實ニ於テ全ク裏切ラレテ居ルノデアリマス、(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)第一ニドウシテモ一區ヲ一人ニシナクテハナラヌ所ヲバ、故ラニ一區二人ニシテ居ル所ガ澤山アル、又ドウシテモ一區二人ニシナケレバナラヌ所ヲ、故ラ一區一人トシテ居ル所ガ澤山アル、又二區以上ノ組立ニ依リマシテモ、甚ダ不都合千萬ナ組立ヲシテ居ルモノガ澤山アリマス斯ウ云フ事ヲバ逐一事實ニ就テ申ス、ト煩雜ニナリマスニ依テ、私ハ其中ノ數箇ヲ爰ニ例證致シマセウ、例證スルニ依テ、諸君モ亦靜ニ聽カナケレバナラヌ、(「佐賀ハドウダ」ト呼フ者アリ)何ヲ八釜數ク言フノデス

カ——先ツ第一二一區一人ヲ原則トスル所デアリマス、諸君ハ諸君ノ前ニ在ル所ノ別表ヲ御覽ナサイ、大阪ノ第六區ハ如何デアリマス、第六區ハ二郡デハ人口ハ二十九万二千七百八十八人、是ガ二人ノ定員ニナデ居リマス、併ナガラ是ハ此中ノ東成西成ニドウシテモ分ケネバナラヌ所デアル、人口ニ於テモ、西成郡ハ十六万二千七百七十七人デアリマス、東成郡ハ十三万七十一人デアリマス、斯ル場合ニ於テ、何ガ故ニ一區二人ニシタノデアルカ(拍手起ル)更ニ岡山縣ノ第三區ハドウデアルカ、岡山縣ノ第三區ハ、四郡デ總人口ガ十九万七千五百人デアリマス、是デ一區二人デアル、此郡ノ如キハ二郡宛ニ分ケレバ何方モ九万八千臺デ、地勢ノ位置ニ於テモ十分ニ區分スルコトガ出來ルノデアル、即チ和氣郡ト邑久郡、此二郡ヲバ一選舉區ニスレバ九万八千七百二十人、其他ノ二郡ヲバ合併スレバ九万八千七百八十人、斯様ナ場合ニ於テ、何ガ故ニ之ヲ分割シナイノデアルカ、更ニ香川縣ノ第五區ハドウデアルカ、香川縣ノ第五區ハ二人デ二十二万〇〇三十六人、是ガ一區二人ノ所デアリマス、是モデス、綾歌縣ヲ一區トシテ、中多度郡ヲ一區ト爲シタラバ、餘リ人口ニ於テ差ハ無イノデアル、一方ハ十二万餘デ一方ハ九万七千デアリマス、斯ウ云フモノヲバ分割セズ合併シテ居ルノデアルガ、更ニ一方ヲ見マスルト云フト、ドウシテモ合併シナケレバナラヌ所ヲバ、合併セズシテ分割シテ居ルノデアル、靜岡縣ノ第三區ト第四區ハ如何デアルカ、第三區ハ人口僅カ十一万三千、是ガ一人デアリマス、次ニ第四區ハ八万六千、是デ一人デアリマス、此郡ニ於テハ十一万臺ヲ以テ一人ヲ出シ、隣ノ郡ニ於テハ八万六千ヲ程テ一人ヲ出ス、斯様ナ場合ニハ人口ヲ平均セシムル爲メニ、合併ヲシナケレバナラヌト云フコトハ當然デハナイカ、次ニ石川縣ノ第二區ト第三區ハドウデアルカ、石川縣ノ第二區ハ十一万三千ヲ以テ一人トシテ居ル、然ルニ隣ノ第三區ハ千七百一十ヲ以テ一人トシテ居ル、斯様ニ人口ノ懸隔シタ所ヲ、何故ニ之ヲ合併セズシテ分割シタノデアルカ、或ハ政府當局者ハ地理ガ惡イト言フカモ分ラヌ、地理ト云フ事ニ隱レテ居ルナラバ、長崎縣ノ五區ト六區ハドウ云フ譯デアルカ、長崎縣ノ六區ニ於テハ、南松浦郡ト壹岐郡ヲバ合併シテ居ル、此兩郡ハ何レモ島デアル、南松浦カラ壹岐ニ到ラントスレバ、先ツ船ニ乗リ、次ニ長崎縣全部ヲ汽車ニ乗リ、更ニ又船ニ乗ッテ、少クモ三日掛ルノデアリマス、何ガ故ニ斯ウ云フヤウナ地理上ノ不便ナ

所ヲ合併セシメタカ、合併サレルナラバ、是ハ五區ト六區トヲ一總ニシテ、サウシテ一區二人トスルノガ當然ノ事デアリマス、次ニ二區以上ノ組合ガ甚ダ不都合極マルモノガ澤山アリマス、例ヘバ靜岡郡ノ七區ト八區トハドウデアルカ、靜岡縣ノ七區ハ、人口二十万七千二百十六人、是デ二人ノ所デアリマス、然ルニ隣ノ八區ハ二郡デ十八万五千七百八十八人デ、是デ一人デアリマス、一方ニ於テハ十萬ニ付テ一人ノ議員ヲ出シ、他ノ一方ニ於テハ十八萬五千ヲ以テ一人ノ議員ヲ出ス、斯様ニ不公平ノ編成ガアリマスガ、斯様ナ事ヲシナクテモ、第七區ヲバ小笠郡、榛原郡、周智郡、此三郡ヲバ合併シテ一區二人ヲ出シ、殘リノ盤田郡ヲバ一區ト爲シテ一人トスレバ、人口ハ頗ル平均ヲ得テ居ルノデアリマス、次ニ福岡縣ノ第九區ト第十區、第十一區、是モ頗ル不自然ナル所ノ不都合ナル組合セデアリマス、福岡縣ノ九區ハ二郡デ人口十一万九千七百三十一人、是デ一人デアル、十區ハ三郡デ人口二十九万三千九百三十一人、是デ三人デアル、十一區ハ二郡デ十七万七千四百四十一人デ、是デ一人デアリマス、頗ル人口ノ點ニ於テモ不公平デアル、之ヲ巴都郡ヲ獨立セシメ、第二軟手、遠賀、宗像、之ヲ合併シテ一區ト爲シ、(ソナナ馬鹿ナ組合セガアルカト呼フ者アリ)第三ハ筑紫、朝倉、糟谷ヲ合併シテ、此三郡ヲバ合併シテ二人ト爲スト云フコトニスレバ、地理ノ上ニ於テモ、人口ノ上ニ於テモ、最も平均ヲ保ツコトガ出來得ルノデアリマス(拍手起ル)更ニ高知縣ノ第二區及三區モ同様ノ事デアル、斯様ナ事ヲ逐一述べマシタナラバ、數限リモナイコトデアリマスカラ、是ハ省略致シマシテ、議長ノ許可ヲ得テ速記録ニ掲載スルコトニ致シマス、而シテ委員會ニ於キマシテハ、之ニ類スル所ノ約三十箇所ノ事實ヲ摘示シテ、逐一政府當局者ニ質問致シマシタ所ガ、政府當局者ノ答辯ト云フモノハ全ク支離滅裂デアリマス(拍手起ル)吾等ヲ満足セシムルニ足ルベキモノガ唯、一モ無イ、ソレハ其答デアル、元來此別表ト云フモノハ、初メテ別表ヲ作ラタ所ノ其大本ガ間違テ居ルノデアル、明治四十四年ニ於テ、第二次西園寺内閣ノ下ニ、時ノ原内務大臣ガ選舉法ノ改正ヲ企テ、小選舉區制ト云フモノヲバ調査委員會ニ提出シタコトガアル、其原案ニ就テ、確ニ政友會側ノ委員ヨリ數箇所ノ修正ガ加ヘラレテ居リマス、是ガ原案トナ、テ第二十

八議會ニ現レタ、所ガ第二十八議會ニ於テハ、更ニ政友會議員ノ手ヨリ四十有餘箇所ニ向テ修正ガ加ヘラレテ居ル、其修正ヲ加ヘラレタモタガ、昨年春ノ議會ニ政友會ノ名ニ依テ提出セラレタル選舉區制ノ原案デアリマス、然ル所ガ今回ハ其原案ニ向テ、更ニ四十六七箇所ノ修正ヲ加ヘタモノガ茲ニ現レタル所ノ小選舉區案デアル、此過去ノ事實ヲ知ル者ハ、何人ト雖モ此選舉區ノ構成ガ公平ナリト想像スル者ハ無イデアラウ(拍手起ル)斯様ナ不公平ナル所ノ議案ト云フモノハ、此議會ニ提出セラレタ所ノ例ガ無イ、斯ル不公平ナル所ノ議案ヲバ議會ニ提出シテ、議會ニ於テ之ヲ審議スルト云フ其事スラ、議會ノ體面ヲ汚スコト頗ル大ナルモノデアリマス(拍手起ル)「ト呼フ者アリ」更ニ甚シキニ至レバ、最前委員長ノ報告ニモアリマシタガ、昨日ノ委員會ニ於テ、山梨縣ノ第二區ニ向テ或ル委員ヨリ修正ヲ提出シ、政友會ハ之ヲ賛成シテ、此原案トナデ居ルノデアリマス(拍手起ル)山梨縣ノ第二區ト云フモノハドウ云フモノデアルカ、委員長ノ報告セラレタル如ク、西山梨、東山梨、北巨摩、中巨摩、此四郡ヲ合併シテ一區二人トシテ居ルノデアル、人口ハ總計二十六万五千六百四十五人デアリマス、然ル所ガ此各郡ノ人口ヲ見マスルト云フト、ドウシテモ是ハ二分スルコトノ出來ナイモノデアル、之ヲ昨日修正ノ如ク二分スルト云フト、西山梨、東山梨ハ總テ九万八千餘リデアリマス、然ルニ一方ノ北巨摩、中巨摩ハ合計シテ十六万七千デアリマス、人口ノ不均平均ヲ來スコト頗ル大ナルモノデアル(地理ヲ御覽ナサイ)ト呼フ者アリ、若シ斯ウ云フモノヲ分割スルト云フナラバ、此改正案ニ現レテ居ル所ノ一區二人制ト云フモノハ、悉ク分割シナクテハナラヌノデアル(拍手起ル)此分割シタノハ抑、何ニ原因シテ居ルカ、今日ノ新聞ノ報道ニ依ルト、先日來政友會ノ山梨支部ハ、決議ヲ以テ此修正ヲバ強要シタト云フコトデアル、即チ此所ヲバ地盤トシテ居ル所ノ政友會ノ議員生原忠右衛門君、穴水要七君、此兩君ノ地盤ヲバ擁護センガ爲メニ此修正ヲセラレタト云フコトハ、爭フコトノ出來ナイ事實デアリマス(拍手起ル)山梨ノ地理ヲ御存ジガナイト呼フ者アリ、此點ニ就テ昨日モ内務大臣ニ本員ガ質問致シマシタ所、内務大臣ハ何ト答ヘタ(顔色ガ變タヨ)ト呼フ者アリ、是ハ或人ガ此點ニ就テ質問ラシテ、兩分シタガ宜カラウト言タカラ、若シ議會ニ於テ之ヲ修正スルナラバ、本員ハ同意スルコトニ躊躇シナイ——殊ニ昨日委員會終了後我黨ノ望月君ガ、此點ニ就テ内務大臣ニ質問シタ所ガ、内務大臣ハ是ハ君ノ方ノ齊藤隆夫君ガ、委員會ニ於テ二分シタガ宜カラウト云フコトヲ提議シタ——實ニ怪シカラヌ事デアル、本員ハ委員會ニ於テ、

山梨縣ノ第三區ニ付テ一言半句モ言明シタコトハ無い、内務大臣ハ何ヲ心得テ居ルノデアルカ、自分ノ責任ヲ塗抹セシガ爲メニ、他人ノ姓名ヲ濫用スル、實ニ不都合千萬ナ事デアル、而シテ先日來委員會ニ於テ、本員ガ別表ノ不公平ナルコトヲ指摘シテ、内務大臣ニ向テ詰問シタ所ガ、此別表ハ最も公平ニ出來テ居ルニ依テ、此別表ニ向テ修正ヲ加ヘルコトハ、絕對ニ同意シナイト云フコトヲ明言シテ居ルデハナイカ、拍手起ル然ルニ斯様ナル場合ニ於テ、自黨ノ議員カラシテ修正ヲ持出シテ來ルノニ、之ニ向テ默々トシテ一言半句ノ反對ヲセズニ終タノハ、内務大臣ノ……（拍手起ル）「不公平」辯明ヲ要ス「八釜シ」何所カラ修正ガ出タ「頭ガ惡クナタ」噓ヲ言フナト呼ヒ其他發言スル者多シ内務大臣ハ動モスレバ、此別表ハ公平ナル考ヲ以テ作成シタノデアルト言ウテ居ル、内務大臣ノ公平主義ト云フモノハ、寺内内閣ノ善政主義ト同ジ事デアル、誰ガ斯様ナモノヲ信用致シマスカ、諸君、凡ソ政憲ヲ擴張スルニ當テハ、自ラ其途ガアルノデアルマス、國家ノ權力ヲ藉リ、法律ノ威力ヲ藉リテ政黨ノ擴張ヲ圖ラジトスル所ノ者ガ、古今東西ノ何レノ所ニ有ルカ（拍手起ル）大隈内閣ハドウシタト呼ブ者アリ古今東西ノ歴史ニ於テ類例ナキ所ノ亂暴至極ノ振舞デアルマス（大隈ハドウシタ）馬鹿ヲ言フナ「靜肅」ソナニ苦シイカト呼ブ者アリ斯ル場合ニ於テコソ、憲法ガ保障シテ居ル所ノ兩院制度ノ得失ガ、始めテ發揮セラレ、コトデアルト云フコトヲ確信シテ居リマス、尙ホ論ジタイ事ハ澤山ゴザイマスケレドモ、本員ノ足ラザル所ハ、後ニ現ル、所ノ同論者ニ於テ補足セラレルコト、信ジテ居リマス、以上述べタル所ノ理由ヲ以テマシテ、本員ハ此政府ノ提案ノ如キ不徹底ナル所ノ、不徹底ナル所ノ、不公平ナル所ノ選舉權ノ擴張、選舉區制ノ變更、別表ノ改正ニ就テハ、根本ヨリ之ニ反對シ、政府提案ノ否決ヲ要望スル者デアリマス

〔拍手起ル〕

（參照）

衆議院議員選舉法改正案別表ニ對スル意見
若シ政府原案別表全部ニ涉リテ原案ノ缺點ヲ指摘セハ其箇所非常ニ多キニ上ルヘキモ茲ニハ唯已ムヲ得サル場合ニ限リ變更ノ必要アルモノヲ掲ケレハ左ノ如シ

大阪府

第六區及第七區ヲ左ノ通り改ムルヲ要ス

第六區 東 成 一人

第七區

（西 能 二人）

第八區 〔三島 一人〕

理由 原案第六區ハ東成西成兩郡ヲ合シテ一區ト爲セルモ此兩郡ハ大都市ヲ映ミテ相隔ツルノミナラス市ノ膨脹ニ伴ヒ兩郡ノ關係益々疎隔スルノ傾向ヲ有ス又原案第七區中豐縣北河内ノハ三島郡ヲ隔テ、相互ノ關係甚薄人情風俗全ク異ルモノアリ何レモ地理上適當ノ組合セナリト云フヘカラス而シテ東成郡ハ其人口十三萬七千人ナルカ故ニ先ニ之ヲ獨立ノ一區トシ次ニ西成郡ヲ合シテ一區トス三島北河内ヲ合シテ一區トスハ地勢上ノ配合其ノ宜キヲ得之ヲ人口相當上ヨリ見レハ前者ハ二十一萬八千人後者ハ十六萬五千三百九十九人ト爲リ稍不均衡ノ嫌ヲ免レサルモ原案ニ比シ格別ノ差異アルニ非サレハ寧ろ地理上自然ノ配合ニ從フヲ當然トス

兵庫縣

第四區第五區ヲ合シテ一區トシ第十二區第十三區ヲ合シテ一區トス
理由 五區川邊有馬山岳ヲ隔テ、境域相接ルト雖トモ交通關係ハ何レモ武庫郡ニ密着シ地勢上三郡一選舉區ト爲スヲ適當トシ之ヲ舊小選舉區區制ノ沿革ニ照スモ亦一區トスノ制ヲ執リタルノミナラス昨午政友會提案ノ別表改正案中ニモ亦此ノ舊制ヲ踏襲シタルニ拘ハラズ今般ノ改正案中ニ於テ殊更ニ此ヲ分離シタルハ不可ナリ第十二區第十三區ハ亦舊小選舉區區制ニ於テ但馬國一區二區ト爲セルヲ特ニ分割シタルモノナルカ由來同國ハ兵庫縣ノ北隅ニ偏シ其ノ地勢ハ之ヲ兩區ニ分割スルニ適セサルノミナラス五郡共通ノ人情風俗ヲ有シ原案ノ如ク區畫スルハ不自然ナルヲ免レサルカ故ニ寧ろ舊制ニ從ヒ一區二區ト爲スノ適切ナルニ如カサルナリ

長崎縣

第五區及第六區ヲ併セテ一選舉區二區ト爲スヲ要ス
理由 第六區中ノ壹岐郡ハ舊平戶藩ニシテ風俗慣習第五區タル北松浦郡ト稍一致シ且ツ汽船ノ交通僅カニ三時間ニ過キス從テ日常ノ取引實際ノ關係頗ル密接ナリ之ニ反シ南松浦郡ト壹岐郡トハ共ニ遠隔ノ離島ニシテ舊藩ヲ異ニシ古來何等ノ交渉關係ナク風俗習慣亦全然相違シ舊テ兩島間ニ航路ヲ開ケタルコトスヲナシ現行區制改正前ノ小選舉區ニ依リモ第四區ハ北松浦壹岐、石田（石田郡ハ後ニ壹岐ニ合併セラル）一人第五區ハ南松浦郡一人トセルヲ見レトモ若シ此ノ舊制ニ依ルトキハ北松浦壹岐ハ人口十九萬一千四百二十三人南松浦郡ハ人口一十八萬八千人ニテ各一人ヲ選出スルコトナリ著シク不均衡ヲ來スコトヲ免レ難キヲ以テ寧ろ修正案ノ如ク兩郡ヲ合シテ一區二人ノ選舉區ト爲スヲ至當ナリト認ム

新潟縣

第七區南蒲原古志ヲ分割シテ各獨立ノ一區ト爲スヲ要ス
理由 南蒲原郡ハ人口十萬三千二百五十八人古志郡ハ九萬七千七百八十九人ニシテ略相等シク之ヲ小選舉區一區一人ヲ原則トスル原案ノ主旨ヨリ見ルモ兩者ヲ分立スルヲ相當トス況ンヤ此兩郡ハ接壤地ナレトモ地形狹長ニシテ利害ノ關係薄ク人情風俗モ亦自ラ異レルニ於テオヤ之ヲ第八區三島郡人口十萬三千二百五十八人第九區刈羽郡人口十二萬三千六百七十三人ニシテ最も密着セル此兩郡ヲ分立セルニ對比シ益々修正案ノ妥當ナルコトヲ推知スルニ足ル

三重縣

第八區度會志摩第九區北牟婁南牟婁ヲ併合シテ一區二人ト爲スヲ要ス
理由 舊小選舉區區制ニ依リ沿革上ヨリ見ル第八區第九區ハ分割セサルヲ適當トスルノミナラス第八區ハ人口十六萬七千二百二十五人第九區ハ人口十萬三千三百三十六人ニシテ隣接セル兩區ノ間其差六萬以上ニ上ルカ故ニ之ハ人口相當上ノ均衡ヲ圖ル點ヨリ論スルモ此兩區ハ當然一選舉區タルヘキモノナリ昨午政友會ノ提出シタル小選舉區案ニ於テモ尙一區二人案ナリシカ遺憾特ニ兩者ヲ分離シタルハ其ノ理由ヲ知ルニ苦マサルヲ得ス

愛知縣

第四區中西春日井ハ之ヲ第五區ノ東春日井ト合シテ一區一八トシ同區中愛知ハ第九區ノ知多ト合シテ一區三人トシ又第十一區ヲ分割シテ幡豆郡ヲ獨立ノ一區一人ト爲スヲ要ス
理由 單ニ地理上ノ關係ヨリ見ルモ愛知ト西春日井ヲ組合スハ不自然ナルヲ免レス寧ろ相互密接ノ關係ヲ有スル東西春日井ヲ合シテ一區トシ愛知郡ハ其ノ隣接地タル知多ト合スルヲ自然ノ區域ナリトス而シテ之ヲ人口相當上ヨリ見ル西春日井井兩郡ノ人口十六萬九千三百七十六人ニテ一人ヲ選出スルコトナリ之ヲ原案ノ知多郡十七萬三千三百七十五人ヲ以テ一人ヲ選出スルニ比シ相當平均ニ近キモノト謂ハサルヘカラス而シテ愛知郡多一人合計三十二萬九千七百四十八人ニテ三人ヲ選出スルカ故ニ人口平均十萬九千九百六十六人ト爲リ是亦不當ノ配當率ニ非サルモノト認ム

靜岡縣

原案第十一區中岡崎市ヲ中心トスル額田東加茂西加茂三郡ト西尾町ヲ中心トスル幡豆郡トハ全然風俗慣習ヲ異ニシ之ヲ舊藩時代ノ沿革ニ見ルモ將タ現時ノ商業交通等ノ關係ヨリ考フルモ兩者ヲ併合シテ一選舉區二區ト爲セルハ不自然ノ結合タルヲ免レス之ヲ舊小選舉區區制ニ就テ見ルモ額田東西加茂ハ一選舉區ト爲リ幡豆郡ハ碧海郡ト合シテ一選舉區タリシハ寧ろ自然ノ地勢ニ從ヒタル區畫ナリト認メラレ而シテ之ヲ人口相當上ヨリ看察セシハ幡豆郡ハ人口九萬一千七百九十四人ニシテ他三郡ハ十三萬五千六百六十二人ナリ若シ幡豆郡ノ人口過少ニシテ獨立ノ一區タルニ不充分ナラン乎寧ろ之ヲ碧海郡ニ合シテ一區二人ト爲スヲ可トスルモ同郡ノ人口九萬餘ハ稍一獨立區タルヲ資格ヲ有サルニ足ル例之山口縣佐波郡ノ如キハ縣ノ中央ニ在スル地方ナルニ係ハラズ人口九萬一千二百二十二人ニシテ獨立ノ選舉區タリ又德島縣ノ名東勝浦二郡一區ノ如キ他ノ隣區ト組合セ得ヘキ適當ノ地位ニ在ルニ係ハラズ九萬七千八百二十七人ニテ之ヲ獨立ノ選舉區ト爲セシ例ニ照セハ本修正案ハ當然避ケヘカサルモノト認ム

第七區ニ併合スルヲ要ス

理由 原案第四區富士庵原ハ人口十八萬六千二百四十八人ナルカ其隣區タル安倍ハ人口十一萬三千四百六十四人ニテ其差實ニ七萬以上ナリ此兩區ハ地勢上何等ノ故障ナキ土地柄ナルカ故ニ人口配當上之ヲ併合シテ均分ヲ得セムルハ適當ノ修正ナリト謂サルヘカラス又原案第七區ハ榛原小笠二郡人口二十萬七千二百六十六人ニテ二人ヲ選出スルカ故ニ一區十萬三千六百八十八人ノ割合ナル而シテ其隣區タル第八區周智磐田ハ一區一人ニテ人口合計十八萬五千七百八十人ニ及フカ故ニ兩區人口配當上ノ差ハ八萬以上ニ及ヒ著シキ不平均ノ組合セナリト云ハサルヘカラス若シ修正案ノ如ク周智第七區ニ組合フルトキハ人口計二十五萬六千三百六十三人平均十三萬八千八百八十一人ト爲リ磐田郡ハ單獨ニテ十三萬六千六百三十三人ト爲リ人口配當上申分ナキ割合ト爲ル而シテ地理上ノ關係ニ於テ周智郡ハ磐田ト小笠トニ相接シ之ヲ何レニ組合ストモ 格別ノ差異ナキコトハ地圖ヲ一覽スレハ明瞭ナルヘシ

宮城縣

第四區ノ遠田郡ト第五區ノ玉造郡トヲ組換ヘ第六區及第七區ヲ併合シテ一區二人ト爲スヲ要ス

理由 第五區栗原郡ト玉造郡トハ連山ヲ以テ相境シ彼此全ク其流域ヲ異ニシテ交通關係決シテ密接ナリト云フヘカラス反シ遠田郡ト栗原郡トハ國道及縣道筋ニテ交通ノ便多シ而シテ玉造郡ハ其ノ地勢上ヨリ見ルモ 鐵道交通ノ關係ヨリ見ルモ 志田加美ニ密接セルカ故ニ修正案ノ如ク組換ヲ行フハ當然トス、府縣制實施以前ニ於テ志田玉造ハ同一郡衙ノ管轄ニ屬シタル沿革アリ又舊小選舉區制ノ際ニハ黒川、加美、志田、玉造及遠田ヲ合シテ第三區一人トシ栗原登米ヲ合シテ第四區一人ト爲セルニ微スルモ 栗原ト玉造トノ組合セハ地理上ノ關係ニ於テ不自然ノモノタルヲ推知スルニ足ル、加之之ヲ人口ノ點ニ見ルモ第五區ハ十一萬四千九百人第四區ハ十四萬四千三百八十八人ニシテ其差二萬九千四百八十人ナリ若シ修正案ノ如クセハ第四區ハ十四萬四千七百九十九人第五區ハ十二萬四千五百三十一人ニシテ其差僅カニ一萬二千八百十八ト爲リ配當上ノ均衡ヲ得ルニ近シト謂ハサルヘカラス

山形縣

第五區ヲ分割シテ東田川西田川兩郡ヲ以テ一區一人トシ飽海郡ヲ獨立ノ第六區ト爲シ第六區最上北村ヲ第七區二人ト爲スヲ要ス

理由 原案第五區ハ二十七萬五千七百七十六人ニテ三人ヲ選出スルカ故ニ一人平均人口九萬七千七百二十五人ナリ之ヲ其隣區十八萬千六百六十六人ニテ一人ヲ選出スル第六區ニ比スレハ非常ニ不均衡ノモノト爲ル、抑モ原案制定ノ趣旨ハ一區一人ヲ本則ト爲シ人口配當上已メヲ得サル場合ニハ一區二人トシ尙地勢ノ關係其他

ニ於テ萬已メヲ得サル場合ニ一區三人ノ特別例外ヲ設クルモトトス然ルニ本縣第五區ノ如キハ地勢上及人口ノ配當上之ヲ二區ニ分割スルコト決シテ困難ニ非ラズ即チ東西田川人口十七萬三千六百九十四人ニテ一區ヲ爲シ飽海ハ獨立シテ人口十萬一千四百八十二人ヲ以テ一區ヲ形成スルニテ何等ノ支障アルナシ此ノ如ク一區一人ノ原則ヲ以テ選舉區ノ組合ヲ行ヒタル上ニ於テ原案第六區ハ人口十八萬一千一百六十六人ニシテ原案第四區又ハ修正案第六區ニ比シ人口多數ナルカ故ニ殘餘ノ一人ヲ之ニ配當シテ一選舉區二人ト爲スハ議論ノ餘地ナキ配當ナリト信ス

秋田縣

第七區平鹿雄勝ヲ分離シテ各獨立ノ選舉區ト爲スヲ要ス

理由 平鹿八十萬五千九百九十九人雄勝ハ人口八萬七千二百六十八人ニシテ何レモ獨立ト爲スニ足ル人口ヲ有ス若シ兩郡人口ノ差一萬七千餘ニ上ルカ故ニ人口配當上均分ヲ得シカ爲ニ兩者ヲ併合セルモノナリトセハ第三區ノ山本ハ十一萬一千五百九十一人ヲ以テ獨立ノ一選舉區トシ第四區ハ其隣區タル北秋田ト鹿角ヲ合シテ十八萬八千人ヲ以テ一選舉區トシ其差實ニ七萬人ニ近キカ故ニ當然此兩區ヲ併合シテ一選舉區二名ト爲サ、ルヘカラサル理ナリ明治四十五年政府提出ノ小選舉區制原案ニ於テハ修正案ノ如ク平鹿雄勝ヲ分立シ尙昨年政友會提出ノ原案ニ於テモ亦此兩郡ヲ各獨立トシ爾來何等事情ノ變化ナクシテ之ヲ併合セルハ其趣旨何レニ任ラヤ知ルニ苦マサルヲ得ス

福井縣

原案第二區ハ之ヲ兩區ニ分割シ且ツ第四區ノ丹生南條ヲ今立南條ニ改ムルヲ可トス即チ第二區ヲ坂井郡一人トシ第三區ヲ大野吉田二郡一人第四區ヲ足羽丹生二郡一人第五區ヲ今立南條二郡一人ト修正スルヲ要ス

理由 政府案一區一人ノ小選舉區原則トスルモノトセハ特ニ第二區ニ限リ地理上及人口配當上之ヲ兩區ニ區分スルコト容易ナルニ拘ラズ四郡ヲ併合シテ二人ノ選舉區ト爲シタル理由ヲ知ルニ苦マサルヲ得ス即チ修正案ノ如ク第三區吉田大野ハ地理上密接ノ關係ヲ有シ其人口十三萬三千三百三十三人ニシテ獨立ノ一選舉區タルニ適シ又足羽丹生ヲ合シテ人口十一萬三千七百六十八人ニテ此レ亦適當ナル一選舉區タルヲ見ル而シテ原案ニ於テハ南條丹生ノ兩郡ヲ合シテ一選舉區ト爲セルモ南條今立ノ兩郡ハ郡制實施前ノ郡役所ノ行政區域タリシ舊來ノ關係ヲ有スルノミナラス現ニ區裁判所ノ管轄區域同一ニシテ地形上兩者ヲ組合ハスハ當然ノ處置タリ而シテ此二者ヲ合シテ人口十一萬六千五百五十八人ナルカ故ニ一選舉區一人トシテ人口配當上亦決シテ不條理ニアラサルヲ見ル

石川縣

第二區第三區ヲ合シテ一區二人ト爲スヲ要ス

理由 原案第二區第三區ハ金澤ノ西部ニ位シテ地理上一國ト爲レルノミナラス前者ハ人口十一萬三千三百三十三人後者ハ人口十七萬三千三百八十八人ニシテ相互ノ差五萬八千二百六十六人ニ上ル故ニ人口配當上均等ヲ得ル上ヨリ見ルモ此兩者ヲ併合ハ當然已メヲ得サル修正ナリト認ム

鳥根縣

第三區中越川郡ヲ獨立ノ一區一名ト爲シ仁多大原及飯石ノ三郡ヲ第二區ニ併合シテ一區二名ト爲スヲ要ス

理由 飯石郡ハ人口十三萬二千九百七十七人ヲ有スル大部ニシテ優ニ一郡ノ選舉區タルニ足ルノミナラス地勢亦出雲國ノ西北ニ位シ獨立ノ一選舉區ト爲スニ適ス而シテ第二區ハ東能義ニ加フルニ仁多大原及飯石ヲ以テセハ人口二十一萬三千三百八十八人ニシテ二人選出ニ適當ノ人口ヲ有シ地理上ノ關係ニ於テ亦決シテ不自然ナル結合ニ非サルヲ見ル

香川縣

第三區第四區ヲ併合シテ一選舉區二人ト爲スヲ可トス

理由 第三區香川小豆二郡人口計十四萬四千六百二十七人ニシテ其ノ隣區タル第四區ハ大川木田二郡人口計十七萬五千三百二十九人ナリ此兩區ニ對スル人口ノ配當均分ナラサル點ニ顯ミレハ兩者ヲ合シテ一選舉區二人ト爲スヲ相當ナリトス若シ人口ノ不平均此位ノモノヲ已メヲ得サルモノトシテ兩者ヲ二區ニ分割スル以上ハ第五區綾歌仲多度ヲ合シテ一選舉區二人ト爲シタル理由ナキ答ナリ何トナレハ綾歌郡ハ人口十二萬二千八百七十七人多度郡ハ人口九萬七千二百二十九人ニシテ兩者ハ截然分立シ得ヘキ資格ヲ具備スルモノト云ハサルヘカラス此ノ如ク甲ニ分チテ乙ニ合シ一貫ノ主張ヲ缺ク所以ノモノハ一派ノ黨略上ノ便宜ニ出ツルノ疑ナキ能ハス

高知縣

第二區土佐吾川長岡三郡ヲ合シテ一選舉區二人トセルモ第二區ハ土佐吾川二郡一人トシ第三區安藝香美ニ加フルニ長岡ヲ以テ一選舉區二人ト爲スヲ要ス

理由 原案第二區ハ三郡人口總計二十萬四千五百三十六人ニシテ一人平均約十萬二千餘人ノ割合ナリ之ヲ東隣ノ第三區十六萬四千四百四十七人西隣ノ第四區十五萬二千四百五十八人ニ比シ著シク差異アリ今之ヲ修正案ノ如クセハ第二區ハ人口十二萬八千九百五十八人ト爲リ第三區ハ二十四萬八千八百八十八人ニシテ一人平均十二萬四千餘人ト爲リ人口配當上ニ於テ最モ公平ノ結果ヲ見ル而シテ長岡郡ハ地勢上ヨリ見レハ之ヲ第二區第三區何レニ編入スルモ不可ナキカ故ニ人口配當ノ不均衡ヲ犧牲シテ第三區ニ結合スルニ及ハサルナリ

福岡縣

第九區乃至第十三區ヲ左ノ如ク改ム

第九區	筑紫	朝倉	糟屋	二人
第十區	宗像	遠賀	鞍手	二人
第十一區	嘉穗			一人

理由 原案第十區ハ人口二十九萬九千七百四十一人ニテ三人選出トシ一人平均人口九萬九千九百三十三人ナリ而シテ其ノ隣區タル第十一區筑紫朝倉二郡ノ人口ハ十七萬七千四百四十一人ヲ以テ一人ヲ選出スルカ故ニ人口配當上彼此著シキ不均衡ヲ免レス加之第十區ハ地理上及人口配當上必シモ三郡ヲ合シテ特別例外ノ一區三人制ヲ採用セサルヘカサル事由ナク嘉穗郡ハ人口十一萬三千五百六十九人ヲ有シ裕ニ獨立ノ一區ト爲スヲ妨ケサル

ヲ以テ一區ノ原則ニ從ヒ先ツ同郡ヲ單獨ノ一選舉區トシ次ニ筑紫朝倉糟屋ノ三郡ヲ以テ一區ニテ、宗像遠賀鞍手ノ三郡ヲ以テ一區ニテノ組合セテ行フトキハ、當ニ地理上ノ關係ニ於テ不自然ナラサルノミナラス、人口配當上、原案ノ如キ不均衡ヲ見ルノ比ニアラス、即チ筑紫朝倉糟屋ノ三郡ノ人口合計二十四萬一千四百四十九人、一平均十二萬七千二百五十五人ト爲リ、宗像遠賀鞍手ノ三郡ノ人口合計二十三萬七千八百九十五人ト爲リ、平均十一萬八千九百四十八人ト爲リ、最も公平ナル按排ヲ得ルモノナリト謂ハサルヘカラス

大分縣

第六區西國東國東二加フルニ速見ヲ以テシ一區ニテ、第七區ヲ下毛宇佐一區一ト爲スヲ要ス

理由 宇佐下毛兩郡ハ常ニ豐前二郡ト合稱シ人情風俗相等シタリ一般ノ關係亦親密ニシテ舊選舉區制時代ニ於テモ一區タリシナリ速見ハ宇佐ト境域ヲ接セルモ豐後ノ中央ニシテ人情全ク豐前二郡ト異レリ、東國東及西國東ノ一部トハ舊同藩タリシ關係多ク人情亦相近ク現ニ速見ト東國東トハ同一稅務署ノ所管タリ唯人口割ヨリ算出スレハ原案ノ東國東、西國東二郡ノ計十一萬五千二百七十五人下毛宇佐速見三郡ノ計二十五萬三千六百六十五人ト平均十二萬六千九百八十八人トナルニ比シテ修正案ノ速見東國東西國東三郡計二十萬八千二百八十八人ト平均十萬四千四百八十八人ト爲リ、人口割ニシテ平均人口ノ不均衡ヲ嫌ハキニ非サルモ人口割ニシテ重キヲ置キ地理上自然ノ區別ヲ無視セルハ不當ナリ單ニ人口配當ノ上ヨリ論スレハ大分縣內ニ於テスラ、第三區南北海部ノ人口ハ十八萬三千九百九十五人ニ及ビ之ヲ修正案第七區ニ比シテ二萬二千九百六十三人過多ナリ而シテ第三區ノ隣區タル第二區大分郡ハ十萬一千三百三十八人ニシテ修正案第六區ノ一平均人口ニ比シテ二百七十六人過少ナリ而シテ單ニ人口ノ平均ヲ求メント欲セハ第二區第三區ハ之ヲ合併シ一區ニト爲スヲ適當トス畢意ニ著ラ、區分セル理由ハ人口配當ノ不均平均機械性トシテ地理上ノ關係ヲ顧慮セルニ依リ之ト同一理由ニ依リ第六區第七區ヲ地理的關係ニ順ミ修正案ノ如ク改ムルハ當然ノコトナリト信ス

佐賀縣

第四區小城杵島及藤津ノ三郡二入一區ヲ杵島藤津二郡一入一區ト爲シ第五區東西松浦兩郡ニ加フルニ小城郡ヲ以テシ二入一區ト爲スヲ要ス

理由 元來小城郡ハ地理上東松浦郡ト最も密接ノ關係ヲ有スルノミナラス、之ヲ人口配當ノ點ヨリ見ルモ原案第五區人口十九萬七百六十九人ニ對シ一入ヲ選出セシムルハ適當ニアラス若シ修正案ノ如クセハ第四區ハ十七萬九千四百五十五人ニ對シ一入第五區二十五萬八千八百四十一人ニ對シ二入ヲ選出セシムル事トナルカ故ニ比較的ニ均衡ヲ得ルモノト云ハサルヘカラス、斯ノ如ク地理上及人口配當上明白ノ理由ヲ排シテ不自然ナル組合ヲ爲セルハ黨略上ノ理由ニ基クモノト非難セラルルモ辯解ノ辭ナカルヘシ

宮崎縣

第一區ヲ宮崎、南那珂及東諸縣二入第二區ヲ北諸縣西諸縣一入第三區ヲ兒湯、東臼杵、西臼杵二入ト爲スヲ要ス

理由 原案第二區十八萬六千四百八十八人ニテ二入第三區十六萬五千四百四十九人ニテ一入ヲ選出スルハ人口配當上不適當ナリト云ハサルヘカラス若シ修正案ノ如クセハ第一區二十萬三千八百八十八人ニテ二入第二區十五萬一千五百二十三人ニテ一入第三區二十四萬四千五百五十一人ニテ二入ヲ選出スル割合ト爲リ大ニ配當率ノ不均平均ヲ緩和スルコトヲ得而シテ之ヲ地勢上ヨリ見ルモ兒湯郡ノ中心ヨリ東西臼杵ノ北端ニ到ル距離、南那珂郡ノ南端ニ達スル距離トハ寧ろ前者ノ方近クシテ之ヲ何レノ方ニ組合スルモ甲乙ナシト云フヘク又東諸縣郡ハ西諸縣ヨリハ宮崎郡ノ方特ニ密選ノ關係ヲ有スルカ故ニ本修正案ハ地理的關係ニ於テモ決シテ不自然ナル組合セニ非サルモノト認ム

北海道

第十一區及第十二區ヲ合シテ一區三八ト爲スヲ要ス

理由 單ニ人口配當ノ上ヨリ見レハ敢テ原案ヲ不當ナリト云フヘカラスモ之ヲ地理的關係ニ顧ミレハ函館支廳管内ト檜山支廳管内トハ地勢交通上ニ於テ密接離レヘカラスモノアリテ原案ノ如ク利害關係相疎隔セル檜山後志ヲ併合シ函館ヲ獨立タルハ大缺點タルヲ免レシ此故ニ人口地理ノ二點ヲ顧慮シ兩者ヲ合シテ一區三八トスルハ已ムヲ得ザル配合方法ナリト信ス現行制ニ於テハ函館檜山兩管内ト後志管内トノ舊郡管內トヲ合セテ一區ヲ形成シ、明治四十五年政府提出ノ原案ニ於テモ亦函館檜山ヲ合シテ一區トシ別ニ後志ヲ以テ獨立ノ一區ヲ形成セシメタリ唯現時ノ人口配當ノ上ヨリ見テ茲ニ四十五年ノ府府案ヲ踏襲スヘカラスカ故ニ本案ノ如ク修正スルヲ適當ナリト認ム此ノ如ク兩區ヲ合スルモ其境域廣大ナラス之ヲ本道ノ他ノ選舉區ニ對比セハ地理上ノ區別輕微ナリ其ノ宜シキニ適セルコトヲ看取シ得ヘシ

○議長(大岡育造君) 松田源治君

(松田源治君登壇)

(拍手起ル)

○松田源治君 諸君、衆議院議員選舉法ノ改正案ハ、頗ル重大ナル法案デアリコトハ、本員モ承知致シテ居ルノデアリマス、齊藤君ハ昨日ノ委員會ニ於テ、今井君カラ小委員會ノ請求ガアッテ、本案ヲ一括シテ或一致點ヲ見出ス爲メニ、之ニ付託スル方ガ宜シト云フ贊成ノ意見ヲ唱ヘタノデアリマス、然ルニ吾々ノ之ニ反對スル理由ハ、假令衆議院議員選舉法ハ憲法附屬ノ法律ナリト雖モ、四十五年以來ノ懸案デアル、而シテ明治四十五年ニ西園寺内閣ニ於テ、時ノ内務大臣原氏ハ衆議院ニ提出スルニ當ッテ、其前年ノ明治四十四年ニ、朝野ノ選舉法ニ精通シテ居ル所ノ委員

ヲ指名シマシテ、内務省ニ於テ衆議院議員選舉法改正調査會ト云フモノヲ組織シテ、慎重審議ヲシタ結果、四十五年ノ提案トナッタノデアリマス、其時分ハ主トシテ大選舉區ヲ小選舉區ニ變ヘルト云フコトデアリマス、其後ニ各黨各派ヨリ、衆議院議員選舉法ノ改正案ト云フモノハ毎年々々此議場ニ現レマシタ、先達衆議院事務局ヨリ配付サレタル、修正案ノ沿革ガ書イタル書物ニ依リマスレバ、隨分澤山ノ修正案ガ出マシテ、其都度々々慎重ナル審議ヲ致シテ居ルノデアリマス、又昨年ノ如キモ、憲政會カラモ、國民黨カラモ、我黨カラモ改正案ヲ提出シマシテ、慎重審議ヲ致シ、小委員ニ付託シマシタケレドモ、遂ニ一致點ヲ見出スコトガ出來ズシテ、小委員會ハ閉會シタノデアリマス、斯ノ如ク既ニ今日ハ、如何ニ衆議院議員選舉法ヲ改正スルカト云フ所ノ實行ノ時代ニ移レテ居ルノデアリマス、吾々ハ國民ノ代表者トシテ、衆議院議員選舉法ノ改正案ハ、餘程注意ヲシテ研究致シテ居ルノデアリマス、徒ラニ小委員會ヲ設ケテ、之ニ付託シマシタ所ガ、今日ノ形勢ニ於テハ、到底一致點ヲ見出スコトガ出來ナイト云フコトハ明カナル事實デアリマス(拍手起ル)然ルニ拘ラズ、無益ノ小委員會ヲ設ケテ、而シテ慎重審議ニ名ヲ藉リテ本案ヲ延期スルト云フヤウナ魂膽ハ、吾人ノ大ニ採ラザル所デアリマス(拍手起ル)ウー(ト呼フ者アリ)故ニ私ハ此小委員會ヲ設ケルト云フ提議ニハ、絕對ニ反對致シタノデアリマス(ソナナ事ハ餘計ナ事ダ)默(ト呼フ者アリ)齊藤君ガ之ヲ言ッカラ言フノデアリマス、齊藤君ガ之ヲ言ッカラ言フノデアリマス、而シテ衆議院議員選舉法改正案ノ主タル所ノ項目ハ……

(三木君ガ屢々喋舌テ居ル)「三木默(ト)懲罰」ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ……

○松田源治君 選舉權ノ擴張デアリマス、次ハ區制デアリマス、次ハ罰則デアリマス、衆議院議員選舉法ノ改正案ニ就テ、選舉權ノ擴張ト云フコトハ是ハ時代ノ要求デアリマス、立憲政治ノ究極ノ目的ハ、制限選舉ヲ撤廢シテ、普通選舉ニ爲スト云フコトハ當然ノ話デアリマス、併シ此議場ノ模様ニ依リマスレバ、國民黨ノ提案モ、憲政會ノ提案モ、政府ノ提案モ、矢張制限選舉デアリマスカラ、此所ニ於テ普通選舉ノ可否ヲ論ズル必要ハ本員ハ無イト考ヘルノデアリマス(ヒヤ(ト呼フ者アリ)而シテ此財產資格ヲ何所マデニ擴張スルカ、政府案ハ三區デアリマス、國民黨ト憲政會ハ

二圖デアリマス、是ハ主義ノ争デハナイ、二圖ヲ以テ三圖ヨリモ主義上宜シト云フコトハ言ヘナイノデアリマス、是ハ五十歩百歩ノ議論デアリマス、私ハ多ク論ズル必要ハ此點ニ於テ認メナイノデアリマス、今日ノ府縣制其他ノ斟酌シマシテ、府縣會議員ノ選舉權ト同一ノ擴張ノ程度ニ止メ置クコトガ、當然ノ事ト思フノデアリマス（拍手起ル）ソレカラ最モ重要ナル問題ハ、智識階級ニ選舉權ヲ與ヘル、智識階級ト申シマスレドモ、智識階級ノ總テヲ含シテ居ルノデアリマセヌ、中學校卒業以上、即チ中學校卒業以上ノ者ニ選舉權ヲ與ヘル、國民黨モ然リデアリマス、併シ憲政會ノハソレニ制限ガ附イテ、獨立ノ生計ヲ營ム者トナシテ居ルノデアリマス、是ガ政府案ニ無イ、即チ中學校卒業以上ノ者ニ選舉權ヲ與ヘルト云フ事ガ政府案ニ無イ、是ハ無イノガ當然デアアル、智識階級ハ中學校卒業生ノミデアリマセヌ、他ニ澤山アルノデアアル、政治ヲ了解シ、政治上ノ判斷ヲ爲ス者ハ、中學校卒業生タリヨリモ、世ノ中ノ世故ニ富ミ、經驗ニ富ミ、政治上ノ判斷ヲ爲ス者ハ、全國ニ何十萬アルカ分ナイト思ヒマス、之ヲ拾テ、僅ニ三圖ノ範圍ニ入ラナイ所ノ十八萬、憲政會ノ案ニスレバ十萬デアリマス、獨立ノ生計ヲ營ム者ト云フ事ヲ入レマスカラ十萬デアリマス、此十八萬カ十萬ヲ保護スル爲メニ、特權階級ヲ設ケテ、其他ノ智識階級ト區別シテ、不平等ナル取扱ヲスルト云フ事ハ、自由平等ノ世界ノ思想ノ熾ナル今日ニ適シナイモノデアアル、（ソナナ間違タ議論ハ無イ）愚論々々ト呼フ者アリ、諸君ハ普通選舉ノ提案ヲセズシテ——普通選舉ノ提案ヲセズシテ、斯ル不徹底ナ事ヲスルカラ、特權階級ヲ保護シナケレバナラヌト云フコトニ歸著スルノデアリマス、丁度英國ニ於キマシテ諸君等モ御承知デアリマセウ、千八百六十七年ニ「デスレリ」ガ斯ル案ヲ出シマシタ、斯ル案ヲ出シタ時分ニ、其時ノ反對黨「グラッドストーン」ハ何ト云フテ反對シタ、是ハ「フアンシー、フアンチャイズ」デアアル、即チ勝手ニ定メタル選舉資格デアアル、想像的ノ選舉資格デアルト云フテ反對シテ、此案ハ葬ラレタノデアリマス、諸君等ノ唱ヘル選舉資格ハ「フアンシー、フアンチャイズ」即チ想像的ノ選舉資格、勝手ニ定メタル選舉資格ヲ拵ヘテ、其他ノ智識階級ヲ排斥スルト云フ事ハ、今日ノ時代ニ決シテ容レラナイモノト、私ハ斷言致スノデゴザイマス（拍手起ル）總テノ歐米ノ先進國ヲ御覽ナサイ、普通選舉ニ行カナイ前ニ、制限選舉ヲ採リテ居ル時ニ、何所ノ國ニ斯ウ云フ制度ガゴザイマスカ（日本ト

ハ違ヒマス）ト呼フ者アリ、小サイ國ニハアリマス、小弱國ニハアリマス、白耳義ノ如キニハアリマス、憲法政治ノ發達シテ居ル強大國ニ於テ、制限選舉ヲ採リテ居ル時分ニ、斯ル智識階級ノ名ニ隠レテ、サウシテ不平等ナ事ヲシタ國ハ一ツモ無イト云フコトヲ、私ハ斷言スルノデアリマス（拍手起ル）又國民黨ノ此現役ヲ了ヘタル所ノ陸海軍ノ軍人ニ選舉權ヲ與ヘル、是モ頗ル不徹底デアリマス、選舉權ヲ與ヘル所ノ根本ハ、政治ヲ解スルト云フ事ガ主旨デアリマス、政治ヲ判斷スルト云フ能力ヲ有シテ居ルト云フ事ガ、其與ヘル標準デアリマス、兵隊ニ入リテ政治教育ヲスルノデアリマスマイ、政治教育ハ禁ズルノデアアル、現行ノ衆議院議員選舉法ニ於キマシテモ、現役ノ陸海軍人ハ選舉權被選舉權ヲ有シテ居ラナイノデアアル、軍隊ニ入レバ政治教育ハ致サヌノデアアル、政治教育ヲ禁ズルノデアアル、然ルニ此現役ヲ了タル所ノ人ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ、即チ此兵役ヲ了タル所ノ報酬トシテ與ヘルト云フ論理ヨリ外ニ無イト私ハ思フ、斯ル事ハ選舉權ノ根本思想ニ合ハナイノデアリマス——選舉權ノ根本思想ト合ハナイノデアリマス、即チ兵役ノ義務ヲ了レリト云フ報酬ニ、選舉權ヲ與ヘルト云フ嫌アル事ヲスルコトハ、不徹底極マル所ノ案デアルト私ハ思フノデアリマス（拍手起ル）「ノウ」ト呼フ者アリ、故ニ此制限資格ヲ取ル以上ハ、ドウシテモ財產ノ標準ニ致シ、納税資格ヲ標準トスルヨリ仕方がナイノデアアル、中學校以上ノ卒業生ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ普通選舉ガ施行セラレル時分ニ、解決スルヨリ外仕方がナイト私ハ申スノデアリマス（議員俱樂部デテ居ル）「默レ」ト呼フ者アリ其他發言スル者多ク、議場騒然（ソレカラ次ハ區制デアリマス

ヲ大選舉區ニ變ヘタル時分ノ主タル理由ハ、床次内相ヨリモ説明ガアリマシタガ、第一ニ小選舉區ハ大人物が出ナイ、大選舉區デナケレバ大人物が出ナイ、國家的ノ人物が出ナイ、小選舉區ノ時分ハ地方的ノ人ノミデアアル、故ニ小選舉區ヲ大選舉區ニ變ヘルノデアアル、又小選舉區デハ少數代表ガ出來ナイノデアアル、多數ノ代表モ出來ナイノデアアル、區ガ小サナルカラ投票ガ分裂サレラガ故ニ、多數ノ代表モ出來ナイノデアアル、故ニ小選舉區ヲ變ジテ、大選舉區ト爲シタリト云フ理由デアリマス、然ルニ果シテ小選舉區ハ大人物ヲ選出スルニハ不都合デアリマセウカ、私ハ決シテ不都合デハナイト思ヒマス、選舉區ノ大小ト云フモノハ、人物ノ大小ニハ關係ガ無イノデアリマス、實際ノ例ヲ舉ゲテ申シマスレハ、今日大臣ニナラレテ居ル人モ、議長ニナラレテ居ル人モ、小選舉區時代カラ出テ居ル人多イノデアアル、内閣總理大臣ノ原氏ハ盛岡市、即チ小選舉區カラ出テ居ルノデアアル、（拍手起ル）床次内務大臣ハ鹿兒島ノ市カラ出テ居ルノデアアル、（拍手起ル）床次内務大臣ハ金澤ノ市カラ出テ居ルノデアアル（拍手起ル）野田卯太郎ハドウダト呼フ者アリ、斯ノ如ク私ハ……（武富ハ如何）ト呼フ者アリ、選舉區ノ大小ニ依テ、人物ノ大小ガアルト云フコトハ考ヘヌノデアリマス、何方ニ致シマシテモ是ハ當然ノ事デアリマス、何方ニシテモ區別ハ無イコトデアリマス、又小選舉區ガ少數代表ノ制度デナイ、是ハ大選舉區モ少數代表ノ制度デアリマセヌ、即チ大選舉區ニ立タ少數黨ガ一人出ル場合ハ、是ハ或ハ少數代表ガ出來マセウ、然ルニ二人以上出ル時分ニ於テハ其黨ニ規律節制ガ無ケレバ、二人ノ勢力ヲ持テ居デモ、一人ハ落選シテ、タッタ一人シカ當選スルコトガ出來ナイノデアリマス（拍手起ル）又大多數ノ黨派デ五人出ル所ノ勢力ガアリマシテモ、其規律節制ガ有レバ、五人ハ三人ニ減シテ三人シカ當選ガ出來ナイト云フコトハ、數多ノ例ガ之ヲ證シテ居ルノデアリマス（制度ノ罪ニ非ズシテ人ノ罪ナリ）「默レ」ノウ「ト」ト呼フアリ、即チ第八回ニ東京市ニ於テ政友會ハ二千八百八十七人ノ有權者デ以テ三人出シテ居リマス、憲政本黨ハ二千四百五十一人デ二人選出致シテ居リマス、是ハ二千四百五十一ト云フ多數ノ投票ヲ以テ當選セラレタル數ハ僅ニ二人、政友會ハソレヨリモ少數デ以テ二千八百八十七票デ三人當選致シテ居ルノデアリマス、又奈良縣ノ郡部ニ於テハ、政友會ハ三千九百三十二票デ二人出テ居

リマス、憲政本黨ハ三千九百七十五人一人出テ居リマス、即チ憲政本黨ノ方ガ、投票ノ數ニ於テハ多イケレドモ、一人シカ出スコトガ出來ナイノデアリマス、ソレハ過渡時代ノ例ナリト呼フ者アリ、又秋田縣ハ郡部ニ於キマシテハ六千六百九票デ政友會ハ二人出シテ居リマス、憲政本黨ハソレヨリモ少數、即チ五千二百七十二票デ三人出シテ居ルノデアリマス、又愛媛縣ノ郡部ニ於テハ、四千七百二十票デ以テ二人政友會ハ出シマシテ憲政本黨ハ四千六百八十八票デ以テ三人出テ居ルノデアリマス、又十二回ノ選舉ニ於キマシテハ、山形縣ノ郡部ニ於テハ、一万四千四百五十六票デ政友會ハ二人出テ居リマス、同志會ハ九千七百二十一票デ三人出シテ居ルノデアリマス、又廣島縣ノ郡部ニ於テハ、五千七百五十九票デ政友會ハ二人出テ居リマス、同志會ハソレヨリモ多數ノ投票、即チ九千三百六十三票デ以テ、一人シカ出テ居リマセヌ第十三回ノ選舉ニ於キマシテハ、茨城縣ノ郡部ヨリ政友會ハ一万七千七百一票デ五人出テ居リマス、憲政會ハ一万八千四百七十七票デ以テ四人シカ出テ居リマセヌ、福島縣郡部ニ於テハ、一万三千四百八十八票デ政友會ハ四人出テ居リマス、憲政會ハ一万八千八百四十三票デ、三人シカ出テ居リマセヌ、高知縣郡部ニ於テハ、政友會ハ六千九百五十四票デ二人出テ居リマス、憲政會ハ六千四百五十二票デ以テ三人出テ居リマス、斯ノ如ク大選舉區ニ於テハ、規律節制ガ紊レバ多數モ決シテ多數ノ議員ヲ出スコトガ出來ヌト云フコトハ、之ヲ見テモ明カナル、私ハ例證デアラウト思フノデアリマス、(拍手起ル)制度ノ罪ニ非ズ政黨ニ節制ナキガ故ナリト呼フ者アリ、又小選舉區ガ少數代表ガ出來ナイ、是ハ決シテ出來ナイノデアリマス、事實ガ證シテ居リマス、今日ノ市ハ小選舉區デアリマス、然ルニ國民黨モ出テ居リマス、憲政會モ出テ居リマス、政友會モ出テ居レバ、無所屬モ出テ居リマス、各、其勢力ニ應ジテ、少數代表ト云フモノハ、完全ニ出來テ居ルト云フコトヲ、我輩ハ斷言致スノデアル、(拍手起ル)又大正六年寺内内閣ノ下ニ行ハレタル所ノ投票デス、之ヲ各選舉區ニ割當テマシテ、按分比例ヲ拵ヘタル表ガアリマス、其表ニ依リマシレバ、東京市ノ第一區ハ國民黨ガ三割ノ投票ガアリマスカラ、是ハ一番多イカラ國民黨ガ當選致シマス第三區ハ憲政會ガ五割四分アリマスカラ、憲政會ガ當選致シマス、ソレカラ第十區ハ政友會ガ四割二分アリマスカラ、是ガ一番多數ノ勢力ガアリマスカラ、此所デハ政友會ガ

當選致シマス、又少數黨タル國民黨ニ於キマシテモ、福岡縣ニ於キマシテハ、第八區デ以テ五割二分ノ勢力ヲ維持サレテ居リマスカラ、是ハ國民黨ガ當選致シマス、福岡縣ノ第十四區ニ於キマシテハ、國民黨ガ四割九分ヲ占メテ居リマスカラ、此所デモ大多數ノ勢力ヲ占メテ居ルカラ、當選致シマス、今日ノ國民黨ノ狀態ニ於キマシテ、福岡縣ハ一人ノ代表者ヲ出シテ居リマスケレドモ、小選舉區ヲ施行シマスレバ、二人ノ代表者ヲ得ルト云フコトニナルノデアリマス、其他一々朗讀スルト繁雜ニナリマスカラ、議長ノ許可ヲ得テ是ハ速記録ニ添付致スコトニ致シマス、此勢力ノ分布シタルモノヲ見マシテ之ヲ合計致シマスルト、如何ナル結果ガ出マスカト申シマスレバ、今回改正シタル所ノ、小選舉區ニ依リマシレバ、憲政會ガ百六十五人出ルノデアリマス、政友會ガ百八十六人出ル、國民黨ガ三十七人出ルノデアリマス、無所屬ガ七十一人出ルノデアリマス、其他大垣市及北海道、不明ナル所ガ二箇所アリマシテ、勢力ノ均衡ヲ得テ居ル所ガ三箇所アリマスカラ、不明ガ五人ニナリマス、斯ノ如ク國民黨モ無所屬モ其代表者ヲ出スコトガ出來、政友會ノ如キハ百八十六人、今ニ較ブレバ僅カノ數ガ増シテ居リマスケレドモ、憲政會ハドウデアリマスカ、憲政會ハ百六十五人ヲ選出スルヤウナ、利益ノ所ノ選舉區制ニナッテ居ルデアリマセヌカ、(拍手起ル)斯ノ如ク小選舉區ヲ以テ少數代表ガ出來ナイト云フヤウナコトハ事實ガ否認シテ居ルノデアル、(笑聲起ル)此事實ニ依リマシレバ、小選舉區ハ大選舉區以上ニ、少數代表ト云フコトガ私ハ出來ル制度ナリト申上ゲテ差支ナイト思ヒマス、(拍手起ル)唯、彼所ニ二十票、彼ノ隅ニ百票、彼ノ所ニ五十票ト云ッテ全縣下デ掻集メテ、何等ノ根柢、何等ノ勢力ノ無イ者ヲ出ス必要ハ無イノデアリマス、斯ル少數代表ハ憲政治下ニ於テ、私ハ腐敗ノ根源デアルト云フコトハ斷言致スノデアリマス、斯ノ如ク少數代表ハ小選舉區ニ於テモ出來ルノデアリマス、又多數代表ノ如キハ、小選舉區ニ於テハ完全デアリマス、一區一人ガ原則デアリマスカラ、多數黨ガ勝ツノデアル、投票ノ分別モ無イノデアリマス、故ニ小選舉區ハ大選舉區ニ比較スレバ、多數代表ニ就テハ、最も完全ナル制度ト申シテ私ハ差支ナイト思フノデアリマス、(多數代表ニ完全デアレバ少數代表ニ不完全ナルコトハ分リ切ッテ居ル)「三木默レト」呼フ者アリ、ソレデ先程齋藤君ガ比例代表ノ制度ヲ唱ヘマシテ、成程比例代表ノ制度ハ、少數者ハ其少數ニ應ジテ當選セシムルコトガ出來マ

ス、多數黨モ比例シテ其多數ガ當選スルコトガ出來マスケレドモ、之ニハ大ナル缺點ガアル、今日世界各國ニ於テハ比例代表ヲ採リ掛ッテ居ル傾向ガアルト云フコトハ、齋藤君ハ述ベラレマシタケレドモ、是ハ大ナル間違デアリマス、(知ラナイノダ)ト呼フ者アリ、英國ニ於キマシテハ、昨年選舉法ノ改正ニ於テ、比例代表ノ制度ヲ採ラントシテ、選舉法改正案ノ二十條ニ之ヲ規定シテ「グレートブリテン」カラ三名以上七名以下ノ選舉區ヲ拵ヘテ、百人ダケ比例代表ノ制度ニ於テ、議員ヲ選出セント云フコトヲ企テタノデアリマス、而シテ此爲メニ勅命ニ依リ、委員會ヲ組織サレシト云フコトニナダノデアリマス、然ルニ委員會ガ組織サレテ、其委員會デハドウナリマシタ、昨年五月十二日ニ於テ比例代表ノ制度ハ廢棄サレタ、今日比例代表ノ制度ハ、英國ニ於テ採用シナイト云フコトニナダデアリマセヌカ、ソレハ如何ナル理由デ廢棄サレタカト申シマスレバ、少數代表ト云フコトハ、立憲政治ニ於テハ愈敬シナケレバナラヌ事デアルケレドモ、ソレ以上ニ注意シナケレバナラヌ事ガアルノデアル、即チ如何ナル政府ニ如何ナル政治ヲ爲サセルカト云フコトハ、立憲政治ニ於テ、少數代表以上ニ考ヘナケレバナラヌ事デアル、即チ大多數ノ黨派ニ依テ、鞏固ナル政黨ノ地盤ニ依テ維持サレタル政黨内閣デナケレバ、大ナル政策ヲ國家ノ爲メニ、徹底的ニ斷行スルコトガ出來ナイト云フコトニナッテ居リマス、(拍手起ル)是ガ立憲政治ニ於テハ、最も注意シナケレバナラヌ所デアリマス、少數代表ト云フ事モ餘程注意シナケレバナラヌケレドモ、少數代表以上ニ如何ナル政府ニ如何ナル政治ヲサセルカト云フコトハ、最も注意シナケレバナラヌノデアリマス、日本ニ於キマシテモ近ク二例ガアリマス、官僚内閣ノ爲シタル政治ノ述ヲ見、政黨内閣ノ爲シタル政治ノ述ヲ見タナラバ、此事ハ最も明瞭ニ判斷サレルコトガ出來ルト思フ、(拍手起ル)現内閣ハ申スマデモナク、政友會ナル多數黨ニ維持サレテ居ル所ノ政黨内閣デアリマス、就任以來日未ダ淺キニ拘ラズ、反對黨ハ如何ナル批評ガアルカハ知りマセヌケレドモ、(君等ノ言フコトデナイ)ト呼フ者アリ、教育ヲ改善シテ、高等諸學校ノ大擴張ナル政策ヲ徹底的ニ爲シタデアリマセヌカ、鐵道問題ニ就テモ、交通機關ヲ速成スル大ナル政策ヲ徹底的ニ斷行シタデアリマセヌカ、(拍手起ル)官僚内閣ノ如キ時代ニ於テ、假令少數代表ガ完全ニ出來テモ、左顧右盼何等ノ事ヲスルコトガ出來ナイト云フコトハ、立憲治下ニ於ケル所ノ大ナル缺點デアルト私ハ考ヘルノ

デアリマス(拍手起ル)斯ノ如ク少數代表ト云フコトモ注意シナケレバナラヌケレドモ、ソレ以上ニ立憲政治ニ於テ注意スベキ點ガアルト云フコトデ、比例代表ノ制度ハ今日ハ廢棄シテ、何所ノ立憲國ニ於キマシテモ——小國國ヲ除イテ何所ノ立憲國ニ於キマシテモ、今日ハ小選舉區ヲ以テ世界共通ノ制度ト致シテ居ルデアリマセヌカ(拍手起ル)山梨縣ノ辯解ヲ願ヒタイ「默レ」ト呼フ者アリ、大選舉區單記ト云フコトハタツタ日本一箇所シカ無イ、而シテ此大選舉區單記デアル故ニ、私が申シタヤウニ、少數ヲ比例シテ其少數通りニ代表スルコトガ出來ズ、多數ヲ其多數ニ應ジテ代表スルコトガ出來ナイ、世界ニ於ケル最惡ナル制度ヲ以テ、區藤君ガ完全ナル制度デアルト云フコトハ、私ハ何事デアるかト申サナケレバナラヌ(拍手起ル)ソレカラ小區選舉デアルト、賄賂トカ暴行脅迫ガ盛ニナル、是モ大變間違シ議論デアリマス、買収ノ如キハ大選舉區ニナツテ非常ニ盛ニナツテ來テ居ル、小選舉區ノ時代ハドウデアリマス、今日ト比較シタ時分ニハ物價ガ廉イデアリマセウ、物價ガ廉イデアリマセウケレドモ、選舉費用ハ小選舉ノ場合ハ最も少額デアツテ、今日ノ如ク多額ニナツタノハ、大選舉區ニナツテカラデアルト申上ダレ(其通り)ト呼ヒ拍手スル者アリ、或者ハ一万、或者ハ二万、或者ハ三万、或者ハ五万ノ選舉費ヲ使テ當選スルコトガアルデアリマセヌカ(例ヘバ穴水君ノ如シ)「止セ」默レト呼フ者アリ、又之ニ就テハ大選舉區ニ於テ選舉區ガ腐敗シタト云フコトハ、茲ニ統計ヲ以テ立證スルコトガ出來ルデアリマス、即チ二十三年ノ選舉ニ於キマシテ……

〔此時發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ……

○松田源治君 選舉法ノ違反ニ依テ處罰サレタ者ハ、僅ニ二百八十六人デアリマス、第二回ノ選舉ニ於キマシテハ三百二十三人デアリマス、第三回、四回ヲ合併シマシテ、是ハ明治二十七年ニ二度選舉ガアリマシタカラ、之ヲ合併シテ千五百十三人デアリマス、第五回、第六回ハ、之ヲ合併シテ千二百九人デアリマス、然ルニ第七回選舉カラ大選舉區ニナツテ、此數ハ一躍シテ千八百六十一人ニナリ、八回ニハ千九百九十八人ニナリ、九回ハ僅カデアリマス、十回ハ千九百二十一一人ニナリ、十一回ハ三千九百五十八人ニナリ、十二回ハ千三百三十二人ニナリ、十三回ハ二万三千三百七十七人ニナツテ居ルデアリマセヌカ、是ハ檢舉ニ付テ寛嚴ト云フコトハアリマセウ、私ハ此統計ヲ以テ絶對的ノ眞

理トハ言ヒマセヌケレドモ、大選舉區ニナルト云フト、成金トカ、或ハ選舉區ノ地盤ヲ持テ居ラナイ人ガ、先程申シタヤウニ其所デ百票二百票、此所デ三百票ト云フコトデ、全縣下デ投票ヲ集メテ當選スル爲メニ、買収行爲ト云フ者ガ盛ニ行ハレルデアリマス、其爲メニ選舉ノ地盤ヲ持テ居ル候補者ハ非常ニ迷惑ヲスル、大選舉區デアリマス、假令定員ガ十人デモ、其中ニサウ云フ候補者ガ一人出テ——一人出テモ全體十人ノ候補者ガ影響ヲ受ケルデアリマス、故ニ大選舉區ニナツテ以來買収行爲ガ盛ニナツタト云フコトハ、實ニ私ハ顯著ナル事例デアルト申上ダテ差ナイノデアリマス、又暴行脅迫ノ事デアリマスガ、是ハ今回ノ選舉法ハ舊小選舉區制ト違フテ居ル、舊小選舉區ノ場合ハ記名投票デアリマス、而シテ二人以上ノ場合ハ連記デアリマス、今回ノ小選舉區ハ無記名デアリマス、單記デアリマス、而シテ大選舉區ト同ジク郡別ケニ投票ヲ開クデアリマス、故ニ暴行脅迫ハ今回ノ小選舉區ニナリマシテモ、以前ノ舊法時會ノ小選舉區トハ、全ク其相違ヲ生ズララウト思フノデアリマス、即チ此以前ノ小選舉區ニ於テハ、暴行脅迫ガ行ハレタト云フコトデ、今回改正シタ所ノ小選舉區ノ矢張暴行脅迫ガ行ハレタト云フコトハ、記名投票ト無記名投票ノ區別ヲ爲ササル所ノ誤ニ陷テ居ルモノト私ハ考ヘルノデアリマス、又大選舉區ガ小選舉區ニ變リマセヌカ、各候補舉ハ地區ノ關係ガ狭少ニナリマスカラシテ、政見ヲ選舉區民ニ徹底スルコトモ出來マス、立憲政治ノ爲メニハ、非常ナル發達ヲ期スルコトガ出來ルデアリマス、又選舉取締ニ於キマシテモ、無競争ナル選舉區ガ澤山出來マスカラシテ、他ニ力ヲ用ケルコトガ出來マシテ、選舉取締モ完全ニ徹底的ニ私ハ行フコトガ出來ルト考ヘルデアリマス、又選舉干涉ノ點ハ如何デアるかト申シマセヌカ、選舉干涉ノ點ハ、小選舉區ニナレバ政黨ノ地盤ガ鞏固ニナル、大選舉見タヤウナ散漫ナモノデアリマセヌカ、薄弱ナモノデアリマセヌカ、故ニ事實ヲ以テ例證致シマセヌカ、明治二十五年ノ小選舉區ノ時代ニ於テ大干渉ヲヤツタケレドモ、政府黨ガ負ケテ民黨ガ萬歲デアッタデアリマセヌカ、然ルニ大正四年ノ選舉干涉ニ於キマシテハ、大選舉區ノ下ニ行ハレタモノデアリマスカラシテ、政府黨ハ一躍シテ倍數ニナリ、在野黨ハ半減シタデアリマセヌカ(十三回ハドウダト呼フ者アリ)斯ノ如ク小選舉區ハ政黨ノ地盤ヲ鞏固ニシ、無競争ナル選舉區ヲ各地ニ生ズルデアリマス、例ヲ申シマセヌカ、第一回ノ

時分ハ十箇所出來テ居リマス、第二回ハ九箇所出來テ居リマス、第三回ノ時ハ三十七箇所出來テ居リマス、第四回ノ時ハ三十八箇所出來テ居リマス、第五回ノ時ハ五十八箇所出來テ居リマス、第六回ノ時ハ百一十一箇所出來テ居ルデアリマスカラ、世ノ所謂大人物即チ國家有用ノ材ハ、其過半數ガ無競争デ當選ガ出來ルト云フコトハ、國家ノ爲メニ私ハ慶賀ニ堪ヘザル次第デアルト思フノデアリマス(拍手起ル)又補缺選舉ノ如キニ至リマシテハ、大選舉區ハ弊害ガアルト云フコトヲ憲政會ノ諸君モ認メテ居ル、全縣下ヲ騒ガシ、無益ノ競争ヲ爲シ、實ニ繁雜極マル所ノ制度デアリマス、故ニ憲政會ハ不徹底ナル改正案ヲ出シテ居ルデアリマセヌカ、大選舉ノ場合ハ、同一ノ選舉區ニ於キマシテ三分ノ一以上ノ關員ガ生ジナイ場合ハ、補缺選舉ヲ行ハナイト云フコトノ規定ヲ設ケテ居ルデアリマセヌカ、私ハ是ハ實ニ不徹底ナル規定デアルト思フノデアリマス、立憲政治ニ於テ關員ガアレバ、直チニ選舉スルコトハ國家ノ要求デアリマス、然ルニ同一選舉區ニ於テ、三分ノ一以上ニ達セズンバ補缺選舉ヲ行ハナイ、東京市ノ如キハ十五人、是ガ四票人員ヲ生ジマシテモ、五人以上ニナラナケレバ補缺選舉ヲ行ハナイト云フコトニナレバ、立憲治下カラ見タナラバ、頗ル不徹底ナル制度ト申サナケレバナラヌデアリマス、又東京市ノミデハナイ、諸方ノ選舉區ニ關員ガ生ジマシテ、三分ノ一ニ達シナケレバ選舉ヲ行ハスト云フコトニナツタナラバ、百二十三人ノ關員ガ生ジテモ選舉ヲ行ハナイト云フコトハ、大缺點ヲ生ズラデアリマセヌカ、斯ル事ハ杞憂ノ事デアリマセウ、併シ法律ヲ規定スル以上ハ、其事モ考ヘナケレバナラヌ、斯ル不徹底ナル所ノ奇妙ナル所ノ規定ヲ設ケテ、大選舉區ノ補缺選舉ノ弊害ヲ彌縫スルヨリモ、其論ヲ擲テ、吾等ノ小選舉區ニ降参シタ方が、餘程男ラシイ態度デアルト私ハ考ヘルデアリマス(拍手起ル)又小選舉區ニナリマシテハ、同志相爭ヒ、同志相侵スト云フ事ハアリマセヌケレドモ、今日ノ大選舉區ニ於テハ、同志相爭ヒ、同志相侵シ、選舉ノ時分ニ於テハ、同志ノ間ニ於テ激烈ナル競争ヲ生ズルノデアリマス、是ガ立憲治下ニ於テ實スベキ事デアリマスカ、斯ル事ヲシテ、決シテ立憲政治ハ圓滿ニ發達ヲ期スルコトハ出來ナイト私ハ思フノデアリマス、政黨ノ發達ヲ爲シ、政黨ノ地盤ヲ鞏固ニスルニ就テハ、今日世界共通ノ小選舉區ヲ採ルヨリ外仕方ガナイト申上ダレデアリマス(拍手起ル)ソレカラ別表ノ事デアリマス、別表ノ事ハ是ヨリ後ニ我黨ノ武

藤君が述べたレマスカラ、武藤君に譲リマス(山梨縣ダケヤリ給ヘト呼フ者アリ)而シテ武藤君ノ述べタル事ハ理由ノ無イト云フコトハ、其時ニ明瞭ニナルデアラウト思フノデアリマス、併シ郡ヲ割カズ町村ヲ割ラズシテ小選舉區ヲ作製スル時分ニ於キマシテハ、今回政府ガ拵ヘタ案ヨリ、誰ガヤツテモ私ハ仕方ガナイト思フ、或ハ地勢ヲ考ヘ、或ハ交通ノ状態ヲ考ヘ、或ハ舊選舉制時代ノ状態ヲ考ヘ、國ノ歴史ヲ考ヘ人情ヲ考ヘタナラバ、此所ノ人口ハ此人口ニ較ベテ五万ノ差ガアル、此所ノ人口ハ之ニ較ベテ六万ノ差ガアルト云フコトハ、當然出來ル次第デアルト考ヘマス、諸君決シテ選舉法ニハ、多數黨ガ何時マデモ多數黨デアルト云フ規定ハ無イ、是カラ立憲政治ガ盛シニナリマスレバ、政策ニ依テ輿論ガ動クノデアリマス、政策ニ依テ輿論ガ動クノデアリマス、今日ノ多數黨ガ、決シテ多數黨ヲ永久ニ維持スルコトガ出來ナイノデアリマス、今日ノ少數黨ハ復タ輿論ヲ歡迎ヲ受ケレバ、多數黨ニナルコトモ出來ルノデアリマス、昨年ノ英國ノ選舉ハドウデアリマス、戰爭ヲ徹底シテ遂行スルト云フコトヲ唱ヘタ所ノ政黨ハ、大多數ヲ當選シタデアリマセヌカ、不徹底ニ平和論唱ヘタル所ノ政黨ハ、慘メナル目ニ遭タデアリマセヌカ「アスキス」黨ノ如キ、百人カラ二十六人ニ減タデアリマセヌカ、而シテ「アスキス」氏モ落選シ、院內幹事モ落選シ、前大臣モ落選シ、二十六人ハ、之ヲ指導スル人ガ無イ所ノ團體ニナッタデアリマセヌカ、而シテ政府黨ハ反對黨ヲ超過スルコト二百六十二人、今マデ無イ所ノ絶對的ノ多數ヲ占メタデアリマセヌカ、立憲政治ガ段々發達シマス、政策ニ依テ國民ノ輿論ノ關係ハ違フノデアリマス、諸君等ガ今マデノ歴史ヲ以テ——四十五年以來歴史ヲ以テ、小選舉區ニ反對スルト云フコトハ、其抱負ノ小、其意氣ノ小、共ニ立憲政治ヲ談ズルニ私ハ足ラナイト思フノデアリマス(拍手起ル)ソレデ小選舉區ハ政黨ノ便利ヲ圖リ、政黨ノ地盤ヲ鞏固ニスル所ノ案デアリマス、政黨ハ今マデノ感情ヲ棄テテ今マデノ歴史ヲ棄テ、此小選舉區ヲ維持サレテ、而シテ日本ノ政治ヲ改善シ、日本ノ政黨政治ノ發達ヲ期シ、而シテ兩憲法ニ朝ニ立ッテ、大ナル政策ヲ徹底シテ行フト云フコトハ、是ハ國家ニ盡スル所ノ義務デアルト云フコトヲ私ハ申上ゲルノデアリマス、終ニ臨ミマシテ、齋藤君ハ四十五年ノ貴族院ノ協議會ノ速記録ヲ朗讀致シマシテ、貴族院諸公ノ同情ニ訴ヘマシタガ、今日ハ四十五年ニ小選舉ヲ行ハン

〔拍手起ル〕

〔參照〕

各派地盤一覽

小選舉區制ニ基ケル

政府ノ選舉法改正案ニ依リ小選舉區制ニ基ケル別表ニ就キ各派ノ各選舉區ニ於ケル地盤關係ヲ見ルニ左ノ如シ尤モ左表ハ前同總選舉當時ニ於ケル各派候補ノ得票ヲ各選舉區等ニ合計シ百分率ニ依ッテ各勢力ノ分布ヲ算出タルモノニテ今回ノ改正案通過後選舉權擴張ノ結果當然有權者ヲ増加スル事トナルヘク各派力此新有權者ノ投票ノ前同總選舉當時同様に標準ヲ以テ獲得スルヲ得ルヤ否ヤハ疑問ナルモ大體各派ノ勢力ハ此標準ニ依リ分布サルヘキモノト見ルヘシ(表中政ハ政友會、憲ハ憲政會、國ハ國民黨、中ハ新正會、無所屬等ノ中立派、各政派左側ノ數字ハ各選舉區ニ於ケル各派勢力ノ百分率ヲ示セルモノナリ)

東京府(定員九名)

選舉區數

政友會

憲政會

國民黨

新正會

無所屬等

中立派

各派勢力

選舉區數

政友會

憲政會

國民黨

新正會

無所屬等

中立派

各派勢力

選舉區數

大阪府(定員二十名)

一區	三	一	八	二	七	二	九	六	二
二區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
三區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
四區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
五區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
六區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
七區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
八區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
九區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十一區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十二區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十三區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十四區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十五區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十六區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十七區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十八區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十九區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
二十區	三	一	六	二	六	二	三	二	六

兵庫縣(定員十八名)

一區	三	一	八	二	七	二	九	六	二
二區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
三區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
四區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
五區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
六區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
七區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
八區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
九區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十一區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十二區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十三區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十四區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十五區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十六區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十七區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十八區	三	一	六	二	六	二	三	二	六

長崎縣(定員九名)

一區	三	一	八	二	七	二	九	六	二
二區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
三區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
四區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
五區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
六區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
七區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
八區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
九區	三	一	六	二	六	二	三	二	六

新潟縣(定員十七名)

一區	三	一	八	二	七	二	九	六	二
二區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
三區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
四區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
五區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
六區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
七區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
八區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
九區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十一區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十二區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十三區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十四區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十五區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十六區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十七區	三	一	六	二	六	二	三	二	六

埼玉縣(定員十名)

一區	三	一	八	二	七	二	九	六	二
二區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
三區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
四區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
五區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
六區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
七區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
八區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
九區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十區	三	一	六	二	六	二	三	二	六

群馬縣(定員九名)

一區	三	一	八	二	七	二	九	六	二
二區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
三區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
四區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
五區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
六區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
七區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
八區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
九區	三	一	六	二	六	二	三	二	六

千葉縣(定員十一名)

一區	三	一	八	二	七	二	九	六	二
二區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
三區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
四區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
五區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
六區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
七區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
八區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
九區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十區	三	一	六	二	六	二	三	二	六
十一區	三	一	六	二	六	二	三	二	六

(iii)

福岡縣(定員十九名)

一區	一	一〇〇	二區	一	四七	一區	一	五三
二區	一	一〇〇	三區	一	一〇〇	二區	一	一〇〇
三區	一	一〇〇	四區	一	一〇〇	三區	一	一〇〇
四區	一	一〇〇	五區	一	一〇〇	四區	一	一〇〇
五區	一	一〇〇	六區	一	一〇〇	五區	一	一〇〇
六區	一	一〇〇	七區	一	一〇〇	六區	一	一〇〇
七區	一	一〇〇	八區	一	一〇〇	七區	一	一〇〇
八區	一	一〇〇	九區	一	一〇〇	八區	一	一〇〇
九區	一	一〇〇	十區	一	一〇〇	九區	一	一〇〇
十區	一	一〇〇	十一區	一	一〇〇	十區	一	一〇〇
十一區	一	一〇〇	十二區	一	一〇〇	十一區	一	一〇〇
十二區	一	一〇〇	十三區	一	一〇〇	十二區	一	一〇〇
十三區	一	一〇〇	十四區	一	一〇〇	十三區	一	一〇〇
十四區	一	一〇〇	十五區	一	一〇〇	十四區	一	一〇〇
十五區	一	一〇〇	十六區	一	一〇〇	十五區	一	一〇〇
十六區	一	一〇〇	十七區	一	一〇〇	十六區	一	一〇〇
十七區	一	一〇〇	十八區	一	一〇〇	十七區	一	一〇〇
十八區	一	一〇〇	十九區	一	一〇〇	十八區	一	一〇〇
十九區	一	一〇〇	二十區	一	一〇〇	十九區	一	一〇〇

大分縣(定員八名)

一區	一	一〇〇	二區	一	一〇〇	一區	一	一〇〇
二區	一	一〇〇	三區	一	一〇〇	二區	一	一〇〇
三區	一	一〇〇	四區	一	一〇〇	三區	一	一〇〇
四區	一	一〇〇	五區	一	一〇〇	四區	一	一〇〇
五區	一	一〇〇	六區	一	一〇〇	五區	一	一〇〇
六區	一	一〇〇	七區	一	一〇〇	六區	一	一〇〇
七區	一	一〇〇	八區	一	一〇〇	七區	一	一〇〇
八區	一	一〇〇	九區	一	一〇〇	八區	一	一〇〇
九區	一	一〇〇	十區	一	一〇〇	九區	一	一〇〇
十區	一	一〇〇	十一區	一	一〇〇	十區	一	一〇〇
十一區	一	一〇〇	十二區	一	一〇〇	十一區	一	一〇〇
十二區	一	一〇〇	十三區	一	一〇〇	十二區	一	一〇〇
十三區	一	一〇〇	十四區	一	一〇〇	十三區	一	一〇〇
十四區	一	一〇〇	十五區	一	一〇〇	十四區	一	一〇〇
十五區	一	一〇〇	十六區	一	一〇〇	十五區	一	一〇〇
十六區	一	一〇〇	十七區	一	一〇〇	十六區	一	一〇〇
十七區	一	一〇〇	十八區	一	一〇〇	十七區	一	一〇〇
十八區	一	一〇〇	十九區	一	一〇〇	十八區	一	一〇〇
十九區	一	一〇〇	二十區	一	一〇〇	十九區	一	一〇〇

佐賀縣(定員六名)

一區	一	一〇〇	二區	一	一〇〇	一區	一	一〇〇
二區	一	一〇〇	三區	一	一〇〇	二區	一	一〇〇
三區	一	一〇〇	四區	一	一〇〇	三區	一	一〇〇
四區	一	一〇〇	五區	一	一〇〇	四區	一	一〇〇
五區	一	一〇〇	六區	一	一〇〇	五區	一	一〇〇
六區	一	一〇〇	七區	一	一〇〇	六區	一	一〇〇
七區	一	一〇〇	八區	一	一〇〇	七區	一	一〇〇
八區	一	一〇〇	九區	一	一〇〇	八區	一	一〇〇
九區	一	一〇〇	十區	一	一〇〇	九區	一	一〇〇
十區	一	一〇〇	十一區	一	一〇〇	十區	一	一〇〇
十一區	一	一〇〇	十二區	一	一〇〇	十一區	一	一〇〇
十二區	一	一〇〇	十三區	一	一〇〇	十二區	一	一〇〇
十三區	一	一〇〇	十四區	一	一〇〇	十三區	一	一〇〇
十四區	一	一〇〇	十五區	一	一〇〇	十四區	一	一〇〇
十五區	一	一〇〇	十六區	一	一〇〇	十五區	一	一〇〇
十六區	一	一〇〇	十七區	一	一〇〇	十六區	一	一〇〇
十七區	一	一〇〇	十八區	一	一〇〇	十七區	一	一〇〇
十八區	一	一〇〇	十九區	一	一〇〇	十八區	一	一〇〇
十九區	一	一〇〇	二十區	一	一〇〇	十九區	一	一〇〇

熊本縣(定員十名)

一區	一	一〇〇	二區	一	一〇〇	一區	一	一〇〇
二區	一	一〇〇	三區	一	一〇〇	二區	一	一〇〇
三區	一	一〇〇	四區	一	一〇〇	三區	一	一〇〇
四區	一	一〇〇	五區	一	一〇〇	四區	一	一〇〇
五區	一	一〇〇	六區	一	一〇〇	五區	一	一〇〇
六區	一	一〇〇	七區	一	一〇〇	六區	一	一〇〇
七區	一	一〇〇	八區	一	一〇〇	七區	一	一〇〇
八區	一	一〇〇	九區	一	一〇〇	八區	一	一〇〇
九區	一	一〇〇	十區	一	一〇〇	九區	一	一〇〇
十區	一	一〇〇	十一區	一	一〇〇	十區	一	一〇〇
十一區	一	一〇〇	十二區	一	一〇〇	十一區	一	一〇〇
十二區	一	一〇〇	十三區	一	一〇〇	十二區	一	一〇〇
十三區	一	一〇〇	十四區	一	一〇〇	十三區	一	一〇〇
十四區	一	一〇〇	十五區	一	一〇〇	十四區	一	一〇〇
十五區	一	一〇〇	十六區	一	一〇〇	十五區	一	一〇〇
十六區	一	一〇〇	十七區	一	一〇〇	十六區	一	一〇〇
十七區	一	一〇〇	十八區	一	一〇〇	十七區	一	一〇〇
十八區	一	一〇〇	十九區	一	一〇〇	十八區	一	一〇〇
十九區	一	一〇〇	二十區	一	一〇〇	十九區	一	一〇〇

鹿兒島縣(定員十一名)

一區	一	一〇〇	二區	一	一〇〇	一區	一	一〇〇
二區	一	一〇〇	三區	一	一〇〇	二區	一	一〇〇
三區	一	一〇〇	四區	一	一〇〇	三區	一	一〇〇
四區	一	一〇〇	五區	一	一〇〇	四區	一	一〇〇
五區	一	一〇〇	六區	一	一〇〇	五區	一	一〇〇
六區	一	一〇〇	七區	一	一〇〇	六區	一	一〇〇
七區	一	一〇〇	八區	一	一〇〇	七區	一	一〇〇
八區	一	一〇〇	九區	一	一〇〇	八區	一	一〇〇
九區	一	一〇〇	十區	一	一〇〇	九區	一	一〇〇
十區	一	一〇〇	十一區	一	一〇〇	十區	一	一〇〇
十一區	一	一〇〇	十二區	一	一〇〇	十一區	一	一〇〇
十二區	一	一〇〇	十三區	一	一〇〇	十二區	一	一〇〇
十三區	一	一〇〇	十四區	一	一〇〇	十三區	一	一〇〇
十四區	一	一〇〇	十五區	一	一〇〇	十四區	一	一〇〇
十五區	一	一〇〇	十六區	一	一〇〇	十五區	一	一〇〇
十六區	一	一〇〇	十七區	一	一〇〇	十六區	一	一〇〇
十七區	一	一〇〇	十八區	一	一〇〇	十七區	一	一〇〇
十八區	一	一〇〇	十九區	一	一〇〇	十八區	一	一〇〇
十九區	一	一〇〇	二十區	一	一〇〇	十九區	一	一〇〇

○議長(大岡有造君) 西村丹治郎君
〔西村丹治郎君登壇〕
〔拍手起ル〕
○西村丹治郎君 選舉區擴張問題ニ就キマシテハ、齋藤君ヨリシテ詳シク御辯論ガゴザイマシタカラ、私ハ此問題ニ對シテハ甚多ク語ラズ、尙ホ吾々同志人ガ後ヨリ出テ、此問題ニ對シテハ十分ニ辯論ヲ致スト云フコトデアリマスカラ、此問題ニハ多ク觸レズシテ、私ノ最も重要視スル所ノ別表ノ問題、即チ區制ノ大小ト云フ問題ニ就テ、十分ノ意見ヲ述ベテ見タイト思フデアリマス
〔議長大岡有造君退席副議長濱田國松君議長席ニ著ク〕
○西村丹治郎君 併ナガラ極ク簡單ニ私ハ、唯今松田君ノ御述ニナツタ所ノ選舉權擴張ノ吾黨提案ニ對スル御批評ニ對シテ、一言御答シテ置キタイト思フデアリマス、吾黨提案ノ中學程度以上ノ者ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ、不徹底ナリト云フコトヲ論斷サレタデアリマス、中學程度以外ノ者ニモ、智識ヲ有セテ居ル者ニ與ヘヌト云フコトハ、不公平ヲ缺クモデアアル、故ニ不徹底極マルト云フコトヲ論斷致サレタデアリマスガ、然ラバ私ハ松田君ニ反問セン、政府ノ提案タル直接國稅三圓ニ限定サレタノハ、何カ其議論ノ根底ガアルカト云ヘバ、内務大臣ノ申サレタ如ク、恆産アル者恆心アリト云フ點カラシテ、三圓ノ限定致シタデアアルト云フコトヲ申サレク、然ラバ諸君、世間ノ恆産ナシト雖モ恆心ノアル者ハ許多アルト云フコトハ、諸君ガ御認ニナルト思フ、然ラバ此點ニ就テハ、松田君ノ御贊成ニナラ政府案モ、斷ジテ徹底ノ申スコトハ、出來ナイデアアル、ソレ故ニ私ハ吾黨ノ提案ハ徹底ノトハ申シマセヌガ、併ナガラ政府案モ徹底ノデアリデアアル、今日モ尙ホ松田君ノ御話ノ中學卒業程度以上ノ者ニ選舉權ヲ與ヘタ所ガ、僅ニ十万人内外ニ過ギナイデアアル、ソレ故ニ斯ル少數ノ者ニ選舉權ヲ與フルノ必要ハ、殆ド無イカノ如キ御辯論デアリマシタガ、私ハ少數多數ヲ以テ論斷スベキ問題デナイト思フデアアル、理窟上原則上與フベキモノナラバ、十萬ハ倍措テ、五萬人デモ與フルガ、國家立法機關トシテ、參政ノ義務トシテヤラナケレバナラヌト思フデアリマス、〔拍手起ル〕先年餘程舊イ話デアリマスガ、日露戰役以後ノ議會ニ於テ、確ニ西園寺内閣時代デアッタラウト思ヒマス、其時ニ日本海ニ於テ擊沈サレタル、奈古浦丸ト云フ汽船ノ損害ヲ賠償シテヤルト云フ法律案ヲ、時ノ西園寺内閣ハ本院ニ提出シタデアリマス、何デアアル、僅ニ一商船デアアル、其損害ガ數萬圓ニ過ギナイデアアル、タツタ此奈古浦丸一隻ノ救済ヲナサシガ爲メ、一ノ法律案デスラ、此議會ニ提出シタデハナイカ、

是ハ決シテ量ノ多少ニ依ラズ、理窟上當然救済スベキモノデアアルガ故ニ、態々一ノ法律案ヲ提出シテ、此救済ヲサセタデアリカ、然ラバ國家立法機關ニ於テヤルベキ事ハ、決シテ量ノ多少ニ依ルベキモノニ非ズシテ、其性質、其原則、其理論ニ於テヤルベキモノナラバヤッテ宜シイト云フノガ、當然デアラウト思フデアリマス、〔拍手起ル〕ソレカラ更ニ又兵役義務ヲ了ヘタル者ニ現——現役ヲ了ヘタル者ニ選舉權ヲ與フルト云フコトニ就テ、何カ物ヲ賣買スルガ如ク、一箇ノ報酬デアアルガ如キ御論デアッタノデアリマスガ、吾々同志ハ斷ジテ左様ナル考ヲ以テ提出致シタノデアリマス、苟モ國家ノ干城タルベキ責任義務ヲ果シタル者ハ、確ニ國家ノ運命ヲ荷フニ足ルデアリマセヌカ、既ニ國家ノ運命ヲ荷フニ足ルトシタナラバ、之ニ向テ參政權ヲ與フルニ何ノ不都合ガアルカ、〔拍手起ル〕免ニ角選舉權ノ問題ニ就キマノテハ、後ニ同志ヨリ詳シク辯明致ス都合デアリマスカラシテ、私ハ此位ニシテ置キマシテ、次ハ別表即チ區制ノ問題ニ就テ、少シク辯明致シテ見タイト思フデアリマス、第一ニハ、大選舉區ヲ利益トスル點ヲ先ツ第一ニ御話申上ゲマス、然ル後ニ小選舉區論者ノ主張ニ向テ、一二批評ヲ加ヘテ見タイト思フデアリマス、大選舉區ノ第一ノ利益ハ、大人物ヲ出スノニ適スルトカ、不適當デアルトカ云フコトハ申シマセヌカ、大人物カ小人カハ知リマセヌガ、免ニ角一國ノ政治ヲ議スルト云フコトニ於テ、比較ノ適當ナル人物ヲ選出シ得ルノ機會ハ多イト云フコトハ、私ハ確ニ爰ニ言ヒ得ルト思フデアリマス、即チ廣キ區域ニ於テ人ヲ求メル、小サキ一町、一村、若クハ一郡ニ於テ人ヲ求メルト、全縣下ニ於テ人ヲ求メルト、何レガ適當ナル人ヲ得ルニ易キカ否カト云フコトハ、私ハ殆ド何等ノ辯論ヲ費ス必要ハナイト考ヘマス、〔選舉權ト選舉資格ヲ別ニシテ居マスヨト呼フ者アリ〕此點ニ就キマシテ、小選舉區ヲ主張ナサル所ノ御方モ、小選舉區ヲ大選舉區ニ變ヘル當時ニ於テ、小選舉區デハ大人物ヲ得ルコトハ出來ナイ、ソレ故ニ大選舉區ニセネバナラヌト言テ、大選舉區ニシタニモ拘ラズ、一向大人物ハ出テ來ナイ、何モ小選舉區時代ト變タコトハ無イト今日言ハレルノデアデ、決シテ大選舉區トナツガ爲メニ、却テ大人物ガ議會ニ送ラレナクナラヌト云フコトハ申サレヌデアアル、謂ハハ小選舉區時代モ大選舉區時代モ、人物ヲ得ルト云フ點ニ就テハ同一デアアルト云フコト以上ニハ、能ク御辯論ナサラヌデアアル、此一事實ヲ以テ見テモ、諸君、大選舉區時代ト小選舉區時代ト、人物ヲ得ルニ同ジ事デアルト致シマシタナラバ、何ゾ故ラニ此法律ヲ改正スル必要ガアリマセウカ、吾々ハ確ニ吾々ハ一人信ズルノミナラズ、恐ラク滿天下ノ人一人ダモ、大選舉區ト小選舉區ト孰レガ適當ナ人ヲ得ルノニ易キ

カ六ヶ敷キカト云フ位ノ事ハ、輒スク判斷シ得ルト思フノデアリマス。故ニドウシテモ小選舉區ニナツタナラバ、唯、一地方ニ偏在セル豪族トカ、一郡ノ名望家デアルトカ、殆ド國政ト云フモノニ對シテハ、何等ノ決心、何等ノ抱負、況ヤ世界ノ局面、世界ノ大勢ト云フ事ニ就テハ、何等ノ智識、何等ノ考モ持タヌヤウナ者ガ、彼方カラモ此方カラモ、多ク此議政壇上ニ送ラレルト云フ傾向ヲ持ツト云フコトハ、明ナ事デアリマス(拍手起ル)ソレ故ニ私ハ飽マデモ此大選舉區ハ、議政壇上ニ送ルベキ適當ナル人ヲ得ルノニハ、比較的善良ナル制度デアルト云フコトヲ、爰ニ斷言シテ憚ラヌ所以デアリマス(拍手起ル)更ニ少數代表此事ハ今松田君ハ餘程御辯論ニナリマシタガ、齋藤君モ申サレタ如ク、政友會ノ委員會ニ於ケル代表演説トシテ確ニ大選舉區制ハ少數代表ノ主義ノ徹底スルニ適テ居ルト云フコトヲ斷言致サレタノデアル故ニ此點ニ就テハ、確ニ政友會諸君ノ間ニモ、我黨ノ提案ニ内心贊同シテ居ラル、御方ガ、中々多イノデハナイカト云フコトヲ(拍手起ル)「ノウウ」ト呼フ者アリ疑、ザルヲ得ヌデアリマス、(其通り其通り)ト呼フモノアリ此大選舉區少數代表ノ意味ヲ徹底スル上ニ於テハ、無論私ハ絕對的ト申スノデハアリマセヌガ、比較的便利デアル、所謂小選舉ニ比スレバ、確ニ少數代表ノ主義ヲ徹底スルノニ、便利デアルト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、ガ此事ハ、唯、政友會ノ一部ヲ除クノ外ハ、恐ラク此議場ノ人々ノ殆ド六七分デハナイ、八九分通りハ、御同意ナルグラウト思フノデアリマス、(拍手起ル)「ノウウ」ト呼フ者アリ唯、黨ノ節制、黨ノ羈束ヲ受ケラレガ爲メニ、已ムナク之ニ御從ヒニナシテ居ルト云フコトハ(笑聲起ル)實ニ御洞察申スノデアリマス、(ヒヤ)「ハ」六人組ハゴザリマセヌト呼フ者アリ之ニ就キマシテハ私ハ「之ニ就テハ、ハアリマセヌ、即チ大選舉區制ヲ維持スル所ノ理由ヲ、更ニモウ一ツ此上ニ附加ヘルコトヲ得ルノデアリマス、現在ノ大選舉區——現在ノ大選舉區ハ、床次内務大臣ノ申サレタガ如ク、又政友會諸君ノ中ニモ、仰シヤタ方ガアルカノ如ク記憶シテ居リマスルガ、現在ノ大選舉區ハ、其實大選舉ニ非ズシテ小選舉區デアアル、大選舉區ノ内ニ候補者各、其勢力範圍ヲ確定シ、其繩張ヲ定メテ、其區域ノ内、其繩張ノ内ニ競争スルノデアルカラ、大選舉區デアッテモ、其實ハ小選舉區ノ實行行テ居ルノデアルト云フコトヲ、大選舉區制ヲ否認スルノ理由トシテ申サレタノデアアル、併ナガラ私ハ此内務大臣ガ、大選舉區制ヲ否認スル理由ノ一トシテ引カレタル、此大選舉區デアッテ、而モ小選舉區制ヲ實行行テ居ルト云フ此事柄ハデス、寧ロ私ハ大選舉區制ヲ維持スルノ、有力ナル一ノ理由

ト爲シ得ルト思フノデアリマス、(拍手起ル)何故デアアル、即チ大選舉區制ノ下ニ於テ小選舉區制ノ主義ヲ行テ居ル、而シテマス——而シテ行テ居ラバ、小選舉區ノ弊害ヲ矯メ直スコトヲヤリ得ルモノデアアル、何トナレバ同志ノ中デ若シ投票ガ足りナイ、甲ノ人ハ投票ガ餘ル、斯ウ云フ場合ニ於テハ、其餘ノモノヲ取テ足ラザル者ニ補フ、又一縣下ヲ通ジテハ、彼ノ郡ニモ百票、此郡ニモ百票、彼方ニモ三百票ト云フヤウニ、縣下十票郡ニ散在シテ居ル所ノ投票票——投票票ハナイ勢力ヲ持テ居ル人モ、確ニ各郡カラ搖集メルナラバ當選點ヲ得ルコトガ出來ルノデス、乃チ現在ノ大選舉區ナルモノハ、大選舉區制ノ下ニ、小選舉區制ノ主義ヲ實行シテ、而シテ小選舉區ノ缺點ヲ補ヒ得ル所ノ、謂ハハ大選舉區ノ長所ト小選舉區ノ長所トヲ兼併セタ所ノ、立派ナル制度デアルト云フコトヲ私ハ斷言スルニ憚ラヌデアアル、ソレカラ更ニ大選舉區制ノ害トシテ、反對論者ノ言ハル第一ハ何デアアルカト申シマスレバ、非常ナル費用ヲ要スル、大選舉區ハ小選舉區ニ比スレバ大ナル費用ヲ要スル、是即チ大選舉區ノ害ナリト斯ク申サレノデアリマスガ、私ハ費用ノ問題ハ、決シテ制度其ノモノニ喰付イテ居ル問題デハナクシテ、人ト場所ト時ト、サウシテ反對候補者ノ如何ニ依テ、費用ノ多寡ハ定マルモノデアルト云フコトヲ斷言シテ憚ラヌ、(場所ノ廣キハ大選舉區ナリ)「同じ事ヲ何遍モ言フナ」ト呼フ者アリ場所ノ廣キハ狭キヨリ費用ガ多ク掛ルト小選舉區制ヲ主張サレル御方ガ申サレルガ、是ハ何等選舉ノ事ニ經驗ヲ有セズ、選舉ノ實情ヲ知ラザル所ノ素人騙トシテハ、頗ル好イ御議論デアアルカモ知レマセヌガ、(拍手起ル)併ナガラ苟モ選舉ノ實情ニ通ジ、選舉ニ經驗ノ有ル者ハ、大選舉區制ナルガ故ニ澤山ノ費用ガ掛ル、小選舉區制ナルガ故ニ少イト云フガ如キコトハ、恐ク諸君ガ自ラ胸ニ手ヲ置イテ御考ニナツタナラバ、サウニ云フ事ハ、決シテ口外ノ出來得ル事デハナイト思フノデアアル、(拍手起ル)政友會顔色無シト呼フ者アリ現ニ此議席ニ列セラレテ居ル御方ノ中ニモ、小選舉區ノ内デモ十有餘萬ノ金ヲ費サレタト云フ御方ガ、噂ニ聞ケバ在ルト云フデアアリマセヌカ、小選舉區ト雖モ——小選舉區デアアリマセヌ、郡部ノ大選舉區ニ於テモ、數千圓ヲ費サシテ、易々ト出ル人ガ今日在ルデハアリマセヌカ、故ニ私ハ費用ノ多イ寡イト云フコトハ素人騙シニ、大選舉區ハ廣イカラ、澤山費用ガ掛ルト諸君ガ仰セラレルナラバソレハ宜シ、併ナガラ友人對手ニハ、全ク不通ノ議論デアルト私ハ斷言シテ憚ラヌ、(拍手起ル)君ハ友人デスカト呼フ者アリ「ソレカラ又大選舉弊ハ、同志計ノ弊ガアル、隨テ政治道徳ヲ破壞スル、憲政ノ發達進步ノ爲メニ、洵ニ忌ムベキ事デアルト云フコトヲ申サレマスルガ、

是亦大小選舉區ノ制度其ノモノ、罪ニ非ズシテ、全ク人ノ罪デアルト斷言シテ憚ラヌデアアル、(ヒヤ)「ノウウ」ト呼フ者アリ「私ハ爰ニ活ケル事實ヲ捉ヘ來テ、御話申上ゲタイ事ガアルノデアリマス、此所ニ福井君ノ居ラザルヲ私ハ頗ル遺憾トスル、我が岡山縣ニ於キマシテ、大選舉區制トナテ以來數回ノ選舉ガ行ハレマシタガ、同志間互ニ相侵シ、互ニ投票爭奪ヲ爲スト云フガ如キハ、未ダ會テ其例ヲ見ザル所デアリマス、現ニ同志討ドコロデアアリマセヌ、私ノ縣ニ於テ明治三十七年、即チ第九回ノ總選舉ノ場合ニ當リテ、同志ノ中或ル一人ノ候補者ガ危險ニ瀕セリト故ヲ以テ、我黨ノ總理犬養先生ノ割當ノ地盤ヨリシテ、數百票ノ投票ヲ選舉ノタツタ二日以前ニ割テ、同志ノ中危險ナリト思ハル、候補者ニ與ヘ、ソレガ爲メニ支部公認ノ候補者ハ全部當選ヲ見ルコトガ出來タト云フコトハ、確ニ現在此議席ニ列シテ居ラル、政友會ノ或ル代議士ハ、心ノ中デ確ニサウデアッタト言ッテ、首肯セララル、事柄ガアッタノデアリマス、是杯ハ同志打ドコロデアハナイ、寧ロ選舉場裡ニ於ケル一ノ美風トシテ、社會一般ノ惡風潮、惡傾向ニ對シテ於テハ、一ノ美譚ト稱セラレテ居ルノデアリマス、故ニ私ハ大選舉區ナルガ故ニ同志打ガ澤山出來ル、小選舉人ナルガ故ニ同志打ガ無イト云フガ如キハ、決シテ政治ノ上カラ論斷スベキモノニ非ズシテ、ソレハ黨ノ節制、若クハ其人ノ公德心ノ多少如何ニ依テ論斷スベキモノデアッテ、斷ジテ制度其ノモノニ罪ヲ歸スベキモノデナイト私ハ考ヘルノデアリマ、ソレカラ次ニ大選舉區ノ弊トシテ御舉ゲニナルノハ、補關選舉ノ弊デ、全縣下ヲ騷ガスガ如キ紛擾ヲ見ル、補關選舉ノ弊トシテ之ヲ御舉ゲニナルノデアリマスガ、憲政會ノ御方ハ、何ダカ此弊ハ弊デアルト云フ如キ言葉ヲ申サレタトカ、曩ニ松田君ハ此所デアサレマシタガ、私ハ斷ジテ弊ニ非ズ、寧ロ憲政ノ進步、憲政ノ發達ヲ期スル上カラ申シマスルナラバ、偶マニハ全縣下ヲ一ノ舞臺トシテ、政治ノ訓練、政治的ノ教育ヲ爲スト云フ事モ、亦必要デアリナカト考ヘル、丁度大演習ヲ爲スガ如ク、一縣下ヲ一ノ大演習場トシテ、所謂政治的訓練ノ大演習ヲヤルト謂テモ、私ハ差支ナイト思フノデアリマス、是ガ一年ノ間ニ何十回——一年ノ間ニ數十回ト云フ數多イノデアラナラバ、或ハ其間ニ非常ナ弊ガアルカモ知レマセヌガ、一年ノ間ニ彼縣ニ一ツ、此縣ニ一ツト云フガ如ク、全國彼方此方ニ偶、此位ナ事ガアルト云フ事コソ、寧ロ憲政發達ノ上ニ於テ、政治的ノ訓練ヲ爲ス上ニ於テ、或ハ此位ノ刺戟ヲ偶マニハ與ヘルノガ、私ハ必要デアリナカト云フ位ニ思フデ居ルノデアリマス、(國民黨ハ御心配ハ入りマセヌ、其點ハ……)ト呼フ者アリ「ソレカラ小選

舉區ノ利益トシテ舉ゲラレタ中ニ、無競争ノ區ガ小選舉區ニスレバ澤山出來ル、是ガ憲政ノ進歩發達ノ上ニ、慶アベキ事デアルト云フコトヲ申サレタ、私ハ小選舉區制ナル故ニ無競争ノ所ガ澤山出來、大選舉區ナルガ故ニ今回ガ競争舞臺ニナルト云フコトハ、是亦制度ノ上カラ來ル問題デハナイト私ハ思フ、是モ人ニ依ル問題デアルト思ヒマスルガ、併ナガラ日本ノ現狀——我帝國ノ現狀ハ、確カニ松田君ノ申サレタ如クナリ居ルノデアル、無競争ノ小選舉區ト云フモノハ、隨分澤山アルト云フコトハ現在ノ事實デアアル、併ナガラ此現在ノ事實ガ、果シテ憲政ノ運用ノ上ニ、憲政ノ進歩發展ヲ期スル上ニ於テ慶アベキ事デアアルカ、將タ憂フベキ事デアアルカト云フコトハ、私大ニ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、私ハ申スマデモナク、憲政ノ進歩發展ヲ期スル上カラ申シマスルナラバ、競争アデコソ、喧嘩アデコソ、茲ニ政治上ノ進歩發展ト云フモノヲ期シ得ラレト思フノデアリマス、私ハ茲ニ無競争ノ區域ノ多イト云フノハ——大選舉區ニ比シテ、小選舉區ナルモノハ無競争ノ箇所ガ澤山出來ルト云フ日本現在ノ事實ハ、私ハ洵ニ憂フベキ事デアルト思フノデアリマス、諸君、昨年十二月十四日英吉利三行ハレタル所ノ彼ノ衆議院議員選舉ノ狀態ヲ御覽ニナサナラバ、如何ナル感ゾ諸君ガ起サレタ、英吉利ハ申スマデモナク、御承知ノ通り小選舉區制度ノ國デアリマス、小選舉區制度ノ英吉利ニ於テ、昨年十二月十四日三行ハレタル選舉場裡ノ狀態ハ、果シテ如何デアリマシタカ、衆議院ノ議席ハ僅ニ七百十一デアリマス、七百十一ノ議席ヲ贏チ得ンガ爲メニ、果シテドレダケノ候補者ガ選舉場裡ニ現レタカトシマスレバ、千五百七十四人ト云フ候補者ガ現レタカト云フコトハ、今カラ三月經タメテ英吉利ノ現在ノ話デアアル、諸君、日本ハ小選舉區制度ノ下ニ選舉ヲ行ヘバ、無競争ノ所ガ澤山出來ル、憲政ノ進歩ノ爲メニ慶アベキ事デアルト斯ク論斷サレマシタガ、先進國タル英吉利憲法政治、議會政治ノ最モ發達シテ居ル所ノ英吉利デハ、近キ選舉ニ於テ、僅カ七百十一人ノ議席ヲ贏チ得ンガ爲メニ、ソレニ殆ト三倍スルノ候補者ガ現レタカト云フコトハ、是レ果シテ何ヲ意味スルノデアアルカ(二倍デハナキカ)ト呼フ者アリ)三倍ト云フコトハ大槪アアルカ知レマセヌ(笑聲起ル)三倍ガ二倍ニナリテモ宜シ、二倍以上デアアル、是ハ何ヲ意味スルカ、日本ニ於テハ次第々々小選舉區ニナレバ無競争ノ所ガ澤山出來ル、向フデハ段々其競争場裡ニ於ケル爭ハ激烈ニナリテ來テ、候補者ガ澤山現レル、是レ果シテ英國ノ狀態ガ悲ムベキデアアルカ、日本ノ狀態ガ喜ブベキデアアルカ、私ハ寧ロ日本ノ如キ現在ノ狀態ニ向ヒツ、アルト云フコトハ、確ニ憲政ノ進歩發達ヲ害スルモノデアアル、寧ロ是アルガ故ニ——是

アルガ故ニ、斯ル傾向ナルガ故ニ、私ハ小選舉區ハドウシテモ否認シナケレバナラヌト云フ、取ツテ以テ反對論ノ一ツノ理由トシテモ、私ハ差支ナイ位ナ事柄デアラウト思フノデアリマス、(駄目々々)ト呼フ者アリ)是ハ何故ニ斯ウ云フコトガ日本デハ出來ルノデアアルカ、英吉利ト違ウテ何故ニ斯クナルノデアアルカ、私ハ確ニ是ハ時代錯誤ノ一ツデアルト斷言シテ憚ラナイノデアアル、何故ニ時代錯誤デアアルカ、我國デハ人物崇拜ト云フデハドウカ知レマセヌガ、兎モ角虛名ヲ崇拜スル所ノ傾向アル、(虛名ヲ賣ル人ガアルカラ)ト呼フ者アリ)政黨ガ次第々々ニ宗教化シツ、アルノデハナキカト云フ、私ハ疑フ持テ居ルノデアアル、(オ手前ノ方ヲ證シテカラ仰シヤイ)ト呼フ者アリ)我國ノ政黨發達ノ歴史ヲ調ベテ見テモ、親爺ガ自由黨デアラタナラバ、其子モ自由黨デアアル、其孫モ自由黨デアアル、親爺ガ政友會デアラタナラバ、息子ガ又政友會、孫モ政友會デアアル、殆ド私ハ日本現在ノ政黨ト云フモノハ、宗教化シツ、アルヤウナ傾向ガアリハセヌカト思フノデアリマス、(ソナナ事ハアリマセヌ)ト呼フ者アリ)全體ノ政黨トハ申サヌノデアリマス、(ソレハ岡山縣デグラウ)ト呼フ者アリ)ソレ故ニ虛名崇拜、人物崇拜、政黨ガ——或ル政黨ハ宗教化シツ、アル故ニ、選舉區ト云フモノハ人ト云フモノニ密着ナル關係ヲ生ジテ、殆ド或ル小選舉區ニ向シテハ、敵ハ一指ダモ染メルノ餘地ハナイト云フヤウナ有様ニ、次第々々推移シテ居ルノデアアル、是ハ主義政策ノ如何ニ依テ、無競争ガ出來ルト云フナラバ慶アベキ事デアアルケレドモ、サウデハナイノデアアル、主義政策ノ如何デアナクシテ、人ト其選舉區ト云フモノト密着ナル關係ガ付イテ來ル、恰モ宗教的ノ觀念ヲ持シテ來ル、恰モ骨董品ヲ弄フガ如キ傾向ニナリテ來テ居ル、是ガ無競争ノ出來ル私ハ重大原因デアラウト思フノデアリマス、ソレ故ニ日本ニ於テハ、世ニ所謂第一流ノ人物ト云フガ如キ人ハ、議會始メテ以來今日ニ至ルマデ、ズト繼續シテ居ル人ハ、隨分澤山居ル、第一期ト云テハ弊ガアリマセウガ、兎ニ角十數年間續イテ居ル人ハ澤山アル、是ハ何デアアルカ、何故デアアルカト云ヘバ、即チ宗教觀念、人物崇拜、英雄崇拜、虛名崇拜ト云フ爲メニ、殆ド選舉區ト云フモノト人ト云フモノトガ、結着イテシマウト云フ關係カラ生ズルノデアアルト、私ハ後ニ斷言シテ憚ラヌノデアアル、諸君御覽ナサイ、英吉利ノ昨年ノ選舉ニ於テ——昨年前ニ舉ゲマシタ十一月ノ選舉ニ於テドウデアアルカ、嘗テハ飛ブ鳥モ落スガ如キ評判ノアツタ、勢力ノアツタ、名望ノアツタ前内閣ノ首相「アスキス」ハドウデアアルカ、一陸軍大佐ニ向テ競争ノ端ヲ開イテ、遂ニ大佐ノ爲メニ破ラレテシマッタデハナキカ、(政黨ヲ誤タ爲メデス)「心配スルナ」ト呼フ者アリ)失敗シタデハナキカ、更ニ勞働黨ノ首領「ヘンダーソン」ハドウデアアルカ、

更ニ「アスキス」ノ大藏大臣デアタ「マッケンナ」ハドウデアアルカ、總テ是等ノ者ハ落選シタデハナキカ、(獨探ヲシタ爲デス)ト呼フ者アリ)宜シ、其所ニ理窟ガアルノデアアル、斯ノ如ク此三大政治家ノ破レタト云フノハ、何ガ爲メデアアルカ、(今モ言ッテ通リ)ト呼フ者アリ)國民ガ其主義政策ノ如何ニ依テ、其人ニ對スル所ノ賛否ノ判斷ヲ決メタカラデアアル、然ルニ日本デハドウデアアルカ、前内閣總理大臣、前大藏大臣、杯ト云フヤウナ人ガ、諸君、選舉場裡ニ立テ御覽ナサイ、殊ニ小選舉區ニ立テ御覽ナサイ、殆ド萬代不易ノ死ヌルマデノ間ハ確ニ其選舉區ヨリ落タルコトハ無イノデアアル、何デアアルカ、主義政策ニ依テ判斷スルノデハナイノデアアル、其人ニ依テ、其人物ニ依テ、全ク主義政策ト云フモノヲ第二ニ置イテシマツテ、第一ハ人ト人トノ關係デアアル、(岡山縣モデスカ)ト呼フ者アリ)斯ル事情ヨリシテ「簡單」ト呼フ者アリ)此選舉區ニ於ケル弊害ト申シマスルモノハ、日本現在ノ如キ狀態デアタナラバ、洵ニ忌ムベキ憂フベキ結果ヲ呈スルト云フコトヲ、私ハ後ニ斷言シテ憚ラナイノデアアル、次ニハ候補者ト選舉人トノ關係ガ密接ニナリテ來ル、是ハ洵ニ慶アベキ事デアアルトス、云フモノハ、小選舉區ヲ主張サレルノ理由ハナイト思フ、是アレバコソ、斯ル關係ヲ生ズレバコソ、小選舉區不可ナリト斷言ヲ茲ニ下サントスルモノデアアル、(拍手起ル)選舉人ト候補者ノ關係ガ密接ニナル、何ヲ意味スルノデアアルカ、情實、實錄緣故、何等政治上ノ意味、政治上ノ主義ヲ以テ、密接關係デハナイノデアアル、ソレ故ニ諸君、小選舉區トナリテ候補者ト選舉區民トノ關係ガ密接ニナリテ來タナラバ、或ハ鐵道ノ問題、港灣ノ問題、道路ノ問題、水道ノ問題、學校ノ問題ト云フガ如キモノ、或ハ建議、或ハ請願、或ハ運動、恐ラク選舉區民ト關係ガ密接ニナレバナリ程、是等地方ノ小問題ニ没頭スル所ノ議員ガ、更ニ多ク此議會ニ送ラル、ト云フコトハ免ルベカラザル事實デアリマス、(拍手起ル)今日ニ於テスラ隨分——斯ル事ヲ申シテ諸君ノ逆鱗ニ觸レカ知レマセヌガ、隨分下ラナイ地方ノ鐵道ノ問題、若クハ學校ノ問題、水道ノ問題、港灣ノ問題カ、或ハ建議、或ハ請願トナリテ、此議會ニ現ル、ト云フコトハ、寧ロ私ハ帝國議會ヲシテ、地方ノ議會ニ其性質ヲ變ゼシメタノデナキカト云フヤウナ疑フ、世間挿ム者アリト雖モ、之ヲ否認スルコトガ出來ナイト云フヤウナ事ニ、ナッテ來ハセヌカト云フコトヲ憂フルノデアアル、ソレカラ更ニ小選舉區ノ制度ヲ行フト云フ事ハ、政黨ノ爲メニ便利デアアル、政黨ノ地盤ヲ鞏固ニスル所以デアアルト云フ事ヲ、内務大臣モ當議場ニ於テ言明セラレタノデアアル、私ハ選舉區ノ大小ニ依ツテ、區制ノ大小ニ依テ、政黨ノ發達、政治ノ地盤ヲ鞏固ニナルトカ、ナ

ラナイトカ云フヤウナ事ヲ言フハ、寧ロ私ハ政黨ノ一大恥辱デハナイカト思フノデアル、決シテ政黨ノ發達ハ、法律ノ力、規則ノ力、制度ノ力ニ依ルベキモノデハ斷ジテナイノデアリス(拍手起ル)然ルニ何ゾ、小選舉區制度ニシテ政黨ノ便利ヲ圖リ、政黨ノ地盤ヲ鞏固ニスル、何タル事デアリマスルカ、私はアルガ爲メニ、日本現在ノ如キ重大思想ニ漂シテ居ル今日ノ有様、又幾ニ申シマシタ人物崇拜、若クハ政黨ノ宗教化セントスルガ如キ或ル方面ノ傾向、此傾向カラ申シマシタナラバ、成程小選舉區ニシタナラバ、其政黨ノ地盤ガ益、鞏固ニナルデアリマセウ、其政黨ノ爲メニハ確ニ便利ニナルカモ知レマセウ、併ナガラ英吉利ノ如キ、若クハ他ノ先進國ノ如キ、主義政策ニ依テ、國民ガ一票ノ投票ヲ投ズルト云フヤウナ狀態ニ推移シタナラバ率ザ知ラズ、今日ノ如キ幾ニ申上デマシタヤウナ國家ノ狀態ニ於キマシテ、小選舉區ニ致シマシタナラバ、則チ或ル政黨ノ地盤ハ鞏固ニナリ、或ル政黨ノ爲メニハ便利デアルカ知レマセウガ、國民ノ大多數ハ、其政黨ノ爲メニ犧牲ニ供セザレ、其政黨ノ爲メニ、スガリ蹂躪サレルト云フヤウナ不幸ヲ見ストモ限ラヌト云フコトヲ、私ハ非常ニ憂フルノデアリマス、拍手起ルソレカラ松田君ハ、小選舉區時代ニハ選舉違犯者ガ非常ニ少ナク、大選舉區制度ニナツテカラ、選舉違犯者ガ非常ニ澤山ニナツタト云フコトヲ申サレマシタガ、其統計ヲ御讀上ゲニナツタ所カラ見マスト云フト、成程松田君ノ言ハル、ヤウナ統計ニナツテ屋リマスガ、併ナガラ一步退イテ考ヘルナラバ、私ノ如キ法律ニ對シテ門外漢ナラバ率ザ知ラズ、松田君ノ如キ法律ノ專門家ガ之ヲ以テ小選舉區時代ヨリハ、大選舉區時代ニナツテ選舉違犯者カ澤山ニナツタ、是ハ全ク制度ノ罪デアルト云フ如キ事ヲ、此壇上ニ於テ憶面モナク申サレタト云フコトハ、松田君ノ爲メニ之ヲ惜マザルヲ得ヌノデアリマス(拍手起ル)其證據ヲ茲ニ舉ゲテ御話申シタイト思フ、松田君ノ論斷ノ全ク誤レリト云フコトヲ、茲ニ證據ヲ舉ゲテ御話ヲ申シタイ、即チ御承知ノ如ク、大選舉區制ヲ行ハレタノハ、明治三十五年ヨリデアリマス、小選舉區ハ明治三十一年ノ選舉ヲ最終ト致シテ居タルデアリマス、此明治三十一年ヲ最終トシタ時分ニハ、選舉違犯者ハ甚ダ少ナク、三十五年ニ大選舉區ヲ行フヤウニナツテ違犯者ガ澤山出殖エタ、是レ大選舉區ノ罪ナリ、斯ク論斷サレタノデアリ、先ヅ第一ニ松田君ニ問ハントスル、選舉法ヲ實施サレタ明治二十三年ヨリ三十一一年ニ至ル間ニ、選舉ニ對スル取締檢査ノ方針ハ、果シテ今日ト同一デタク否ヤ、ヨモヤ同一デアツタト云フ事ヲ申サレマイト思ヒマス、即チ三十一一年以前ト、ソレカラ其後次第二年ヲ經、月ヲ經ルニ從テ、選舉ノ度毎ニ檢査ノ方針ガ次第々々ニ重クナツテ居ルト云フコトハ、松

田君ハ決シテ否認シ能ハザル事デアラウト思フノデアルハ、拍手起ル)而己ナラズ明治三十一年以前ニ於ケル選舉有權者ノ總數ト申シマスルモノハ、僅ニ四十五萬三千餘人ニ過ギナカッタノデアアル、然ルニ其後松田君モ御承知ノ通り、地租ガ増徴致サレ、地租ガ増徴致サレ選舉權ガ擴張致サレ、即チ十五圓ノモノガ十圓ニ低下サレタ爲メニ、大選舉區制實施ノ即チ明治三十五年ニ於テハ、有權者ノ總數ハ九十八萬三千ニナツテ居ル、殆ド小選舉區最後ノ明治三十一年ニ比スレバ、有權者ノ數ハ倍以上ニナツテ居ルノデアル、更ニ明治四十一年ニハ如何ニナツテ居ルカト云ヘバ、是ガ増加シテ、即チ日露戰役ノ爲メニ營業稅地租ガ増徴致サレタメニ、有權者ノ數ガ増シテ、百五十八萬人ト云フモノニ増加致シテ居ルノデアル、諸君、檢査ノ手心、檢査ノ方針ニ於テ、小選舉區時代ト、ソレカラ段々今日ニ至ルマデノ間ニハ選舉有權者ノ數ハ、四十萬ガ五十五萬ニナリ、九十萬ガ百五十萬ニナツテ居ルト云フ今日ノ狀態デアル、諸君、犯罪者ノ多イト云フコトハ、何モ是ガ制度ノ罪ト云フコトヲ論斷スルコトハ出來ナイデハアリマセウカ、拍手起ル)私ハ茲ニ最後ニ選舉區ノ區制ノ事ニ就キマシテ簡單ニ一言費シテ、諸君ノ御參考ニ資シタイト思フ、謹聽)私ハ齋藤君見タヤウニ博識デアリマセウカ、サウ澤山ノ事例ヲ舉ゲルコトハヨウ致シマセウ、私ノ縣ノ事情ヲ先ヅ第一ニ御話提案ノ理由トシテ考ニ供シタイト思フノデアル、小選舉區提案ノ理由トシテ申サレタ如ク、一區一人ヲ原則トスル、地理、人情、風俗、交通、區史ノ上ニ鑑ミテ、出來得ルダケ事情ノ許ス限りハ、一人一區ヲ原則トスルト云フコトヲ申サレタノデアル、是ハ當然ノ事デアル、小選舉區制ヲ採ル以上ハ、二區三人ハ變則デアル、ドウシテモ一區二人ナラザルベカラズ、若シ極端ニ言フナラバ、郡ヲ割キ、町ヲ割イテモ、一區一人制度ヲ徹底的ニヤルノガ當然デアル、併ナガラ私ハサウ極端ナ事ハ申サヌノデアアル、私ノ申上デントスルノハ、即チ岡山縣第五區齋藤君ハ曩ニ岡山縣第三區ヲ御舉ゲニナリマシタガ、第三區ハ無論齋藤君ノ仰セラレタ通りデアアル、四縣ヲ縱斷シヤウトモ、橫斷シヤウトモ、縱斷橫斷何レヲ問ハズ、二郡々々ニ別テハ、人口ガ約十萬人程ニナルノデアアル、地理、人情、風俗歴史、何レニ依リマシテモ、差支ノナイ所デアリマス、然ルニ之ヲ四郡一ノ選舉區トシテ、二人出サレルト云フコトニナツタノハ、如何ナル意味デ爲サレタカ、ソレハ知リマセウガ、私ノ判斷スル所ニ依レバ、ドウシテモ斯ル判斷ヲ下サネバナラヌノデアアル、四郡ヲ以テ一選舉區トシテ二人出スト云フコトニスレバ、政友會ノ議員ハ恐ラク無競爭デ此區カラ出得ラルルト云フコトハ、私ガ茲ニ保證シテ憚ラナイノデアアル、若シ之ヲ二郡宛ニ割ケバ、如何ニ割イテモ、四郡ノ組合セデ如何ヤウ

ニ割イテモ、南北ニ割イテモ東西ニ割イテモ、之ヲ二ニ割ツタガ最後、一方デハ絕對ニ望ガ無イノデアアル(拍手)唯、一方ニ於テ、可ナリ、競争ガ出來ルデアラウト云フ位ノモノニナツテシマウノデアアル(拍手)ソレカラ更ニ私ガ唯今第一ニ申上デマシタ岡山縣第五區ナルモノハ、淺口郡、小田郡、後月郡、此三郡ヲ合シテ二人ヲ出スト云フコトニナツテ居リマス、而シテ總人口ハ二十二萬七千四百四十九人デアアル、之ヲ三郡合併セネバナラヌカ、所謂風俗人情、地理、交通、歴史ノ上ニ於テ、二ニスルコトハ出來ナイカト云ヘバ、寧ロ人情モ違ヒ、地理ハ無論ノコト大違ヒ、歴史モ違ヒテ居ル、如何カナル點カラ見デモ人情、風俗、習慣、歴史、地理、有ユル點カラ見デ、是ハ二ニ割ルノガ當然ナノデアアル(拍手)恐ラク福井君モ其所ニ居ラレマスガ、此三郡ガ分割出來ナイ程、地理、人情、風俗、交通、歴史ニ差ガナイト云フコトハ、御認ニナルマイト思フ、然ルニ之ヲ三郡一ニシテ二人出スト云フコトニサレタノハ、私ノ判斷スル所ニ依レバ、淺口郡ノ一部ニモ政友會ノ分子ガアル、小田郡ノ一部ニモ政友會ノ分子ガアル、後月郡ノ一部ニモ政友會ノ分子ガアル、若シ之ヲ二ツニ割イテシマツタナラバ、如何ニ有力ナリ政友會ノ人ガ來ラレヤウトモ、斷ジテ望ヲ囑スルコトハ出來ナイノデアアル(拍手)然ルニ三郡一ノ選舉區ニ做スト、國民黨ハ無論二人候補者ヲ立テルニ決ツテ居ル、ソコデ淺口郡ノ零レル掻集メ、後月郡ノ零レル掻集メ、小田郡ノ零レル掻集メレバ、二人ニ對シテ一人ノ競爭ハ出來得ラレラウ、所謂萬一ヲ憐憐シテ、此邊モ斯ウシテ置ケバ、一人ノ政友會員ヲ出セルト云フヤウナ考ヲ以テサレタノデアラウト申シテモ、恐ラク内務大臣ハ辯解ノ言葉ガアルマイト思フ(拍手)何故ナラバ人口ノ上カラ申シテモ、淺口ハ一郡ニ於テ十萬三千人程ヲ有シテ居ル郡デアリマス、小田、後月兩郡ヲ合シテ約十二人デアアル、諸君、十萬三千人ノ淺口ハ、是ハ立派ニ獨立サセルコトガ出來ルデアリマセウカ、山梨ノ例ヲ御覽ナサイ(拍手)一方ハ十二萬人デ、是亦獨立サセルニ適當デアリマセウカ、併シ是ガ二ニ分レテハ、何レノ選舉區ニ於テモ恐ラク三分ノ一——當選點ニ達スル三分ノ一ノ投票ヲモ得ルコトハ、斷ジテ出來ナイト保證シテ置クノデアアル(拍手)更ニ第七區、第八區、是等二就キマシテモ大ニ論議ノ地ガアリマス、詳シイ事ハ申シマセウガ、是モデス從來ノ歴史カラ申シマシテモ又人口代表ノ主義カラ申シテモ、此政府ノ原案ナルモノハ、確ニ其當ヲ得テ居ラヌト云フコトヲ申上ゲテ差支ナイノデアアル、歴史のカラ言ヘバドウデアアル、第七區第八區ト云フモノハ元ノ小選舉區ノ組立ト申シマスモノハ、眞庭郡ト蘆田郡ト云フモノヲ以テ、一選舉區トシテ居タルデアアルモウ一ツハ久米郡、勝田郡、英田郡ヲ一ツノ選舉區トシテ

居テノデアリマス、然ルニ此度ハ之ヲ變更致サレテ、眞庭、久米ヲ一選舉トシテ居ル、而シテ其總人口ハ十一萬一千人デアリ、以前第七區ニ屬シテ居タル所ノ蘆田ヲ七區カラ割イテ、之ヲ第八區ニ加ヘタカラ、蘆田、勝田、英田ノ三郡ヲ一選舉區トシテ居ラレハ、此人口ガ幾ラデアルカト云フト、十七萬二千二人デアリナル、一方ハ十一萬一千人ヲ以テ一人ノ議員ヲ出シ、一方ハ十七萬二千二人ヲ以テ一人ノ議員ヲ出ス、斯ル不公平ガ出來テ居ルノデアリマスガ、之ヲ從來ノ小選舉區ノ如ク、又地方ノ地勢ノ上カラ申シマシテモ眞庭、蘆田ノ一選舉區トシテ元ノ通りニスルナラバ、人口ハ十三萬九千人ニナル、一方ノ久米、勝田、英田ノ三郡ハ十四萬八千人ニナル、サウスレバ人口代表ノ主義ニ適合スルト云フ點カラ申シマシテモ、元ノ如ク致シテ置テ事ガ當然ナノデアリ、然ルニ斯ク人口代表ノ原則ニ違ハル所ノ一方ハ十七萬人、一方ハ十一萬人、斯ル事ヲ致サレタト云フコトハ、私共地方ニ居テ地方ノ實情ヲ能ク知テ居ル者カラ申シマス、如何ニモ政友會ノ爲メニ便利ニ出來テ居ルト云フコトヲ發見スルニ苦シマスノデアリマス、若シ之ヲ以前ノ如ク致シマシタナラバ、福井君ヲ前ニ置イテ言フノハ御無禮ナ申分カモ知レマセヌガ、作州ニ於ケル七區、八區デモ、決シテ第三區ノ上道、赤磐、和氣、邑久ノ四郡ヲ一選舉區トシテ、此所デ福井君ガ競争サレヨリハ更ニ多クノ困難ガアルト云フコトハ、恐ラク福井君モ御反對ハアルマイト思フ、唯夫レ政友會ノ便利ヲ圖ランガ爲メニ、斯ク出來テ居ルノハナイカト云フコトヲ、私共縣ノ事情、選舉ノ事ニ二十有餘年ノ間没頭シテ居ルガ故ニ、殆ド蟻蟻ノ這フガ如ク知テ居ルカラサウ云フ疑ヲ起サザルヲ得ヌノデアリマス（拍手起ル）ソレカラ今度ハ内務大臣ノ御膝元ニ就テ一言申シタイト思フ（内務大臣ノ方ガ能ク知テ居ル）ト呼フ者アリ）無論鹿兒島縣ニ就テハ私が申上ゲルノデアリサウ仰シヤルノハ無理ナラヌ、サウ御感ジニナルノハ無理カラヌ事デアリマス、併ナガラ私が之ヲ調ベルガ爲メニハ、餘程各方面ノ事情ヲ聞イタ、輕卒ニ申上ゲルノデアリマセヌ、鹿兒島縣ノ第二區ハ、鹿兒島郡ヲ以テ一ツノ選舉區トサレテ、此處カラ一人出ルヤウニナテ居ル、第六區ハ熊毛、肝屬、リマス、一方ハ第二區ノ鹿兒島郡ノ方ハ十萬四千デアリマス、ソレカラ第六區ノ熊毛、肝屬ヲ合セバ十萬一千人ニナテ居ル、若シ人口代表ノ主義ヲ徹底シヤラウト思ヒマシタナラバ、熊毛郡ノ鹿兒島郡ニ附ケマシタナラバ、一方第二區ノ方ハ人口十五萬人ニナリ、片方ハ十三萬四千二人ニナル、所謂人口代表ノ主義ニハ、確ニ熊毛郡ノ鹿兒島郡ニ附ケタ方ガ宜イト云フコトハ、是ハ數理ノ上デ明カデアリ、是ハ

恐ラク何人モ否認出來ナイ數理ノ結果デアリ、ソコデ數理上ハ、サウデアアルガ事實ハドウデアルカ、交通其他ノ關係ノ上カラ熊毛郡ナルモノハ肝屬郡ニ合シタ方ガ宜イカ鹿兒島郡ニ合シタ方ガ宜イカ、事實ノ上ニ於テ判斷スルノ外ハナイノデアリ、而シテ事實ノ上カラ判斷スレバドウデアルカ、熊毛郡ヨリ鹿兒島郡ニ至ラントスルノハ、一度鹿兒島郡ニ來テ鹿兒島カラ復タ後戻リヲシテ、船ヲ乗換ヘテ肝屬郡ニ行カナクハナラヌヤウナ狀態デアリ、即チ熊毛郡ナルモノト肝屬郡ナルモノノ間ニハ、何等直接ノ聯絡ハ無イ所デアリ、ドウシテモ熊毛郡カラ肝屬ヘ行カント欲スルナラバ、一度鹿兒島ニ行テ、船ヲ乗換ヘテ、後ニ戻テ肝屬郡ニ行クト云フ交通狀態ニテ居ルト云フコトハ、恐ラク内務大臣モ御否認爲サルマイト思フ、成程地圖ノ上カラ申シマスレバ、近イノハ肝屬ノ方ニ近イノデアリ、併ナガラ交通狀態ト云フモノハ近イノハ肝屬郡ニハ大々的不便デアテ寧ロ遠キ鹿兒島郡ニ交通上非常ナ不便デアルト云フコトハ、其地方ノ事情ニ精通シテ居ル所ノ人ハ、何人モ否認シ能ハザル所デアリ、是ハ如何ガ爲メニ斯ノ如ク出來タノデアルカ、私ハ其事情ハ知リマセヌガ、矢張其地方ノ事情ニ通ジテ居ル所ノ人カラ聽ケバ、是亦政黨地盤維護ノ上カラ出來タノデアルコトヲ申シテ居リマス、（拍手起ル）其他モウ一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、和歌山縣ノ問題デアリ、和歌山縣ノ第二區ハ、海草郡ト云フ郡ヲ獨立サレテ、一人出スコトニナテ居リマス、第三區ハ伊那、那賀、有田ノ三郡ニ至ラントスルノハ、海草郡ト云フ郡ヲ獨立サレテ、一人出スコトニナテ居リマス、論ズル資格ガ無イ、伊那郡々々々ト呼フ者アリ）

○副議長（濱田國松君） 靜肅ニ……

○西村丹治郎君 兎ニ角伊那郡デアラウト、ソナ事ハ一向構ハヌ、兎ニ角此三郡ヲ以テ第三區ト爲シ、海草一郡ヲ以テ一ツノ選舉區トナサレタト云フコトハ、其地方ノ地理ニ精通サレテ居ル人ノ話ヲ聽ケバ、海草郡ト云フモノヲ中ニ挾ンデ、有田郡ト云フモノハ向フニ懸離レタ所ノ郡ダサウデアリマス、一ツノ郡ヲ中ニ挾ムト云フコトハ（間違デ居ル）ト呼フ者アリ）若シ間違テ居ルト仰セラル、ナラバ、私ハソレハ斯ウ云フ意味デアラウト思フ、唯、地續キデアルト云フニ過ギナイ、成程地ハ續イテ居ルケレトモ、那賀郡、伊那郡ノ方面ヨリ有田郡ニ至ラントスルノハ、縣道若クハ郡道ト云フモノハ、ドウシテモ海草郡ヲ通過シナクハ行ケナイノデアリ（其通り）ト呼フ者アリ）斷崖絶壁ノ山ヲ越エレバ有田郡ニ行ケルカモ知レマセヌガ、縣道郡道ニ依テ有田郡ニ到ラントスルナラバ、必ズ海草郡ヲ通過シナクハ行ケナイノデアリ、是レ私が懸離レテ一ツノ海草郡ト云フモノヲ中ニ挾ンデ、有田郡ト云フモノガ隔絶シテ居ル所ニアルト

申スノハ斯ウ云フ意味デス、是ガ否認シ得ラレマスカ、斯カル事ガ何故ニ出來タノデアルカト云フコトハ、私他縣ノ事デスカラ、茲ニ斷定的ニ諸君ニ申上ゲマセヌ、是ハ諸君自ラ公平ニ御判斷ヲ願フコトガ出來ラダウト思ヒマス（拍手スル者アリ）其他一區一人制——苟モ小選舉區ヲ採ルト云フ以上ハ、事情ノ許ス限リドウシテモ一區一人トスル方針ヲ以テ、徹底的ニ事情ノ許スダケハヤラネバナラヌモ拘ハラズ、一區ニ割キ得ルモノニシテ、二人トシ若クハ三人ニシテ居ル所ガ隨分數多イト云フコトハ、私が申上ゲヌデモ、是ハモウ政府ノ案ヲ見レバ諸君御承知ノ通りデアリ、而シテ私ハ一々ニ付テハ申上ゲマセヌケレドモ、一端ヲ見テ私ハ其全班ヲ判斷スルノハ左程困難デアアルマイト思フ（拍手スル者アリ）ソレ故ニ僅カニ二三ノ事例ヲ申上ゲマシテ、他ノ二人若クハ三人出テ居ル所ハ、諸君ガ慎重ニ御調ニナタナラバ、必ズ其間ニ何等カノ因縁、何等カノ魂膽アリト云フコトノ御發見ナサルノハ、決シテ苦シクナイト思フ（拍手起ル）

〔副議長濱田國松君議長席ヲ退キ議長大岡育造君著席〕

○西村丹治郎君 此意味ニ於テ私ハ若シ此小選舉區制ナルモノガ本院ヲ通過シ——無論本院ヲ通過スルト云フ事ハ、唯今ノ議場ノ大勢已ムヲ得ヌコト、思ヒマスガ、若シ是ガ兩院ヲ通過スルト云フヤウナ事ガアリマシタナラバ、或ル一派ノ政黨ノ地盤ヲ鞏固ニシ、或ハ一派ノ政黨ノ爲ニハ便利デアアルカモ知レマセヌケレドモ、我が帝國憲政前途ノ爲ニハ、洵ニ憂慮スベキ一大不祥事デアルト云フコトヲ茲ニ斷言シテ、此壇ヲ降ルノデアリマス（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 武藤金吉君

〔武藤金吉君登壇〕

〔拍手起ル〕

○議長（大岡育造君） 此場合時間ノ切迫ヲ豫メ避ケタイト思フデ居リマス、最早僅カ三十分ニ足ラヌノデアリマス、此選舉法ノ最後ノ決ヲ採ルマデ時間ヲ延長シタイト思ヒマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナクハ時間ハ延長サレマシタ

○武藤金吉君 衆議院議員選舉法中改正法律案ハ多年ノ懸案デアリマシテ、此度政府提出案及憲政會、國民黨ノ各案共ニ、從來ニ比シマシテ、其案ノ内容ノ一段ノ進歩ヲ見タルハ、憲政運用ノ上ニ甚ダ喜ビニ堪ヘナイ次第デアルト考ヘマス、今ヤ斯ク有力ナル主張ニ基イテ其經綸ヲ行ハントスルニ、此重大ナル法律案ヲ決定セントスル場合ニ際シテ、政府提出案ニ賛成ヲシ、我が立憲政友會ノ方針ト合致スルヲ闡明シテ、之ニ反對セラル、憲政會及國民黨其他

御主張對シテ、茲ニ暫クノ間論戰ヲ交フル機會ニ際シタルハ、本員ノ最モ光榮トスル所デアリマス、諸君、本案ニ關シテノ論點ノ要旨ハ數點デアリマス、選舉權ノ擴張ノ事、大選舉區制利害得失ノ事、又之ニ伴フ別表改正ノ事、選舉取締ニ關スル一切ノ事デアリマス、我黨ノ松田君ヨリ述ベラレマシタ點ハ、重複ヲセヌヤウニ是等ノ事ハ一切避ケマシテ、簡單ニ時間ヲ活用致シテ私ハ宣明スル積リデアリマス、諸君、衆議院議員タル吾、御同様ハ、此衆議院議員ノ選舉法ニ付キマシテハ、何事ヨリモ能ク研究ヲ致サレテアルノデアリマス、又能ク實情ニ御同様ハ精通致シテ居ルノデアリマス、(御同様ハ困リマス)ト呼フ者アリ、然ルニ選舉ノ時ト否トヲ問ハズ選舉ニ付テハ、妙カラザル苦痛辛酸ヲ嘗メルコト、茲ニ幾年デアリマスガ、然ルニ此實際ノ問題ニナテ、我ガ衆議院ノ論議ガ聊カ眞面目ヲ缺クガ如キコトハ、甚ダ私ハ遺憾トスル、諸君、諸君ハ最モ有力ニシテ、各家ノ主張ハ最モ信用ハアル所ノ論旨ヲ、國民及一般ニ之ヲ徹底セシムルト云フコトハ、蓋シ吾等ガ努メテ此事ヲシナケレバナラヌ所デアリカト思フノデアリマス、故ニ本案提出以來本員ハ本會議及委員會ニ於テ、諸君ノ御論旨ノ在ル所ヲ謹ンデ拜聴致シマシタ、又本日ノ會議ニモ諸君ノ御論旨ヲ拜聴致シテ居リマシタガ、吾等ハ此上ニ提案ノ精神ニ背カズ、衆議院ノ權威ヲ傷ケナイヤウニ、自ラ大ナル注意ヲ拂デ、此立法ノ事業ノ完成ヲ告ゲタイト期スルノデアリマス、諸君、而シテ問題トナリマシタノハ、大小選舉區制ノ利害得失ガ最モ主ナル論點ニナテ居リマス、此點ニ付キマシテハ、我松田君ノ論議セラレタ點ハ一切避ケマシテ、松田君ノ言ハナイ點ヲ私ハ三四申シタイト思フ、小選舉區制ハ地盤鞏固ナルヲ以テ、議員ノ議會ニ望ム時ニ、何回解散ガアジテモ之ヲ恐レズ、議員ヲシテ確ニ其所信ヲ行ハシメルノニハ最モ適當ナル良イ制度デアルト私ハ感ジマス、ソレカラ運動費ノ減少ヲ圖リ、之ニ依テ資產ノ乏シキ適當ナル人材ヲ候補者ニスル事デアリマス、諸君ハ運動費ノ事、費用ノ事ハ問題ノ如ク考ヘラレテ居ラスガ、知レマセヌカ、選舉ニ於テ一大苦痛トスル所ハ、選舉運動費ヨリ外ニ重イモノハナカラウト思ヒマス、諸君、此運動費ノ減少ヲ圖リ、金力ガ無クテモ、此衆議院ニ各階級カラ代表者ヲ送ルト云フコトニ付キマシテハ、小選舉區ト大選舉區トノ得失利害ト云フモノハ、自カラ小選舉區ニアルト云フコトハ申スマデモナイ話デアリマス、而シテ更ニ重要ナ點ハ、候補者ト選舉區トノ關係ヲ密接ニシテ、能ク候補者ノ人物政見ヲ選舉區民ニ知ラセ、而シテ常ニ有意義ナル所ノ選舉民ノ意思ヲ代表スル議論ヲ、此衆議院ニ於テ行ハシメルト云フコトガ此小選舉區制度ノ上ニ於テ最モ有力ナル力ヲ持ツノデアリマス、諸君、現在ノ大選舉區ニ於キマ

シテハ、何レノ縣ニ於キマシテモ比例代表ヲ行フコトハ出來マスガ、其比例代表ハ殆ド其人物モ、名前モ、品性モ、何モ知ラナイ者ガ、何レノ縣ニ於テモ一名ヤ二名ハ選舉毎ニ當選シテ居ルデアリマセヌカ、而シテ其人ハ選舉區トハ沒交渉デアリマシテ、選舉民ガ選舉シタ以上ハ、何等關係ノナイト云フヤウナ關係ヲ持テ居ルノハ、候補者其人ノ罪デモナケレバ、選舉人ノ罪デモナイ、大選舉區制度ノ弊害ノ最モ甚シイモノデアリマス、是等ノ點ヲ矯正ヲ致シマスルニハ、小選舉區ノ利害得失、大選舉區ト比較ト云フコトハ、自カラ明カデアリマス、又小選舉區ハ大人物ヲ得ラレナイ、又選舉區ノ大小ニ影響ヲ蒙ラナイト申シマスガ、松田君ハ大人物ノ例ニ原首相等ヲ引合ニ出サレマシタガ、私ハ尊敬スル憲政會ノ領袖諸君ノ御名前ヲ申上ゲテ見タイ、河野君、武富君、尾崎君、箕浦君、島田君、是等ノ領袖諸君ハ小選舉區當時ニ於キマシテモ一回モ落選セズ、議會開設以來今日マデ當選サレテ居ル、又國民黨ノ大養君ニ於テモ小選舉區ノ當時カラ毎回出ラレテ居ルデアリマス、故ニ大選舉區デアルカラ大人物ガ出ナイ、小選舉區デアルカラ小人物ガ出ルト云フヤウナ比例ハナイノデアリマス、選舉區ニ致シマシタ所ガ、決シテ大人物ガ出セヌト云フコトハ議論ニナリマセヌ、殊ニ小選舉區ニナリマシタモ、少數ノ代表者ヲ出セルコトハ松田君カラ述ベラレマシタカラ、私ハ之ヲ略シマスガ、要スルニ大選舉區ト小選舉區トノ利害得失ニ付キマシテハ、選舉上ノ弊害ヲ矯メ、又人物ヲ出シ其他總テノ取締ノ點等ニ就キマシテモ、一點ノ議論ヲ挾ムコトハナイト信ズル、ニ智識階級ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ松田君カラ述ベラレマシタカラ、私ダケハ避ケマスガ、此小選舉區ニ伴フ別表ノ改正ニ付キマシテハ、憲政會ノ諸君カラモ、赤國民黨ノ西村君カラモ、其缺點ノ不公平ヲ指摘サレマシタ、是ハ委員會ニ於キマシテモ數時間ニ亙テ齊藤君モ述ベラレマシタ、又本議場ニ於キマシテモ一々之ヲ列舉シテ述ベラレマシタカラ、私ノ調ベマシタコト、ノ比較ヲ致シマシテ、間違テ居ルカ不公平デアルカト云フ御判斷ニ預リタイト思フノデアリマス、(岡山縣)ト呼フ者アリ、京都府ノ第五區、第六區ニ付キマシテハ、委員會ニ於テ問題ニナテ居リマシタガ、本會ニ於キマシテモ攻撃的質問ヲ齎藤君ハセラレマシタガ、是ハ自分ノ質問ガ誤デアルト云フコトヲ悟デ、今日ハ述ベラレマセヌカラ、敢テ攻撃ハ致シマセヌガ、是ハ大變違テ居リマス、合併スル時ハ區域ガ極メテ廣ク適當デナイ、岐阜縣ニ五郡一選舉區ノ所ハアルガ、是ハ各郡トモ狭小ニシテ、比較ニハナラヌモノデアリマス、此五區六區トモ、斯ノ如ク組合スト云フコトハ、地理ノ上カラ言ヒマシテモ、人情、風俗、交通ノ上カラ言テモ、嵌テ居ルノ

デアリマス、ソレカラ大阪府デアリマス、大阪府ノ六區、西成郡、東成郡ヲ一選舉區トシテ、二人ヲ出スト云フノハ、何故之ヲ二ツニ分ケヌカト云フ攻撃デアリマシタガ、是ハ大阪府ノ他ノ區ニ於テハ、第七區ガ十一萬、第八區ガ十一萬九千、第九區ガ十一萬五千、第十區ガ十萬五千、第十一區ガ十三萬四千、十三萬、一區ト云フモノハ第十一區ニアルダケデアリマシテ、此西成郡ノ十六萬二千七百七十七ト云フモノハ、餘リ大キニ過ギマスガ故ニ、此東西成郡ヲ合併致シマシテ、他區ノ標準ニ倣フデアリマシテ、大阪府全體ニ付テノ均衡ヲ取ル爲メニ、是ハ斯様ニ編成サレタノデ、是ガ最モ公平ナル所ノ(地理ノ關係ヲ言テ下サイ)ト呼フ者アリ、區制ト思ヒマス、ソレカラ又(違テ居ル)「地理ノ關係ヲ言ヘ」(默レト呼フ者アリ) 注意致シマス

○武藤金吉君 次ハ(次ハ何デス)ト呼フ者アリ、岡山縣ノ別表ニ付キマシテ申上ゲタイト思ヒマス、岡山縣ノ第五區、淺口郡、小田郡、後月郡、此三郡二人ニ付テ、淺口郡ハ八萬二千、小田郡ハ八萬五千、後月郡ハ三萬九千デアリマシテ、合計ニ二十七萬四千四百四十九ノ數ニナテ居リマスガ、何故之ヲ分ケヌカト云フ御議論デアリマス、淺口郡ヲ獨立セシムル時ニハ、第八區ニテ人口十七萬二千九百四人ヲ以テ一區トシテアルノニ、較ベマシタ、餘リ二人口ノ開キガ多過ギル、又地形交通ヲ斟酌シテ斯様ニ組セタノデアリマス、現ニ舊選舉區ノ時モ此三郡ハ一選舉區ニテ居タト云フ歴史ヲ有テ居リマスカラ、右様ノ次第デハ三郡二人トスルト云フコトハ、最モ適當ナリト吾等ハ信ズル、更ニ第三區ノ上道赤磐、和氣、邑久、此四郡二人ニ付キマシテ、十九萬七千五百、之ヲ何故和氣、邑久ノ二郡ヲ以テ一區トシナイカト云フ駁論デアリマスガ、此四郡ハ極東四郡ト稱サレマシテ、一地方トナテ居ルコトハ、其地方ノ御方カラ私ハ親シク承ナルモ、和氣ハ交通不便デ、殊ニ邑久和氣トノ間ニ於テ最モ交通ガ困難デアル、故ニ此四郡ヲ強テ分割セシムルトナラバ、舊選舉區時代ノ如ク、邑久、和氣、赤磐及上道ダケヲ以テ一選舉區トシナケレバナラヌト云フコトハ、是ハドウシテモ此和氣、赤磐ノ兩郡ハ九萬六千デアアル選舉區デアルカラシテ、原案ニ比シテ一層他區ト權衡ヲ失スルニ至リマスカラ、已ムヲ得ズ斯ウ云フ風ニ組合セタト云フコトニ御諒察ササレテ然レバシト思ヒマス、單ニ此地形、此數字許リニ依テ、此縣ガ斯ウ云フ風ニ組合セタモノデナイト云フコトヲ、想像スルニ餘リアルト思フノデアリマス、(山梨縣ヲ願ヒマス)「時間ノ割當ヲ願ヒマス」ト呼フ者アリ、靜岡縣ノ問題ガ出マシタデアリマスルガ、靜岡縣ノ第三區及第四區ハ何故ニ

之ヲ人口ノ平均ヲ期スル爲メニ、合併シナイカト云フ御議
論アリマシタガ、是ハ一郡一區ト云フコトガ之ヲ決メマ
スル原則トナシテ居ルノデアリマシテ、別段此安部郡一郡デ
十一萬三千ト云フコトハ、人口ノ點ニ於テモ差支モナシ、又三
區四區ヲ合併致シマスル、地積ガ餘リ廣汎デアリマシテ、
中選舉區トナル故、一郡宛之ヲ分割シタト云フ此原案ノ趣
旨ニナシテ居リマシテ、此駁論ニ付キマシテハ一向其意味ヲ爲
サスト思ヒマスカラ、念ノ爲メニ之ヲ辯明シテ置キマス、更ニ
「辯明ナラ山梨縣ヲ言テ下サイ」ト呼フ者アリ、石川縣ノ
二區ト三區ヲ何故人口ノ公平ヲ期スル爲メニ、兩區ヲ合
併シテ二人一區トシナイカト云フコトガアリマシタガ、是ハ
石川縣ノ各區ヲ見ルト大體ニ於テ人口ハ公平デアリマス、
又石川、江沼ヲ合併スル時ハ地域ガ擴大スルデアル、交
通不便トナル譯デアリマス、又石川郡ノ人口ハ十一萬三千
餘アリ、強テ之ヲ他ニ合併スル程ノ必要モ見ナイノデアリ
マス、殊ニ原案ハ舊選舉區昨日ノ選舉區ヲ全然其儘襲用
致シタノデアリマスカラ、是ハ何故合併シナイカト云フコト
ノ御希望ハ、甚ダ無理ナル御希望ナリト信ジマス、次ニ福
岡縣ノ事デアリマス、福岡縣ノ事ハ同僚ノ諸君カラ、福岡
縣ノ事情ハ唯今御話ヲ承リマシタ、又何故此第十區ト第
十六區ヲ公平ヲ期スル爲メニ、三郡ヲ以テ一人區トシナイ
カト云フコトニ付キマシテハ、是ハ海二十區ノ遠賀、鞍手、
嘉穂ト十六區ノ全救、田川、北五郡ヲ一人宛ニ割リマスル
ト、反對黨ノ諸君ガ御心配爲サルハ、政友會ノ爲メニヤ
トナ、政友會ノ爲メニヤトナト申シマスガ、諸君ノ言ハレ
ル通り直シマスル、此五郡カラ遠賀、全救ノ二郡ヲ合併
致シマシテ四ツニ分ケマスル、政友會許リ全部出テシマフ
ト云フヤウナコトニナルノデ、却テ是ハ諸君ガ政友會ノ爲メ
ニ作タト云フコトニ、反對スル現象ニハ事實ナラナイノデア
ル、諸君遠賀鞍手ハ、筑前デアリマシテ、全救ハ豊前デアリ
マス、又遠賀方面ト全救トノ便利ナル交通ハ、獨立選舉區
デアタハ、幡巾ヲ經由スル許リデアリマス、其他ノ方面ハ山
脈續キデ、此組合ハ決シテ適當デアリノデアル、諸君ハ地圖
モ知ラナイデ唯人口ダケヲ見テ、政友會ノ爲メニ此郡ハ勝
手ニヤッタト云フガ如ク言フノハ、甚ダ無理ナ主張ナリト
私ハ思フノデアリマス、更ニ「遠賀居リマス」ト呼フ者アリ、
長崎縣ノ六區デアリマス、長崎縣ノ六區ニ付テハ先刻不
公平デアルト云フヤウナ説明ヲ承リマシタガ、是ハ其選出區
ノ同僚カラモ唯今御話ヲ承リ、又地圖ヲ見マスレバ長崎縣
ノ五區六區ハ北松浦、南松浦、壹岐、壹岐ハ御承知ノ通
リ島デアリマシテ、之ヲ何故此通りニシタカト云フコトデア
リマスルガ、地圖ヲ御覽ナサレバ分リマスガ、交通ノ便カラ
考ヘテ、舊選舉區カラ鑑ミマシテ、原案ハ最も其交通ニ於

テモ、行政區劃ニ於テモ、適當ノ劃方デアリノデス、此長崎
縣ノ北松浦、南松浦、其間ニモウ一ツ島ガアリマシテ、更ニ
對馬ヲ入レロト云フコトデアリマスガ、到底是ハ交通ノ上カ
ラ總テノ取引ノ上カラ、サウハナラヌモノデアルト云フコトハ、
此圖ヲ御覽ナサレバ是ハ貴方ガタノ中ニモ長崎ノ御方ガ御
出デ、アリマセウカラ、能ク實際ニ臨ンデ見マスレバ、何モ私
ノ説明ヲ聽クマデモナク、無理デアリト云フコトガ明カニナ
ルデアラウト思ヒマス、以上ノ次第デアリマシテ、即チ此選
舉區劃ニ付キマシテハ、政府ニ於テ調査ハ相當ノ理由ト
相當ノ根據ガアツテ、決シテ一黨派トカ、一部ノ政黨ノ爲メ
ニヤタモノデ無イト云フコトハ明カデアリマス、(「ノウ」)ト
呼ビ拍手起ル、殊ニ此高知縣ノ事デアリマス、(「山梨ヲ願ヒ
マス」)山梨一ツデ問題ハ解決ガ出來ル、(「時間活用ノ意味
ニ於テ山梨ダケ降壇ヲ願ヒマス」ト呼フ者アリ)高知縣ノ
第二區ト第三區ヲ何故二平均ヲ期スル爲メニ、第三區ノ
長岡ヲ合併シテ一人區トシナイカ、斯ウ云フ主張デアリマ
スガ、長岡ハ交通上土佐ト極メテ密接ノ關係デアリマシテ、
舊選舉區ニ依リマシテ、土佐長岡ヲ以テ一區トシテアツタノ
デアリマス、又安藝ハ縣ノ東端ニアリマシテ、交通不便ノ地
域デアツテ、香美ヲ中間ニ挾ンデ長岡ト此兩方ヲ合併スルガ
如キハ、交通及地形上適當デアリノデアル、故ニ原案ノ第三
區ハ小選舉時代ノ區域ト同ジデアリマシテ、政府ガ此二
區三區ヲ定メタト云フコトハ、最も適當ナル所ノ是ハ組方
デアリノデアリマス、(「ノウ」)ト呼フ者アリ、次ハ山梨縣ノ
事ヲ説明セイト云フコトデアリマスカラ、山梨縣ノ事ヲ謹
シテ説明シヤウト思フノデアリマス、(「謹聽々々」)「ヒヤ」ト呼
フ者アリ、山梨縣ノ問題ニナシテ居リマス第二區ハ、東山梨、
西山梨、北巨摩、中巨摩ノ四郡二人區デアリマス、是ハ原
案ハ二人區ニナシテ居リマスモノヲ津田君カラ昨日修正案
ガ出マシテ、東西山梨ヲ一區トシ、北巨摩、中巨摩ヲ一區ト
シ、之ヲ二分スルト云フコトニナシテ居リマシテ、吾黨ハ
之ニ賛成致シタノデアリマス、(「賛成ノ理由ハ」)ト呼フ者アリ、此
賛成ノ理由ハ、元來二人區ト云フモノハ、一原則ハ一人區
デ出セルナラバ一人區デ出スノガ宜イノデアルカラ、此趣意
ニ於テ二分スルコト云フコトハ原則ニ合致スルノデアル、
又人口ノ點カラ行キマス、片方ハ九萬何千、片方ハ十七
萬ニナシテ居リマスカラ權衡ハ取レマセヌガ、併ナガラ地勢ヲ
見マスレバ、東西山梨ト中巨摩、北巨摩ト云フモノハドウ
云フ所デアルカ、諸君ノ如キハ先頃名士諸君ガ舉ゲタ山梨
縣ニ御出デヤウデアリマス、山梨ノ地勢ト云フコトハ私ガ
説明スルヨリモ、殊ニ下岡君、西君ノ如キハ能ク知テ居ラ
レルカラシテ、之ヲ二分スルト云フコトニ付テハ御賛成デナ
レバナラヌノデアリマス、(「能ク知テ居ルカラ反對致シマス」)

ト呼フ者アリ、殊ニ此四郡ノ町村ノ如キハ、組合町村ハ百
三アリマス、又町村ノ數ハ百二十四アル、全國ニ於テ、一選
舉區ニ於テ町村ノ數ガ百以上アル所ハ三箇所有ルヤウデア
リマス、其ハ一、紀州デアリマス、紀州ノ日高、東西牟婁ガ百
十一アル、又モウ一ツハ百十五有ル處ガアリマス、其外ニ三
箇所有ルヤウデアリマス、其ハ一、紀州デアリマス、紀州ノ日
高、東西牟婁ガ百十一アル、又モウ一ツハ百十五有ル處ガ
アリマス、其外ニ二町村ノ數ガ百二十四有ルト云フノハ此山
梨縣ノ第二區ヨリ外ハ無イノデアリマスカラ、此理由ニ依
テ吾黨ハ之ヲ二分スルト云フコトハ相當ナリトシテ之ニ賛
成致シタ次第デアリマス、(「拍手起ル」)諸君ハ今日此議場ニ
於テ左様ニ對テ反對サレマスケレドモ、(「ノウ」)ト呼フ者
アリ、諸君ノ中デ選舉ノ事ニ最も精通セラレテ居ル所ノ安
達謙藏氏ハ、不幸ニシテ議席ニ居ラレマセヌガ、安達謙
藏君ハ何ト云ハレテ居ル、山梨縣ノ二區ニ就テ何ト語ラレ
テ居ル、諸君、二月二十日ノ東京朝日新聞ノ、別表原案
ニ對スル安達謙藏氏ノ責任ヲ持ツ談話ニ何ト書イテアル
「誰ガ責任ヲ持ツタト書イテ居ル」ト呼フ者アリ、責任ヲ持
タト書イテ無クテモ、省モ政黨ノ首領ガ斯ノ如キ、是ハ二
分スルノガ相當デアルト云フ事ヲ明カニ書イテ居ルハナ
イカ、(「拍手起ル」)諸君、諸君ノ如キハ徒ラニ其時ト其場合ニ
依テ「ノウ」ト呼フ者アリ、喧々囂々トシテ其都度ニ
依テ反對セラレテ居ル、(「徒ラニ言フノデアリナイ」)何ンダ
徒ラトハト呼フ者アリ、委員會及ビ其他ニ於テ別表ニ對シ
テ問題ニナシタ府縣ハ澤山アリマスガ、此議場ニ於テ問題ニ
ナシタ分ダケヲ説明致シマシテ、決シテ此別表ハ私心ヲ以
テ拵ヘタノデアリナイト云フコトヲ「ノウ」ト呼フ者アリ、私ハ
認メル者デアリマス、(「拍手起ル」)諸君、(「別表ハ私心ノ結晶
ナリ」)ト呼フ者アリ、諸君ハ此別表ノ如何ト云フ事ニ付キマ
シテ、別表ノ非難ヲスルヨリモ、モウ少シ御同様ニ政黨ノ發
達ノ上ニ努力シテ、正々堂々ト御戰ヒニナル方ガ宜シ
イノデアリマス、諸君、諸君ハ大選舉區制ヲ主張シ、又或ハ
普通選舉ヲ提唱セラレテ居リナガラ、私ハ今諸君ノ提唱ス
ル所ヲ見マスル、全ク其非難ヲ別表ノ上ニ注ガレテ居ル
ヤウデアリマスガ、此別表ノ爲メニ實ハ我黨内ニ於テモ非
常ニ苦痛ヲ忍ンデ居ル者モ澤山アルノデアリマス、實際我
黨ノ中ニ於テ、決シテ選出ノ代議士ガ之ニ満足シテ居ル
者デハナイ、又諸君ノ方ノ例ヲ見マシテモ、諸君ノ黨議デ御
決定ニナシテ、三木君ノ如キハ元氣デアリマスガ、三木君ノ
本當ノ心事ハドウダ、(「拍手起ル」)諸君本當ノ心事ハドウダ、
ドウ云フ感ザル、諸君、サウ云フヤウナ事デハイケマセヌ
(「笑聲起ル」)憲政會ノ中ニ於テモ黨議ハ黨議トシテ、大體小

選舉區ニ於テ——別表ニ於キマシテハ數十回直サレトカ三
回目ニドウトカ申サレガ、此別表ハ段々精撰サレテ——交
通ノ便否、總テノ上カラ非常ニ精撰サレテ居ル、今回ノ政府
提出案ハ、數字ナドハ幾ラ喰ッ付ケタイト言フテモ、木ヲ割
竹ヲ割クヤウニハイクモノデハナイ、地勢人情總テノ點カラ
見テ、全ク公平ニ出來テ居ル、之ヲ行フ上ニ付テモ慮心坦
懷黨派カラ離レテ見タ時ニハ公平ニ見エルノデアリマス、諸
君私ハ政友會トカ憲政會トカ或ハ國民黨トカ云フ黨派ヲ
離レテ、假リニ吾ニ代議士——衆議院議員ガ此處デ無記
名投票ヲシタ時ニハ、此別表ニシテモ、小選舉區ニシテモ、
最大多數決スルデアラウト思フノデアリマス(拍手起ル)
諸君、實ニ此別表ニ付テノ御非難ハ此根據デアリマスケレ
ドモ、吾ニ見ル所デハ、最モ公平ニ出來テ居ッテ、非難スル
所ノ廉ハナイ、落度ガナイ、斯ノ如キコトデアリマスカラ、吾
吾ハ此政府ノ別表ニ對シテ同意致シマシテ、之ヲ是ナリト
認メル者デアリマス、更ニ最後ニ私ハ一言致シタイと思ヒマ
スガ、齋藤君ハ——憲政會ノ齋藤君ト三土君ガ、委員會ニ
於テ我黨ヲ代表シタ所ノ演說ノ言葉尻ヲ捉ヘマシテ——大
選舉區ト申シタノハ小選舉區ヲ誤リデアアル——小選舉區ノ
事ヲ申シタノハ大選舉區ヲ採タヤウニ御報告セラレマシタ
ガ(ノウウ)ト呼フ者アリ)三土君ノ演說ノ筆記ヲ御覽ナ
サレバ明カニナッテ居ル、諸君、ソレデ此席上ニ於テ三土君ガ
憲政會ノ主張ノ如キ事ヲ主張シタノデ無イト云フコトハ、熱
シテ居ナイデ能ク冷靜ニシテアレヲ御覽ナサレバ明カニ分ル
ノデアリマス(ソレ故ニ速記録ヲ早く調製スルコトヲ請來シ
タノダ)「男ヲシキヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ)決シテ卑怯デハナ
イ、サウ云フ譯デアリマス、更ニ國民黨ノ西村君カラ別表ノ
事ニ付キマシテ御説ガアリマシタ、岡山縣ノ事ハ西村君ハ
岡山縣デ御委シイカラ、唯今私ガ申上ゲタ事ヲ——兩者ヲ
御比較ニナッテ御判斷ヲ願ヘバ宜シイガ、鹿兒島縣ノ事デア
リマス、諸君、鹿兒島縣ノ事ハ偏頗ナ事ヲシタトカ、間違
タ事ヲシタト云フ御説デアリマスガ、鹿兒島縣ニハ私ノ狸ヤ
狐ヤ憲政會ヤ國民黨ハ無イヤウニ承知シテ居ル、若シ有リ
マシタナラバ少數ノモノデ出セル地盤ハ無イノデアアル出セル
所ノ地盤ハ無イ所ヲ直ス必要ハ無イノデアリマス、何カ内
務大臣タル床次君ガ自分ノ縣ニ都合ノ好イヤウニシタト
申サレマスガ、鹿兒島縣ハ何ヲ苦シンデ選舉區ナドヲ變更ス
ル必要ガアリマスカ、殊ニ此別表ノコトニ就テ(「失言々々」
ト呼フ者アリ)又和歌山縣ノ御説モアリマシタガ、和歌山縣
ノ事ハ決シテ無理デナイ、又和歌山縣ノ事情ニ通ゼラレテ
居リマシタナラバ、多少ノ理窟ヲ付ケマスレバ、山ノアル處ト
カ川ノアル處トカ、理窟ハ付キマセウガ、和歌山縣ニ於テハ
國民黨ニ於テ大堀君前川君ガ居ラレマスコトデゴザイマス

カラ、多少ノ御批判、多少ノ理窟ハ付キマセウガ、此大體ノ
組立ヲ覆ス程ノ根據ノアル議論トハ受取レマセウカラ、私ハ
此原案ノ方ガ適當ナリト信ジテ申上ゲル次第デアリマス、之
ヲ要スルニ別表ノ議論ハ是ハ悉クノ縣デモ吟味ヲシテ參
リマシテ、理窟ヲ付ケタルシマスレバ、三府四十六縣悉ク理
窟ガ付キマス(ソレハ三百六十ト呼フ者アリ)ソレハ三百六十
ラ言ハナイ方ガ宜シイカラ、諸君モゴテ——言ハナイデ、滿場
一致ヲ以テ此別表ヲ認メマスコトニ御賛成ニナッテ宜イノ
デアアル、デ之ヲ要スルニ(「何ヲ言フノダ」ト呼フ者アリ)諸君
ノ(「支離破滅」ト呼フ者アリ)諸君ノ御主張モ決シテ私ハ
無理デハナイト思フ、此改正案ニ付キマシテノ主張ハ、假令
二圓ト言ヒ三圓ト言フモ其差ハ一圓デアアル、唯、金ノ一圓
ノ差ノミデアッテ、其重大ナル點ハ政府案モ吾ニ主張スル
所モ、憲政會諸君國民黨諸君ノ主張スル所モ大差ガ無い
ノデアアル、唯、問題トナッタルハ(ノウウ)ト呼フ者アリ)少
シノ差デアリマス、諸君ハ大變ナ差ガアルヤウニ御考ニナリ
マスガ、私ハソレ程ノ差ノアルモノトハ思ハナイノデアアル、決
シテソレ程ノ差ノアル問題デアリマシテ、此點ニ付キマシテノ
議論ハ別デアリマスガ、選舉資格ナドニ付キマシテハ、ソレ
程青クナタリ赤クナタリシテ論ズル程ノ事ハ無イノデアアル、
若シ諸君ガソレヲヤルタルスラバ、ソレハ街ノデアアル(「汝
ガ街ノダ」ト呼フ者アリ)諸君、之ヲ要スルニ此案ハ諸君
ニ於キマシテモ、此政府案ト云フモノハ決シテ無理デナイト
云フコトニ大體ハ腹ノ中デハ御了承ニナッテ居ルモノト私ハ
受取ルノデアリマス、故ニ此場合ニ於キマシテ諸君ハ男ヲシ
ク諸君ノ案ヲ御撤回ニナリマシテ、政府提出、我黨ノ賛成
スル所ノ此度ノ改正案ニ快ク賛成ヲセラレマシテ、諸君ノ
希望スル滿場一致ヲ以テ此政府案ヲ可決シマシテ、其上デ
今度ハ改策ニ依リテ爭ッテ、議員ノ頭數ノ爭ヲヤルト云フ御
決心ヲ持タレタ方ガ、國家ノ爲メニ私ハ宜シカラウト思ヒマ
シテ、政府案ヲ賛成致シマシテ此主張ヲ爲ス所以デアリ
マス

〔拍手起ル〕
〔政友會ハハット一息ダト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 本田恆之君

〔本田恆之君登壇〕
〔拍手起ル〕

○本田恆之君 諸君、此憲法ノ附屬ノ重大ナル衆議院議
員選舉法改正案ヲ議スルニ當リマシテ、屢、是迄ノ御辯論ノ
傾向ヲ伺ッテ見マスノニ、一時ヲ瞞過シテ此案ノ通過ヲ圖
ラントスルヤウナ(ノウウ)ト呼フ者アリ)奇怪ナル御議論
ヲ屢、伺ヒマスノハ、私ハ甚ダ遺憾ニ存ジマス(ノウウ)ト

呼フ者アリ)御互ニ此重要ナル法案ヲ議スルニ當リマシテ
ハ、最モ眞摯ニ、最モ眞面目ニ(君ノ方ガ不眞面目ダ)ト呼
フ者アリ)論ジマシテ、而シテ其間ニ眞理ヲ發見スルコトヲ
努メマスルノガ、國家ノ前途永遠ノ爲デゴザイマス、苟モ此
議論ヲ通過スルトカ、通過シナイトカ云フ、唯、目前ノ目的
ノ爲ニ此重大ノ法案ニ對シテ奇妙ナ議論ヲスルト云フコト
ハ、御互ニ遠慮シタイト考ヘマス(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)ソ
レデ私ガ申上ゲマスル事モ議論ノ順序ト致シマスガ、前ノ齋
藤君ノ申述ベタ事ヲ繰返ス點ガアラウト思ヒマスガ、私ハ成
ベク之ヲ避ケマス、出來得ル限り重複ニ出ヅルト云フコトハ
止メマシテ、而シテ是マデ反對ノ意見ヲ論ゼラレタ諸君ノ御
辯論ノ中ニ、殆ド一笑ニ附シテ可ナリト思フ點ニ付テハ、一
切ノ反駁ヲ省略致シマス、極ク出來ル限り時間ヲ儉約致
シマシテ、後ノ尙ホ殘ッテ居ル所ノ多數ノ人ニ、十分ナル時
間ヲ讓ルト云フコトガ、私ノ此場合ニ於ケル德義ダラウト
考ヘマス、大體緊要ナ三ノ點ニ向ッテ申上ゲマス、
屢、是マデノ論者モ論ゼラレタル如ク、此法案ノ緊要ナル點
ハ二點デアリマス、第一ハ選舉區制ノ問題、第二ハ選舉權ノ
擴張ノ問題、此二點ニ外ナリマセズ、其選舉權擴張ノ方ノ
側ニ於キマシテハ、國民黨カラ出テ居リマスル案モ、吾ニ
案モ政府案モ、兎モ角モ十圓ト云フ納稅額ヲ、二圓若クハ
三圓ニ減ジタト云フ點ハ、同一ノ方向ニ向ッテ居リマス、更
ニ智識階級、詰リ中學校師範學校ノ卒業生若クハ是ト
同等以上ノ學力アリト認メタル所ノ檢定試驗ノ及第者、
此智識階級ニ對スル點ニ向ヒマシテハ、國民黨ト吾ニ同
一方向ニ立ッテ居リマス、此點ニ向ッテ大體ハ齋藤君カラ御辯
論ニナッテ居リマスガ、更ニ一應ノ批評ヲ試ミテ見タイト思
フノデゴザイマス、一體床次內務大臣ガ此點ニ向ッテノ説
明ノ大要ヲ申シマスレバ、今中學校ノ卒業生ガ日本ニ五十
三万人居ル、其中ノ十五万人ト云フ者ハ三百圓以上ノ納
稅者デアルカラ、此中カラ引カケレバナラヌ、更ニ二十万
人ヲ引キマシテ、詰リ殘ル所ガ十八万人デアルシ、ソレニ又
我ガ憲政會ノ法案デ見マスレバ、之ニ獨立ノ生計ヲ營ム者
ト云フコトヲ加ヘテ居リマスルカラ、餘ル所ガ十萬カ十二萬
カニ過ギマイ、斯ウ云フ御推定デアリマス、吾ニ考デモ多
分其位ノ計算ニナルデアラウト考ヘマス、此十八萬ノ中カ
ラ獨立ノ生計ヲ營ンデ居ル者ト云フ者ヲ取除ケマスレバ、
約三分ノ二ガ此方デアルト云フ計算ヲ致シテ居リマスカラ、
十二萬ト云フ數字ガ出ル、此十二萬ト云フ數ガ出ルノハ、
政府ノ御計算モ吾ニ計算モ一致イタシテ居ルノデアリマ
ス、此十二萬ト云フ數ニ對シテ何故ニ之ニ選舉權ヲ與ヘヌ
カト云フ吾ニノ攻撃ニ對シマシテ、政府ノ辯明ニ依リマスレ

バ、政府ハ斯ウ言フノデアル、第一二學校ノ卒業生以外ノ者ニモ智識ヲ持テ者ガ澤山居ル、澤山居ルカラソレニ與ヘルノ不公平デアルト云フコトヲ第一ノ理由、第二ノ理由ト致シマシテハ、僅カ十萬ヤ十二萬ノ人間ニ選舉權ヲ與ヘタ所ガ、今度擴張サレル所ノ選舉權ノ總數ト云フモノハ三百万デアル、其三百萬ニ對シテ十萬ヤ十二萬ノ此時發言スル者多ク「謹聽々々」ト呼フ者アリ、與ヘルト云フコトハ、寔ニ大海ノ一滴デ、何等選舉權ヲ擴張スル上ニ影響ガナイト言ハレルガ、政府ガ所謂吾々ノ主張スル所ノ智識階級ニ選舉權ヲ與ヘナイト云フ所ノ理由ハ、此二箇ノ理由ニ基イテ居ルノデアリマス、(能ク分ル)ト呼フ者アリ、然ルニ「簡單々々」ト呼フ者アリ、政府ハ甚ダ此間ニ「サウ云フ說明ヲ致シテ居リマス」ケレドモ、此間ニ大ナル誤謬ノアルト云フコトヲ政府ハ發見シナイノデアル、先ヅ數ノ方カラ申シマスレバ、政府ガ吾々ニ與ヘマシタ所ノ此表ニ依テ見マスレバ、今度擴張致シマシタル——今度三箇ニマデ選舉權ヲ擴張致シマシタル市部ノ有權者ノ總數ト云フモノハ、二十八萬九千三百四十五人ト云フコトニナツテ居リマス、約三十萬、是ガ郡部ノ方ニナリマスレバ、二百五十七萬八千二百六十六人ト云フコトニナリマス、約倍ニナルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ此十箇ヲ三箇ニ選舉權ヲ低下シテ結果ト致シマシテ、郡部ノ方ノ增加率ガドウナルカト申シマス、其增加率ガ十割一分、市部ノ方ノ增加率ハ六割ニナツテ居ルノデアリマス、是ガ郡市ノ均衡ヲ保タナイ、不公平デアルト云フコトヲ申シマス、重要ナ點ニナツテ居リマス、デゴザイマス、然ルニ唯今申シマシタ「辯士交代」ト呼フ者アリ、十二萬人ト云フモノ、中ニ、又之ヲ假ニ郡部ニ三分一、市部ニ三分二ニ住テ居ルト致シマス、市部ニ住テ居リマス所ノ學校卒業生ト云フモノハ八萬ニナル、其八萬ノ有權者ト申シマス、是ハ二十萬九千九百人ノ市部ノ有權者ニ較ベマス、約三割六分ト云フ數ガ出ルノデアリマス、諸君、政府ノ當局者ハ、三百萬ニ對シテ十二萬ト云フモノハ、大海ノ一滴デナイカ、サウ云フモノニ選舉權ヲ與フルノハ、與フルモ、與ヘナイモ大シタ影響ハ無イデヤナカト言ハレルノガ、政府ガ此智識階級ニ選舉權ヲ與ヘナイト云フ理窟ノ一ツニナツテ居ルノデアリマス、是ハ大ナル間違デ、智識階級ガ市部ニ多ク住テ居ルト云フコトハ、政府モ異存ガナイ、大體ニ於テ政府ニ於キマシテモ、認メテ居リマス、デゴザイマス、サウ致シマスレバ、市部ノ有權者ハ僅ニ三十萬デアル、三百萬足ラズデアリマス、三十萬足ラズニ對シマシテ十萬ノ有權者ヲ増スト云フコトハ、是非常ナル増加デアル、詰リ正確ニ申シマス、三割六分デアリマス、三分一——約三分一ト云フ有權者ヲ増スノデゴザイマス、カ

ラ、此有權者ヲ市部ニ増加致シマスレバ、初メテ郡市ノ均衡ヲ得ルト云フコトヲ吾々ハ主張スルノデアリマス、其割合ハドウナルカト申シマス、郡部ノ方ノ增加率ハ十割一分、市部ノ方ハ六割デアリマス、之ニ持テ參リマシテ三割六分ト云フモノヲ加ヘマスレバ、即チ郡部ハ十割一分、市部ハ九割六分ト云フコトニナリマシテ、略、其均衡ヲ保ツト云フ狀態ニナルノデアリマス、(些トモ分ラヌ)ト呼フ者アリ、内務大臣ハ寔ニ大ザッパ計算デ、十萬ヤ十五萬、或ハ十八萬位ノ數ヲドウスルカ、斯ウ云フ事ヲ言ハレマシタガ、假ニ之ヲ八萬ト致シマシテモ、八萬ト致シマシテモ、諸君ノ御考慮ヲ願ハナケレバナラム事ガデゴザイマス、(「聞エヌ」)「靜肅」ト呼フ者アリ、今度ノ改正案ニ依ル市部ノ議員ノ定數ガ全部八百八十八人デアリマス、議員定數八百八十八人デアリマシテ、今度ノ市部ノ有權者總數二十八萬九千三百四十五人ト云フモノヲ割テ其平均數ヲ見マスレバ、一人ノ當選點ト云フモノハ二千六百七十九人ト云フコトニナリマス、二千六百七十九人ノ市部ノ選舉權ト云フモノハ、一人ノ代議士ヲ選出スルコトガ出來ル所ノ力ヲ持テ居ル權利デアリマス、(「ヒヤ」)ト呼フ者アリ、此二千六百七十九人ト云フ數ヲ以テマシテ、市部ニ住居シテ居リマス智識階級ノ獨立ノ資格ヲ具ヘテ居ルト見込デ居ル八萬人ヲ割リマスレバ、三十一人ノ代議士ヲ選出シ得ル所ノ力ニナルノデアル、(拍手起ル)唯、十五萬ダ、或ハ十八萬ダ、十二萬ダ、或ハ十萬ダ、ソレ位ノ數ハドウデモ宜イデヤナカト云フコトガ、内務大臣ノ口吻ト見エマス、(「ヒヤ」)ト呼フ者アリ、大ザッパニシテ此法律ヲ定ムベキモノデナイ、(「ヒヤ」)ト呼フ者アリ、唯今申上ゲル通り、八萬ダケ市部ニ住テ居ルト云フ計算ヲ致シマシテモ、此八萬ノ有權者ノ力ヲ以テ三十人ノ代議士ヲ選出スルカガアルノデアリマス、サウ致シマス、私ハ此八萬ノ有權者ニ輕々ニ看過シテ、僅カソレ位ノ數ハドウデモ宜イト云フガ如キコトハ、此選舉權ト云フヤウナ緊要ナル大法律ヲ決定スル場合ニ於テ、餘リニ杜撰、餘リニ輕卒デアルト云フコトヲ免レヌデアラウト思ヒマス、拍手起リ、(「ヒヤ」)ト呼フ者アリ、ソレカラ此場合ニ内務大臣ガ——此間モ說明ニナリマシタガ、凡ソ今度ノ有權者ハ三百萬デアル、三百萬ニ對シテ十萬ソコノ權利ト云フモノハ寔ニ數ニナラヌデヤナカト言ハレルガ、是ハ比較ノ根柢ヲ謬テ居ル、吾々ハ此十萬ト云フ市部ニ住テ居ル人間、之ニ選舉權ヲ與ヘルナラバ、郡市ノ均衡ヲ失フ所ノ——郡市ノ此偏重偏輕ナル不結果ノ均衡ヲ全ウスルコトガ出來ルト云フ主張ヲスルノデアル、然ルニ内務大臣ハ此ニ於テ違ケマシテ、三百萬ノ數ト云フモノヲ土臺ニ置イテ勘定ヲ致シマス、カ、十萬ノ數ト云フモノハ、僅カデアリマス、カ、市部ノ全部

ノ有權者ノ數ハ三十萬足ラズデアリマス、カ、之ニ對シテ十萬ノ數ト云フモノハ看過スベカラザル大數デアルト云フコトハ、諸君ニ於テモ爭フコトノ出來ナイ、一ツノ事實デアラウト思ヒマス、(拍手起ル)又吾々ハ此智識階級ニ選舉權ヲ與ヘル利益ノ一ツト思ヒマス、カ、選舉權ヲバ席清スルト云フ上ニ於テ非常ナル利益ガアルト思フノデアル、御承知ノ通り、此演壇ヲ御述ニナリマス、通り、現在ノ日本ノ選舉權ノ腐敗ト云フモノハ、殆ド極點ニ達シテ居ル、甚ダ御互ニ國家ノ爲メ憲政ノ爲メニ慨歎ニ堪ヘスト思ヒマス、此選舉權ノ腐敗ヲ如何ニシテ矯正スルカト云フコトハ實ニ重大ナル問題デアル、是ハ吾々モ矢張普通選舉ト云フ方式ニ於テ非常ニ有權者ヲ増シテ、之ヲ救済スルノガ一番良イト思ヒマス、ケレドモ、此普通選舉ヲ實行スルニ付テハ、其時ノ社會ノ狀態ト適合シナケレバ、我國ノ社會ノ有様ハ未ダ普通選舉ヲ實行スルニ不適當デアルト認メテ、制限選舉ヲ認メマシタ以上ト云フモノハ、此場合ニ於テハ切メテハ此智識階級ニ選舉權ヲ與ヘマシテ、之ヲシテ日本ノ選舉權ノ腐敗ト云フモノヲ覺醒セシムルト云フ利益ガアル、(「分リマシタ」)「分タラ賛成ナサイ」「簡單々々」ト呼フ者アリ、ソレ故ニ僅ニ三百萬ニ對スル十萬カ十八萬ノ數ハ、内務大臣ガ言ハレマス通り、僅カナ數デアリマス、ケレドモ、是ガ一ノ清涼劑ナル、例ヘハ十人ノ腐敗シタル分子ノ中ニ、一人ノ立派ナ人間ガ居リマスレバ、立派ナル人間ノ行爲ニ恥ヂテ、十人ノ者ガ懺ヲ正シウスルヤウナモノダ、ワイ——シタ連中ガ居リマシテ、其中ニ一人偉イ人ガ居ル、例ヘバ此多數ノ中ニ——先程例ニ出マシタカラ私モ名ヲ引クコトハ憚リマセヌガ、原敬君ノ如キ偉イ人ガ一人居レバ、何百人カ居ル者ノ行ガ原敬君ト同一ノ行動ニ行クノデアル、是ハ偉イ人ガ一人居レバ、百五十人ト二百人ノ人ヲ率キルコトガ出來ル、三百萬人ノ人間デ十萬ノ正シイ人間ガ居リマスレバ、是ガ選舉權ノ腐敗ヲ救済スルニ付テ非常ナル利益ガアル、譬ヘテ申シマスレバ、腐テ居ル水ノ中ニ明礬ヲ投込マヤウナモノ、僅カナ明礬ヲ入レマシテモ、其濁水ガ悉ク奇麗ニナルヤウナモノデゴザイマス、カ、少數ナリト雖モ此清涼劑ナル分子、智識アル分子、德義アル分子ト云フ者、選舉權ヲ分配スルニ就テ、最モ必要ナル手段ノ一ツト考ヘマス、カ、此點カラ考ヘテモ吾々ガ此智識階級ニ選舉權ヲ分配スルコトハ、必要ナ事デアルト思フノデアル、(拍手起ル)選舉權ノ擴張ノ點ニ付キマシテハ、多クハ其他ニ互ニ點ハ齋藤君カラ御話ニナリマシタカラ、省略致シマス、(今度ハ「何ダ」分リマシタ)ト呼フ者アリ、他ニ論點ヲ變ヘマシテ申上ゲマス、即チ選舉區ノ事ニ就テ申上ゲマス、選舉區ノ事ニ就キマシテモ、屢、論セラレテ居

リマスガ、私ハ此點ニ就テ殆ド項目ダケヲ申上ゲル、詰リ私ノ考デハ選舉區ト云フモノガ非常ニ狹クナリマスレバ、選舉區ノ彈力ヲ失フト云フノガ、私が不適當ナルト考ヘテ居ル一點アリマス、此點ハ物ノ見方ニ依リマスルガ、政府トハ全ク反對ナル、政府ハ選舉區ガ小サナレバ、ソレガ固定シテ固クナレ、サウシテソレカラ選出スル代議士ト云フ者ノ基礎ガ固クナル、ソレ故ニ政黨ノ發達ノ上ニモ宜イト、斯ウ云フコトヲ言ハレマシタガ、私ハソレガ寧ろ選舉區ヲ小サク致シマスル所ノ弊害ノ一ツトシテ勘定スルノデアル、私ハ選舉區ト云フモノハ頗ル彈力ニ富シテ居ナレバナラヌ、彈力ニ富シテ居ナカッタラバ、此立憲政治ト云フモノハ發達スルモノデナイト云フコトヲ考ヘルノデアル、殊ニ我國ノ今日ノヤウナ政情ニ於キマシテハ、最モ是ガ必要アリマス、我國ノ政情ハドウ云フ有様デアルカト申シマスレバ、或ハ直接若クハ間接ニ於キマシテ、選舉區ガ狹クナリマスレバ、代議士ト選舉區ノ人民ト云フモノノ間ニ、政見ヲ以テ離合集散スルニ非ズシテ、情實ニ依ッテ此間ガ結合サレヤウナ傾向ガアル、是ハ私が言フマデモナク、諸君ガ能ク御承知ノ通りデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於テハ此選舉區ト云フモノヲ狹クスレバ狹クスル程、其情實ノ關係ト云フモノガ必ズ密接ニナッテ來ルト思フノデアリマス（新シイ說デハアリマセヌナ）呼フ者アリ（ソレデドウ致シマシテモ此選舉區ヲ廣ク致シマシテ、其主義政策ニ依ッテハ、其人ノ當選ガ忽チ危ナクナル、又主義政策ガ洵ニ正シクアデ、國民多數ノ同意ヲ得レバ、其人ノ當選ト云フモノガ確實ニナルト云フヤウニ、屈伸自在、彈力ガアルト云フコトデナカッタラバ、日本ノ憲法政治ハ發達シナカラウト私ハ考ヘル、此點ニ於テ全ク政友會及政府ノ意見ト吾吾ハ反對ノ意見ヲ持ッテ居リマス、又唯今モ武藤君ニ依ッテ昨日ノ三土君ノ演說ノ趣意ヲ訂正サレマシタガ、政府ト云ヒ、政友會ト云ヒ、此小選舉區ト云フモノガ少數代表ニ不適當デアルト云フコトハ斷言シナイ、唯三土君ノミハ昨日ノ委員會ニ於テ斷言サレマシタガ、政府ノ從來ノ主張ニ依リマシテハ、小選舉區ト云フモノガ少數代表者ヲ選出スルノニ不適當デアルト云フコトハ斷言シ切ラナイノデアル、而シテ適當デアルカト云フモノ、適當デアルト云フコトヲ斷言ガ出來ナイ、ドウチカ分ラヌト云フヤウナ曖昧ナコトヲ言シテ居リマス、私ハ此少數代表、或ハ他ノ言葉デ申シマスルト、勢力相應ナル代表者ヲ此議場ニ出スト云フコトガ、立憲政治ノ發達ノ上ニ於テ必要ナリヤ否ヤト云フコトヲ考ヘテ見マスルノニ、無論私ハ必要デアルト思フノデアル、世界ノ現今ノ學者政治家ガ、勢力相當ノ代表ヲ以テ此各種ノ勢力ヲ議場ニ現ハサウ、如何ニスレバ現ハレルカト云フコトハ、議論ノ一ツトシテ研究致シテ居リマス、言葉ヲ換ヘテ申シマス

レバ、少數代表ヲ議場ニ送ルニハ、如何ニシテ送ルカト云フコトヲ研究致シテ居ルノデゴザイマス、然ルニ内務大臣ハ此點ニ付テ少數代表ト云フモノヲ出シ得ルト云フノハ、小選舉區ト大選舉區ト孰レガ善イカ惡イカ不明デアル、ハッキリ分ラヌト云フコトヲ、此壇上ニ於テモ内務大臣ガ言ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ私ハ斯ウ云フ選舉法ノ如キ法律ヲ議スベキ場合ニ、此重要ナル論ヲ逸シテ、不明ニ置イテ、曖昧ニ付シテ、其儘ニ議決スルト云フコトハ、甚ダ私ハ宜クナイ遣方デアルト考ヘル、吾ハ明ニ少數代表ヲ選出スルノニ不便デアルト云フコトヲ確信致シテ居リマス、唯、其論ヨリモ證據ヲ諸君ノ御覽ニ供シタイト思フ（モウ分リマシタ）「簡單」謹聽（ト呼フ者アリ）少々咽喉ヲ痛メテ御聽苦シウゴザイマセウケレドモ、暫ク御聽キヲ願ハヌト、益々時間ガ掛カルダケデゴザイマス、第一回カラ第六回マデガ、御承知ノ通りニ小選舉區デ實行サレタ我國ニ於ケル選舉ノ度數デアリマス、第七回カラ第十三回マデガ、大選舉區選舉ヲ致シマシタ實例デゴザイマス、此選舉ノ結果ヲ見マスルノニ、落選者ガ取得致シマシタ得票ガ、當選者ガ取りマシタ得票ノドウ云フ割合ニナッテ居ルカト申シマスレバ、第一回ガ御承知ノ通りニ九割一分、第二回ガ六割六分三厘、第三回ガ五割三分四厘五毛、第四回ガ五割五厘四毛四厘七分五厘六毛、第六回ガ二割五分一厘七毛、斯ウナッテ居リマス、詰リ落選者ノ取りマシタ廢票ノ割合ハ有效ニナッテ票ト殆ド六分通りニナッテ居リマス、之ヲ正確ナル計算ヲ致シマシテ、一回カラ六回マデノ落選者ノ取りマシタ票ノ歩合ヲ平均致シテ見マスレバ、五割五分五厘八毛ト云フコトニナッテ居リマス、是ハ小選舉區ニ於テ斯ノ如ク多數ノ無効ノ票ガ現ハレタト云フコトノ一ツノ證據デアリマス、平均致シマシタル第十三回ヲ見マスルニ、一々舉ゲマセマス、平均致シマシタル第二回六分五厘三毛トナル、二割六分五厘三毛トナル、大選舉區ノ場合ハ平均致シマシテ五割五分五厘八毛トナル、大選舉區ノ場合ニナリマス、全ク廢票ノ割合、廢票ガ小選舉區ノ場合ハ平均致シマシテ五割五分五厘八毛トナル、大選舉區ノ場合ニナリマス、小選舉區ト云フモノガ少數代表ヲ選出スルニ不便デアル、少數代表ヲ選出スルニ不便デアルト云フノハ、單リ理論及常識ヲ以テ判斷シ得ルノミナラヌ、實際ノ證據ニ基イテ否定スルコトノ出來ナイ事實デアリマス（選舉ノ狀態ガ變テ居ル）ト呼フ者アリ）左様——是ガ第一回カラ第六回マデアル、内務大臣モサウ言ヒマス、段々ソレカラ發達シタト言ヒマスカラ、私ハ更ニ最近ノ例ヲ此場合ニ申上ゲテ見タイ（「簡單ニ」）一向聽取レマセヌ（「簡單々々」ト呼フ者アリ）ソレハ昨年ノ十二月英國ニ行ハレマシタ例デアリマス、昨年ノ十二月英國ニ執行致

シマシタ（何通モ聽キマシタ）ト呼フ者アリ）致シマシタル總選舉ノ結果ヲ私ノ議論ヲ確メル爲ニ申上ゲマス、總投票數ガ九百六十八萬四千四百票デアリマス、其中ノ聯立派、即チ政府黨ガ取りマシタ總數ガ五百九萬五千五百二十八票デアリマス、反對黨ガ取りマシタ總數ガ四百五十八萬九千四百八十六票デアリマス、サウ致シテ政府黨ガ五百九萬四千四百五十萬ノ得票ニ於キマシテ當選致シマシタル代議士ノ數ガ四百四十七人デアアル、デゴザイマスルカラ之ヲ一人平均ニ割リマス、約一萬六百人——約一萬六百人ニ付テ一人ノ代議士ヲ出シテ居リマス、ソレガ政府黨ガ取ッテ即チ當選ノ數ト得票ヲ割當テタ結果デアリマス、之ニ對シマシテ之ヲ反對黨ガ取りマシタ、四百五十萬ト云フ票ニ割當テマスレバ、四百三十人ト云フモノガ、當選シナレバナラヌ、所ガ實際ハドウナッテ居ルカト云ヒマス、二百三十九人ノ當選シカナイノデアリマス、是ハ何故デアアルカト云フコトハ、諸君ニ向テ説明スル必要ガ無い位デアアル、英國ハ御承知ノ通りニ極ク小サナル大選舉區ヲ實行シテ居ル所ノ國デアリマスカラ、詰リ少數代表ノ票ト云フモノガ非常ニ廢テ居ル、四百三十人ヲ當選シ得ベキ投票ヲ持チナガラ、僅ニ二百二十九人ト云フモノヲ當選セシマシテ、二百一人失ッテ居ルト云フモノヲ云フノガ、此少數代表ヲ舉ゲルノニ小選舉區ガ非常ニ不便デアル不都合デアアルト云フ的確ナル證據デアリマス（拍手スル者アリ）是ハ何誰ト雖モ此少數代表者ヲ出スノニハ不便デアルト云フコトハ爭フコトガ出來ナカラウト思ヒマス、唯、此爭フベカラザル事實ガアリマス爲メニ、内務大臣ハ此事實ヲ正直ニ話スレバ、少數代表ニ不便デアルト云フコトガ顯著ニナルガ爲メニ、此事實ヲ蔽ハンガ爲メニ、内務大臣ハ少數代表ヲ出スノニハ、大小選舉區孰レガドウナルカ、ソコノ所ハ不明デアアルト云フコトヲ言ハレル、明敏ナル床次君ニシテ不明ナル筈ハナイ、ハッキリ分ッテ居ル、日本ノ例ニ依リマシテモ、英國ノ例ニ依リマシテモ明瞭ニ分ッテ居ル事實デアリマス、其結論ガ自然ニ不利益デアアル爲メニ、其點ガ不明デアアルト云フテ、其言葉ヲ濁サレタル云フ態度ハ、甚ダ此選舉法ヲ決スル場合ニ於キマシテ、内務大臣ノ態度トシテ不眞面デアアルト云フコトヲ甚ダ遺憾ニ考ヘマス、ソレカラ小選舉區ニナリマスレバ候補者ガ非常ニ増加致シマス、候補者ノ數ガ非常ニ増加スルコトハ、是ハモウ理窟ジヤナクテモ、選舉區ガ狹イ郡長デモ二三年シテ居テ、其有力者ト懇意ニナレバ、直グニ候補者トナレト云フ便利ガアリマスガ爲メニ、候補者ガ非常ニ簇出スルト云フ弊ガアリマス、是ハ爭フコトノ出來ナイ事實デアアル、ソレカラソレ故ニ候補者ノ數ガ増加スル結果ト致シマシテ、競争ガ非常ニ激烈ニナル、サウシテ競争ヲ致シマスル性質ガ、非常ニ險惡ニナッテ參リマス、是ハ日本ノ現在ノ此選舉

法ノ改マル前ノ狀態ヲ御承知ニナッテ居リマス方ハ、皆サン御承知ノ筈デアル、第一第二第三第四回ト云フヤウナ選舉ノ場合ニ於キマシテ、日本ノ各地ニ行ハレマシタ所ノ殺人ノ事實、殺人放火騒ぎ合非常ナ亂暴ナ狀態ニ陥ッタト云フコトハ諸君御承知ノ通りデアリマセヌカ、選舉區ガ狹クナリマシテ、非常ニ競争ガ激シクナルト共ニ、競争ヲ致シマス、性質ガ非常ニ險惡ニナッテ來ル、是ハ又言フマデモナク數ガ迫テ狹イ間ニ戰ヒマシレバ、非常ニ激シクナルト云フコトハ分リ切テ居ル、此弊ニ堪ヘズシテ大選舉區ニ改メテノデハナイカ、此險惡ナル、此亂暴ナル競争ガ餘リニ激シクテ、ソレガ爲ニ殆ド親族友人故舊ノ間、或ハ地方ノ自治體ナドヲ破壞スルト云フヤウナ非常ノ場合ニナッテ爲メニ、此大選舉ヲ設ケタト云フ一ツノ基礎ニナッテ居ルデアリマセヌカ、小選舉區ヲ一ト呼フ者アリ、デゴザイマスカラ、小選舉區ヲ一ト呼フ者アリ、言ハレノハ唯、政黨ニ屬スル所ノ代議士ガ當選ガ仕易イ、唯、是ダケガ政府ナリ政友會ノ諸君ナリガ、極力主張セラル、所ノ理由ニナッテ居リマスガ、是ハ或ハサウカモ知レヌ、大キナ政黨ガ豫勢力ヲ張テ居ル政黨ハ、選舉區ヲ狹ク致シマシテ、他人ノ侵入ヲ防グト云フ爲メニ、其候補者ガ當選仕易イ便利ガアルト云フコトナラバサウデアルケレドモ、サウデアルカモ知レマセヌガ、ソレガ決シテ國家ノ爲メニハ私ハ利益ニナラヌト思フ、即チ原案者ハ無競争ガ非常ニ殖エ、無競争ガ殖エルト云フノガ、國家ノ利益デアルト云フヤウナ口吻ヲ以テ言ハレマシタレドモ、無競争ノ場所ガ殖エルト云フノハ、選舉區ガ狹クテ、他人ノ入リ込ムト云フノヲ杜絶シテ結果デアリマス、決シテ是ガ國家ノ爲メナリ憲政發達ノ爲メナリトシテ利益デアリマセヌ、斯様ニ考ヘテ見マシレバ私ハ、小選舉區ノ利益ト云フモノハ殆ド無イ、又況ヤ大人物ト小人人物ト云フ論ガ大分出マスレガ、是ハ言フマデモナク廣イ間ニ候補者ヲ求メ、候補者ガ廣イ範圍ニ於テ競争スル爲メニ、色メノ人ガ出テ來ルコトハ論ズルマデモアリマセヌ、小選舉區時代ト大選舉區時代ト比較致シマシレバ、自ら此代議士ト云フモノノ心持代議士ト云フモノノ氣風、代議士ト云フモノノ識見、代議士ト云フモノノ大變ナ差ガアルト云フコトハ、是ハ申上ゲルマデモナク、諸君ノ實驗セラレタ所デアラウト考ヘマス、唯、此場合ニ、松田君ハ小選舉區ト雖モ必ズシモ偉イ人ヲ出サナイ譯ハナイ、偉イ人ヲ出シタデア、出シタデアアルト云フ證據ノ爲メニ原敬君、床次君及中橋君ヲ例ニ引カレテ小選舉區ノ時代カラ、斯ヤウナ偉イ人カ出テ居ルノデアアルカラ小選舉區ト雖モ決シテ偉イ者ヲ出サヌ理窟ハ無イジヤナイカト松田君ハ言ハレマシタ、私ハ此例ニ對シマシテハ實ニ驚イタノデア、私ハ一體斯ウ云フ議論ヲ此場合ニ、眼ノ前

ニ居ル人ヲ擔キ出シテ證據ニ供スルト云フコトハ餘リ、穩當ノ遣方デナイト思フ、原君、中橋君及床次君ガ偉イカ偉クナイカ知ラナイ、偉イカ偉クナイカ、或ハ偉イカモ知レヌ、偉イカモ知レヌガ眼ノ前ニ居ル所ノ生キタ所ノ人間ヲ持ッテ來テ是ガ小選舉區制ノ良イ所デア、現ニ斯ウ云フ人ガ出テ居ルト云フコトヲ反對黨ニ差向ケテ言ハレルト云フコトハ、私ハ一體卑怯ナ遣方デアルト思ヒマス、私ヲシテ若シ忌憚ナク言シムレバ、忌憚ナク私ノ意見ヲ述ベルコトガ私ノ體面ヲ害セヌトスルナラバ、私ハ申シテ見タイ、併ナガラ苟モ私ハ紳士デア、紳士デアアルカラ、決シテ紳士ノ人格上ノ非難或ハ其人ノ人物上ノ事ヲ露骨ニ此公席ニ於テ論評スルコトハ、私ハ洵ニ慎マナケレバナラヌ事デアルト思フ、且又私ノ好マザル所デアリマス、ソレハ人間ノ禮トシテ當前デア、反對ノ出來ナイ例ヲ持ッテ來テ、斯ヤウナ譯ジヤナイカト云フコトハ、自分ノ證據ヲ確ムル上ニ於テ、松田君ハ甚ダ卑怯ナ遣方デア、從來私ノ知ッテ居ル松田君トシテ、如何ニシテ斯ヤウナ窮シタ事ヲ言ヒ出タカト考ヘテ見ル、蓋シ松田君ノ冷靜ナル理窟ノ上ニ圖フ根據ガナイカラ、斯ウ云フ窮策ヲヤッテノデアラウト私ハ考ヘル、如何ニモ私ハサウ思フノデア、是ハ私許リデア、私ハ考ヘル、如何ニモ私ハサウ思フノデア、甚ダ此眼ノ前ニ居ル人ヲ持ッテ來テ、此人ガ偉イカ偉クナイカト云フコトヲ討論ノ材料ニ供スルト云フコトハ怪シカラヌ、反對ノ出來ナイ事ヲ自分ノ證據ニ供スルト云フ程卑怯ノ事ハナインデアリマス、反對スルノモ宜カラウガ、私ハ諸君ノ德義心ニ訴ヘテ甚ダ不似合ナ反對ダト思フ、眼ノ前ノ人ノ人物ヲ非難スルコトハ、諸君ハ不德義ト思ハヌカ知ラヌガ、私ハ斯ノ如キ事ハ議論ノ材料トスベキ事デナイト考ヘル、ソレカラ松田君ハ唯今ノ改正案ヲ實行致シマシレバ、松田君ノ御計算デハ政友會ガ百八十何名憲政會ハ百七十何名當選スル、國民黨ハ三十何名當選スル、斯ウ云フコトヲ言ハレマシタ、是ハ御互ノ見込デアリマスカラ論駁スル必要ガアリマセヌガ、吾々ノ計算スル所ニ依レバ、是ハ偶然デアリマセヌガ、非常ニ政友會ニ都合好ク編成サレタ之政友會ニ都合好イヤウニ區制ト云フモノガ編成サレテ居リマスカラ、吾々ノ計算シタ所ニ依リマシレバ、之儘ニ實行致シマシレバ、政友會ノ當選スル者ハ二百三十名、此二百三十名ト云フ算盤ガ吾々ニ出マス、恐ラク松田君ト雖モ百八十名ハ出ルダラウト謙遜サレタ數ヲ御出シナッテ居リマスガ、是ハ恐ラク極ク間違イノナイ、堅イ堅イ、堅イ上ニモ堅イ證上ゲタ數デアリマセヌガ、何トナク選舉法ヲ實施シタ結果、政友會ガ多數出ルノヲ憚ル所以デナイカ、何故ニ斯ノ如キ事ヲ言ハレマスカ、何モソナンニ遠慮スルニハ及バヌ、三百人出サウト四百人出サウト、政友

會ハ大ナル勢力ヲ有スルノデア、何モ憚ルコトハナイ、ソレデ吾々ガ極ク公平ト云フ所ヲ見テモ、二百三十人ハ出ルダラウト思フ、政友會ハタタ百八十人、憲政會ハ百七十人、國民黨ハ三十人シカ出ナイ、政友會ハ改正案ニ對シテ利益ヲ得マセヌト云フコトヲ辯解セラレタラト云フノハ、抑々心中ニ疚シイ事ガアルカラ斯ウ云フコトヲ言フノデアリマセヌガ(拍手起ル)當前ニ一堂堂タル議會デアラナラバ、政友會ハ勢力ガ多イカラ三百名出ル、三百五十名出ルト云フデモ、何モ不都合ハナイト思フ、如何ニモ政友會ガ餘計出マセヌト云フ爲メニ辯解サル、ノハ、此案ハ政友會ノ利益ノ爲メ解決サレテ居ルト云フコトヲ頻リニ打消サントスル辯解デア、甚ダ女メシキ次第デアリマス、ソレカラ此大選舉區ニナルト、非常ニ違反者ガ殖エルト云フコトハ、西村君ガ前回ニ辯駁ニナリマシタノデ、私ハソレデ西村君ノ言ヲ拜借シテ置キマス、唯、此場合松田君ハ逸サレタ事實ガアル、松田君トモアラウガ、何故此事ヲ忘レタカ、此小選舉區時代ニハ、非常ニ酒ヲ飲ミ、懇親會ヲ遣ッタリ、御馳走ヲシタ事ハ檢舉シナカッタ、ソレ故ニ選舉競爭ニ行キマス、一村集ッテ大ニ酒ヲ飲ミ、其處デ演説ヲシテ、互ニ演説シ合ッテ、意志投合シテ選舉シタコトハ、古イ諸君ハ皆ナ御承知ノコトデア、然ルニ選舉法改正後ハドウデア、有權者ガ來タラ「ラムネ」一本飲マシテモ是ガ選舉違反ナッテ拘留サレ、茶菓子ヲ出シタト云ハ拘留サレ、斯ウ云フ風ナ苛察ナ苛酷ハ檢舉ノ仕方、檢舉ノ方針ト云フモノガアリマスガ、前ニ酒ヲ飲シタリ飯ヲ食ッタリシテモ檢舉シナカッタ時代ト比較シマシテ、ドツガ犯罪ガ多イカ、即チ大選舉區制ガ違反者ガ多イ、小選舉區制ガ少ナイト云フコトハ、物ノ比較ニナラヌモノヲ比較スルノデアリマス、根柢ニ於テ大ナル誤リガアリマス、私ハ衷心尊敬スル松田君ガ、斯ヤウナ事ヲ御存知ナイ筈ハナイト思フ、知ッテ居ルカラ斯ウ云フ比較ノ出來ナイモノヲ比較シテ、此議場ヲ瞞過シヤウト云フニ至デハ、確固タル證據ガナイカラデアリマス(拍手起ル)之ニ對シテ政府ノ態度及ビ政友會ノ態度ニ付テ一説明ニ付キマシテ私ハマダ了解シナイ點ガ一ツアリマス、而シテソレハ重要ナ點デア、アルカラ申上ゲマス、此間モ私が委員會デ言デ置キマシタガ、更ニ此場合言フ必要ガアルト云フノハ、此案ヲ議スルニ眞面目デナイト思フ、例ヘバ大選舉區ハ選舉ニ費用ガ非常ニ多イ、選舉範圍ガ擴クナレバ選舉費用ガ餘計ニ掛カル、是ガ良クナイト云フコトガ大選舉ノ弊害ト政府ガ述ベラレテ居リマス、或ハ大選舉區ト云フモノハ全部ニ涉ッテ競争シマスカ、或ハ郵便代ニ致シマシテモ、車代ニ致シマシテモ、多少ノ費用ガ殖エルト云フコトハ間違ナイ、雜費等ニ於テモ間違アリマスマイ、併ナガラ内務大臣自

身が言ハレル如ク、大選舉區トハ申シナガラ、其中ニ各私設ノ小選舉區ヲ設ケテアル、各政黨共ニ私設ノ小選舉區ヲ設ケテ居ルカラ、結果ニ於テ小選舉區デナイカト云フコトヲ云ハレル、其通りデアリマス、大選舉區デアリマスモ、各政黨共ニ私設ノ小選舉區ヲ設ケル、各根據地ヲ置クト云フコトニ於テ、或ル範圍ヲ限リテ競争スルノ今日實際ノ有様デアリマス、ソレガ自然ノ分配ニナリマスカラ、少シモ各政黨共無理ガ行カナイ、如何ニモ其通りデアリマス、ソレデアリマスカラ私ガ選舉費用ハドナラシメモ同一デアル、選舉區ノ大小ニ依ラナイト云フハ、此理由アルガ爲メデアリマス、大選舉區制ニ致シマシテモ、實際ニ於テ私設ノ小選舉區ヲ設ケテ居ル、小選舉區ニ致シマシテモ同様デアリマスカラ、選舉費用ト云フモノニ、大シタ違ヒハナイト主張スルノハ此故デアリマセウ、然ルニ内務大臣ハ一方ニ於キマシテハ大選舉區ト云ヒナガラ、實際ハ現在ノ有様ニ於テハ、私設ノ小選舉區ヲ設ケテ居ルデナイカト云フコトヲ主張スルカト思ヒマスレバ、(高聲ニ願ヒマス)「分リマセヌ」「分リマス又「簡單々々」ト呼フ者アリ)主張スルカト思ヒマスレバ、又其費用ノ點ニ付テノミ、大選舉區ハ範圍ガ非常ニ廣イカラ金ガ餘計掛ルト言ハレマス如何ニモ大選舉區制ガ内務大臣ガ此國家ノ重要ナ法律ヲ決定スベキ説明ト致シマシテハ、餘リニ誤魔化シデアリマセヌカ、受取リ忍ビデアリマセヌカ、他ノ一般ノ條項ヲ説明スル場合ニハ、選舉區ノ全體ニ互テ選舉スル如キ口吻ヲ用ヒ、他ノ一面ヲ説明スル場合ニ於キマシテハ、大選舉區ノ中ニ小選挙區ヲ設ケテ、狭イ範圍ニ於テ競争スルト云フ事實ヲ認メナガラ、右ニ於テハ狹イコトヲ主張シ、左ニ於テハ大ナリト主張スルニ至リマシテハ、此案ガ通過致シマシタナラバ、此案ノ精神、此案ノ根據ト云フモノハドウナラウガ構ハヌト云フヤウナ態度ヲ政府ガ執ッテ居リマスノハ、甚ダ此眞面目ヲ缺イテ居ルト云フ點ニ於テ遺憾ニ存ジマス(拍手起ル)「モウ止シタラドウダ」ヤリ給ヘ」又「簡單々々」ト呼フ者アリ)ソレカラ同志打ガ多イト言ハレル「同志打ガ多イト言ハレル、或ハ多少アルカ知ラヌ又「簡單々々」ト呼フ者アリ)私ハ此點ニ就テ内務大臣ニ對シテ大選舉區デドレ位同志打ガアッテ、小選舉區デドレ位同志打ガアッテ、事實ニ付テ伺ハナケレバナラヌト云フコトヲ質問致シマシタ所ガ、内務大臣ハ調ベタコトガナイト言フ調ベタコトガナイト言フノガ内務大臣ノ責任ノ答辯デアリマスヨ、サウ致シマス大選舉區ハ同志打ガ多イト云フ、大選舉區ノ惡イ一非ナル一點トシテ舉ゲタル事實ハ、何等根據アル事實ガナイ、床次君ノ一ノ想像カラ割出シテ居ル論點デアリマス(ノウ)「ト呼フ者アリ)諸君ガ如何ニ「ノウ」ト言ハウガ、諸君ガ如何ニ反對サレヤウガ、主張サレル内務大臣ガ

其點ヲ調査シタコトハナイト云フコトヲ明言シテ居ルノデス、小選舉區ガ同志打ガ多イカ、大選舉區ガ同志打ガ多イカト云フコトハ、ハハ調査シナケレバ不明ノ事實デアリマス、然ルニ内務大臣ハ之ヲ何等調ベタコトモナク、何等根據ナク、唯、同志打ガ多イト云フ一ノ想像ヲ畫イテ、内務大臣ニ言ハセマスルト、之ヲ遠觀シテ、サウシテ之ヲ此法案維持ノ一ノ理由ニ供スルニ至ッテハ、如何ニモ亂暴デアリマセヌカ(「簡單」ト呼フ者アリ)甚ダ風聲ヲ御聽苦シイダラウト云フコトハ承知シテ居リマス「簡單」ト呼フ者アリ)デアリマスガ、モウ止メマスガ、止メマスガ、甚ダ生憎ト此大問題ヲ議スルニ當ッテ、風聲ヲ御聽苦シカラウト思ヒマスガ、御騷ギニナルト尙ホ聞エナイ、ソレカラ先程松田君ハ大選舉區デアリナガラ、少數黨ガ、即チ少數ノ得票ヲ有チナガラ、多數ノ代議士ヲ當選シタコトヲ事實ニ付キマシテ、日本ニ數年間行ハレタノヲ此所ニ朗讀ニナリマシタガ、ソレハサウ云フ事ガアリマシタラウ、サウ云フ事ガアッテト云フコトヲ私ハ認メマス、認メマスガ、ソレニ反對ニ小選舉區ト云フモノハ、又多數ノ得票ヲ有チナガラ、多數ノ勢力ヲ有チナガラ、代議士ヲ餘計出シ損ナタト云フ憂ガアリマス、一ツヤニツノ例ヲ持ッテ參リマシタナラバ、雙方共ニ絶對ノモノデハナイノデアリマス、大選舉區ガテ必ズシモ勢力ノ割合ニ對シテ當選者ヲ出スト云フノ一面向達ナイトハ言ヘナイ、小選舉區デアアルガ爲メニ少數代表者ガ絶對ニ出セナイト云フコトハ言ヘマセヌ、是ハ何方ニ致シマシテモ、絶對ノモノデナイ、ケレドモ此大多數ノ比較論究致シマシテモ、私ノ申シマス結果ヲ生ズル、デアリマスカラ私ハ何處迄モ此小選舉區ト云フモノハ實ニ今日弊害ノ多イ、殊ニ我國ニ之ヲ實行シテ非常ナ弊害ヲ得テ居ルノデアリマスカラ、我國ノ此政治界ノ弊害ヲ救済シ得テ居ルノデアリマスカラ、此際ニ更ニ此選舉區ヲ元ニ戻スト云フハ我國ノ憲政ニ非常ナ逆轉ヲセシムルト云フ結果ヲ惹起スト云フコトヲ斷言致シマシテ、此政府案ニ反對ヲ致シマス

〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 中西六三郎君

〔中西六三郎君登壇〕

〔拍手起ル〕

○中西六三郎君 懸案ノ各議案ニ就キマシテ、先程ヨリ既ニ長時間論議計議ヲ盡サレテ居リマス、靜ニ諸君ノ御論議ヲ拜聴致シテ居リマスノニ、要スルニ主題トナッテ居リマスル各論點ハ、純理ヲ以テ解決スルコトノ出來ル論點デハゴザイマセヌ、要スルニ實際ノ經驗ト、當面ノ實狀ニ於テ判斷サレベキ問題デゴザイマスガ故ニ、私ガ今此所ニ又多

少自分ノ心付ク事柄ヲ重テ論ジマシテモ、最早此議場ノ御判斷ノ上ニ何物ヲモ加フルナシト認メマスガ故ニ丁度此機會ヲ沙時ト致シマシテ、私ハ委員長ノ報告ニナリマシタル政府案ノ修正ニ賛成ヲ表スルニ付テ、一言ヲ費シテ置キタイト思フ、是ハ政府案ニ反對セラル、諸君ノ爲メニハ殆下無用ノ業ニ感ゼラレカ知レマセヌガ、我院ニ於ケル當然ノ義務デゴザイマスカラ、極ク壓棒シテ簡單ニ申述ベマスカラ、暫ク御忍ビテ願ヒマス(「謹聽」ト呼フ者アリ)修正ハ政府案ノ中ハ箇條ニ涉ッテ居リマスルガ、委員長ガ報告サレマシタル通り、此中意義ノアル修正ハ僅ニ三箇條デアリマス、即チ第十三條 第五十五條 第八十九條、此三箇條ニ止リマシテ、其以外ハ全ク法文ノ整理、自然ノ修正ニ過ギナイノデアリマス、此三箇條ノ中ニ就テモ、十三條即チ法人ノ發起人ヲ原案カラ削ルト云フコト、五十五條即チ開票ノ各郡市別ニ於テ行フト云フコトノ如キハ、各派共ニ一致サレテ居ル點デゴザイマシテ、何等賛成ノ趣旨ヲ辯ズル必要ガ無い、實ニ明白ナル事デアアル、八十九條ニ就テモ、大體ニハ左シタル議論ノ無ノコトデゴザイマスルガ、是ハ本案審查ノ上ニ於テ吾々ガ一應辯明ヲシテ置ク必要ガアルト感ズルノレハ此修正ノ如クニ致シマスルト云フト、八十九條ハ内容ノ異ナル別箇ノ刑罰ガ三ツ列ブコトニナルノデス、即チ第一項ニハ投票漏洩ノ罪、第二項ニハ此度追加サレテ居ル即チ修正ニ係ル所ノ選舉妨害ニ關スル罪、第三項ニハ投票表示強要ノ罪、一箇條ニ斯ノ如ク罪ノ内容性質ヲ異ニスル所ノ形罰ガ三ツ列記サレルコトニナリマシテ、此種類ノ事ハ唯今ノ刑罰法規ノ制定ノ例ニ依リマスルト、甚ダ異例デアアル、例ヘバハ八十九條ノ一、二、三トデモ致シマスレバ、他ノ法文ト權衡ガ取レルカト云フコトニ心付イタノデアアル、併ナガラ更ニ此法文全體ヲ見マスルト云フト、現行ノ法律ノ中ニ改正スベキ箇條ハ改正シ、削除シタノハ削除シ放シ、其箇條ノ整理モシナイト云フ風ナコトガ、近來行ハレル一種ノ改正ノ仕方デアアル、大體ガ左様ナ改正ノ仕方デゴザイマスルカラ、他ノ刑罰法規ノ文例トハ稍、趣異ニスル嫌ハアルガ、故ラニ其體裁ヲ直スマデノコトハナイトシテ、此列記ノ修正ニ同意其職權ヲ濫用シタアル此職權濫用ト云フコトヲ削ルト云フ、是ハ勿論委員會ニ於テモ何等異議ノ無い點デゴザイマシタガ、政府案ノ如ク致シマスルト云フト、職權ノ濫用ト云フコトト、内容表示ノ強要ト云フコトノ、此二ツノ要素ヲ具ヘテ初メテ罪ガ成ルト云フコトニナルノデゴザイマスルガ、職權ノ濫用ト内容ノ表示ノ強要、此二ツノ事ハ殆ド多ク場合ニハ原因ト爲リ結果トナリ、互ニ因果ノ關係ノアル事柄デゴザイマスルガ故ニ、之ヲ法文ノ上ニ別箇ノ獨

立シタル二箇ノ構成要素ト致シマスルコト云フコトニナルト、却テ實際運用ノ上ニ於テ幾多ノ疑義ガ生ジマス、寧ろ是ハ此修正ノ如クニ職權濫用ヲ削リテ、單一ノ表示ノ強要ヲ以テ罪ヲ構成スル要素トシテ何等差支ナシト認メルノデアリマス、委員會ニ於テハ一步ヲ進メテ、此内容ノ表示ト云フコトニ於テ罪ノ成立スルコトニシテ方ガ然ルベシト云フ意見モゴザリマス、左様ニ單純ナル行爲ヲ罰スルコトニ致シマスレバ、全ク公正ナル見地ニ居ル吏員ガ、適ニ不用意ノ間ニ訊ネテ致シマス其事情ガ、直ニ罪ヲ成スト云フコトハ、餘リニ官吏公吏ヲ危險ナル位置ニ置ク嫌ガゴザリマスルカラ、矢張此修正ノ如ク致スガ最モ妥當デアルト信ジタ次第デア、此案ヲ審查致シマスル上ニ於テ、以上申上ダケ外ニモ、各箇條ニ就テ十分ナル注意ヲ怠ラナカタクデアリマス、各法文ノ間ニハマダ此外ニ字句ノ難解ノモノ、或ハ意義ノ不明ノモノト認メラレモ、或ハ法文例トシテハ多少不體裁ノ嫌ガアリト感ズルモノ、無シトシナカタクデアリマス、例ヘバ七十四條ノ如キ、又ハ八條ノ二號三號ノ如キ、若クハ五十五條ノ但書ノ如キ、或ハ十一條ノ四號ノ中ニ終リタル文字如キ、是等ハ若シ吾々ノ最モ満足スル法文ニ爲サント欲スレバ、多少ノ修正ヲ爲セバ考ヘタデアリマス、併ナカラ五十條或ハ十一條ノ如キハ、現行ノ他ノ法律ニ同ジ文例ガ在リマス、又七十四條ノ如キハ、之ヲ解シ易キ文章ニ改ムルガ爲メニハ、少カラザル修正ヲ加ヘナクレバナラヌデア、ゴザイマス、旁、是等ハ政府ノ説明ヲ聽イテ、然ル上ニ此法文ニ臨メバ、強チ解シ難キモノデナイト認メマシタカラ、必ズ修正スルノ必要アリトモ認メヌ、總テ原案ノ儘ニ贊成スルコトニ致シタ次第デアリマス、法文ノ修正ニ就テハ、概要斯ノ如キ次第デアリマス、更ニ別表ニ於テ津田毅一君ノ提議ニ依リ山梨縣ノ第二區ノ修正、之ニ就テ贊成ヲ致シマシタコトヲ矢張責任上一言致スノデアリマス、併シ此事ハ先刻來盛ニ討論ヲサレマシテ、私ガ今改メテ論難ヲスル必要ガ無、唯、私ガ贊成ヲ致シマシタコト云フ其自信ヲ極ク概括シテ申述ベテ、修正贊成ノ理由ヲ明カニシテ置キタイト思フ、別表ヲ如何ニシテ當局者ガ拵ヘタカト云フコトニ就テハ、委員會ニ於テモ、此本議場ニ於テモ、内務大臣ガ極メテ責任アル言明ヲサレテ居リマス、即チ或ル種ノ原則ヲ豫メ示シテ置イテ、其原則ニ基キテ關係アル者ガ之ニ口ヲ入レルト云フアル、慈ヒニ色ニ實地ニ關係アル者ガ之ニ口ヲ入レルト云フト却テ多クノ論議ヲ惹キ起シテ、公平ヲ破ル虞ガアルカラ、原則ヲ與ヘテ關係ニ机上デラシテ、公平ヲ破ル虞ガアルカラ、大臣ガ言明サレテ居ル、而シテ此大臣ノ言明サレタ所ニ向テハ、委員會ニ於テ吾々ノ認メタル所デ、總テノ委員ニ於テ其

大臣ノ誠意ヲ諒トサレテ居ラタト信ズルノデアリマス、(ノウ)ト呼フ者アリ、委員會ノ速記録ヲ御覽ニナレバ分リマス、現ニ委員會ニ於テ反對黨諸君ノ發言ノ中ニモ、大臣ノ誠意ヲ直チニ非難スル御言葉ハ全ク吾々ハ聽カナカタクデア、假令大臣ハ左様ナ方法デ關係ニ命ゼラレタニシテモ、其出來タモノガ結果ニ於テ不公平デアレバト云フ事情ノ詮議ハ色ニゴザイマシタ、併ナガラ吾々ハ諸君ト共ニ此大臣ノ言明ヲ信ジマシタ以後、今迄ノ經過カラ考ヘマス、今日小選舉區ヲ採用シタ以上、別表ヲ作ルニハ此大臣ノ執ラレタル手段ガ最モ妥當デア、若シ今日ニ於テ實地ノ關係ニ密カナル人ノ各般ノ情勢ヲ聽クト云フコトニナレバ、此實地ノ關係ト云フコトハ、同時ニ利害ノ矛盾ヲ意味シテ居ルノデア、容易ニ纏ルモノデハナイ、故ニ斯様ナ方針デ大臣ガ命ジテ作ラシマシタ結果トシテ、此別表ニ對シテハ反對黨諸君ガ色ニ非難サレタ、常ニ反對黨諸君ノ不満足バカリデナイ、吾々政友會同志ノ中ニ於テモ、澤山此別表ヲ見テ一驚ヲ喫シタ人ガアル、是デハ困難デア、或ハ是デハ不條理デア、不公平デアト云フコトノ如キ、異議不平ハ數々聞エテ居ラタデアリマス、併シ各派ヲ通ジテ斯ノ如キ不平異議ガアルト云フ事情ガ、取りモ直サズ此案ヲ制定スル上ニ於テ、當局者ガ公平ヲ目的トサレタコト云フコトガ分ルノデア、此點ニ於テ吾々ハ(何故ニ改正セヌカ)ト呼フ者アリ、御聽キナサイ、唯今私ガ申スハ其意味ニ於テ當局ノ發案ヲ信用シテ、原案ノ儘修正セザラント欲シテ居ラタデア、現ニ吾々ハ諸君ガ御承知デモアラウガ、原案ハ修正シナイト云フコトヲ以テ目的の方針トシテ居ラタ、併ナガラソレハ唯今言フ通りニ、大體當局者ノ趣意ヲ信用シテ居ルカラ、吾々カラ之ニ對シテ之ヲ直ストカ、ソレニ觸レルト云フコトヲシナイ、斯様ニ大體定メテ居ラタ、併ナガラ右様ナ見解カラ生ジ來テ居ルノデア、若シ他派ニシテ道理アル主張ガアリマシタナラバ、ソレデモ拒ムニハ及バヌ話デア、(誰ガ津田君ニ頼シタ)ト呼フ者アリ、委員會ニ於テ津田君ノ提議ヲ靜ニ承リマシテ、吾々カラ斯ノ如キ事ヲ發議スルコトハ好マナイガ、本來ノ目的ニ向テ、即チ原則ニ向テ近ヅク所ノ分割案デゴザイマス、能ク其點ニ於テ不條理ガアレバ一致ハ致シマス、其土地ノ狀勢及人口ノ關係カラ見テ、必ズ之ヲ拒ムベキ必要ナシト考ヘタガ爲メニ同意ヲ與ヘタ次第デア、斯様ナ次第デアリマス、故ニ、此別表ニ就テハ吾々ハ信用ヲ與ヘ、其信用ノ下ニ何等異議ヲ挾マナイノデア、信用ヲ與ヘ、其信用ノ下ニヒタイ、齋藤君ハ先程別表ヲ攻撃セラル、時ニ當テ、委員會ニ於テ數多ノ質問ヲ爲シタ、ソレニ對スル内相ノ辯明ハ

一モ信ズベキモノナシト云フコトヲ大聲疾呼サレタデア、(其通り)ト呼フ者アリ、然ルニ現ニ昨日ノ委員會ニ於テ、下岡忠治君ハ此別表ニ就テ當局者ガ説明サレタモノ、中デ、多クヲ承認サレテ居リマス、(ノウ)ト呼フ者アリ、(ノウ)ト御仰シヤレバ速記録ヲ讀ム、下岡君ノ御話ハ斯様デア、其中三四ハ確カニ道理アルモノガアッタト思ヒマス、齋藤君ノ質問ニ對シテハ全然惡イトハ思ヒマセヌ、其例ヲ申セバ、群馬縣ノ如キ、神奈川縣ノ如キ、其一例デアリマス、其他數箇所ニ就テ政府委員ノ説明ガ當ヲ得ヌモノト、私ハ首肯シ得ベキモノガアッタコトヲ認メテ居リマス、現ニ下岡君ハ斯クノ通りニ政府ノ辯明ノ多數ヲ首肯シテ居ラル、(ノウ)ニ、齋藤君ガ一モ首肯スベキモノナシト云フ確言シテ、浸ニ政府ノ信用ヲ攻撃セラル、コトノ如キハ、アノ思慮ノ周到ナル齋藤君ニシテハ、甚ダ責任ナキ公言デア、私ハ齋藤君ノ爲メニ惜シムノデア、(拍手起ル)ソレガ山梨縣ノ選舉ニ何ノ關係ガアルカト呼フ者アリ、私ガ此修正案ニ就テ贊成致シマシタル概念ハ斯クノ通りノ次第デア、其他詳シイ事ハ先刻來ノ議論デ盡キテ居リマス、是デ私ノ責任ヲ了ルノデアリマス

○議長(大岡育造君) 村松恒一郎君

○村松恒一郎君登壇

○村松恒一郎君 諸君、今日ハ大問題ノ爲メデアリマス、前刻來ノ發言者諸君ガ可ナリ多クノ時間ヲ費ヤサレマシタ、爲メニ、既ニ八時ニモ垂ントスル有様デアリマス、今日ハ現ニ病牀ニ在ラル、方モカメテ御登院ニナッテ居ル場合デアリマス、本來ナラバ私ハ發言ヲ擲棄シテモ宜シイノデアリマス、今日吾々ノ立場ハ少シク異ル境遇ニ居ルノデアリマス、現ニ局外カラ見レバ何ト評セラル、カ知リマセヌガ、他年所屬團體ト別レ、多年提携セシ所ノ政友ト手ヲ切テ、今日此壇ニ上ラナクレバナラヌト云フ場合デアリマス、暫時御靜聽ヲ願ヒタイノデアリマス、併ナガラ私ハ德義ヲ守テ、今マデノ辯士ノ如ク唯一人デ一時間モ二時間モ述べルヤウナコトハ致シマセヌ極メテ簡單ニ私ノ主張ダケヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、(謹聽)ト同感ト呼フ者アリ、(ソレ)前刻來選舉權擴張ノ問題ニ就キマシテ、或ハ二圓ト云ヒ、或ハ三圓ト云フ、之ニ就テ贊否交ニ御意見ガ出タノデアリマス、之ニ就キマシテハ政府案ニ對シテ憲政會ノ諸君ノ非難セラル、點ハ、憲政會ノ諸君ノ言ハレル所ガ兎ニ角當ヲ得テ居ルヤウニ思フノデア、又憲政會、國民黨ノ案ニ對シテ、政友會ノ諸君ノ非難セラル、點ハ、是亦尤ノヤウニ聞エルノデアリマス、此二ツヲ綜合致シマスルト云フト、政府案モ、憲政會案モ、國民黨案モ、共ニ不徹底ニシテ共ニ姑息ナルモノデア、ト云フコトハ、既ニ證明セラレルノ

デアル(拍手スル者アリ)故ニ私ハ此處ニ就テ諄々シク申上ゲル必要ハ無イト存ジマスルノデアリマスルガ唯、政府案ト、憲政會案ト、國民黨案トノ中ニハ、兎ニモ角ニモ幾分ノ相違ガアル、幾分ノ差ガアルノデアリマスルカラ、是ニ就テハ多少ノ批評ヲ試ミナケレバナラナイノデアリマス、ソレデ今更申上ゲルマデモナイノデアリマスルガ、選舉權ナルモノハ極メテ廣ク、極メテ多ク、極メテ平等ニ、極メテ公平ニ與ヘルト云フコトガ原則デアアルノハ勿論ノ事デアアルノデアアル、然ラバ現在此議場ニ現ハレテ居リマスル政府案ハ、果シテ此目的一適ウテ居ルカ否ヤト申シマスレバ、極メテ此原則ニ遠イモノデアアル、極メテ偏頗ニシテ、極メテ不公平ナルモノデアアルノデアアル、成程十圓ヲ三圓ニ引下ゲル、甚ダ多ク政府ガ選舉權ヲ擴張シタ如ク見エルトアル、又政府ノ辯明ニ依リマシテモ、現在ノ有權者數ノ倍額ニ増加シタノデアアルカラ、是ハ大擴張デアアルト言ハレル、之ヲ聽クト如何ニモ尤ラシク聞エルトデアリマスルガ、現在ノ數ガ既ニ二百四十何万、倍額ニナリマシタ所デ僅ニ二百八十何万、現在ノ日本ノ人口ハ、大正二年末ノ調査ハモ五千二百何万人、今日ハ恐ラク六千萬——内地タケデ六千万ニモ達シテ居ルデアラウト思ヒマス、シテ見マスレバ假ニ現在ノ有權者ノ數ガ倍額ニナリマシタ所ガ、僅ニ九千一毛、百人ニ割當デマスレバ、則チ僅ニ五人ニ二分云フガ如キ低率ノモノデアアルノデアアル、是ガ果シテ國民ノ意思ヲ代表スベキ代議士ト云フコトガ言ヘルノデアアルカ、又此代議士ニ依テ組織サレル議會ガ、果シテ國民ノ意思ヲ代表スル議會ト云フコトガ出來ルノデアアルカ否ヤ、而モ此三圓ナルモノハ成程十圓カラ三圓ニ引下ゲタ言フケレドモ、現在此所得稅ニ致シマシテモ、營業稅ニ致シマシテモ、殆ド十圓以下ハ先ヅ無イト言ウテモ宜イ位ノモノデアアルノデアアル、又三圓ニ引下ゲル爲メニ均霑スル者ハ、唯モ郡部ノ農家タケデアアル、若クハ市街地ニ於ケル極ク少數ノ地主ニ止ルモノデアアル、此點ハ最モ偏頗不公平ト云フノデアアルノデアアル、然ラバ此現在ノ政府案ガ極メテ不徹底ナルモノデ、極メテ姑息ナルモノデアアルコトハ、今更申上ゲル必要モナカラウト思フ、然ラバ此憲政會若クハ國民黨、此案ニ依リマスルト、一圓下ゲテ二圓ト云フノデアアル、三圓ヨリハ二圓ノ方デ幾ラカ割安ニナシテ居ルニハ違ヒナイノデアアル(笑聲起ル)然ラバソレガ爲メニドノ位殖エルカト言ヘバ、先刻來代リ(述ベラレタ通り、僅ニ五十何万人ガ殖エルニ過ギナイノデアアル、之ヲ政府案ニ引較ベマシテモ、其率歩合ト致シマシテ僅カニ二厘ノ差ニ過ギナイモノデアアル、不徹底ナルコトハ共ニ同ジモノデアアル、先刻齊藤君ハ頻ニ政府案ノ不徹底ヲ非難サレタノデアリマスルガ、是ハ俗ニ所謂狼ノ尻笑ヒ、三圓說ガ不徹底ナラバ、二圓說モ矢張不徹底デアアル、

唯、此憲政會及國民黨案ニ於キマシテハ、智識階級ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトガ、政府案ヨリハ稍、進ンデ居ルノデアアル——稍、進ンデハ居リマスルガ、是モ亦共ニ不徹底ヲ免レナイ、是モ先刻齊藤君ハ頻ニ智識階級ガ出マシタカラ、私ハ繰返シテ申シマセヌガ、單ニ中學校卒業以上ニ與ヘルト云フコトデハ、決シテ智識階級ヲ網羅シタモノデハナイ、既ニ中學卒業以上ノ者ニ權利ヲ與ヘルト云フノナラバ、何故ニ一歩進ンデ小學校ノ卒業生ニモ矢張權利ヲ與ヘルト云フハナイノデアアルカ、今日學科ノ上ニ於キマシテハ、中學校ト小學校デハ多少ノ相違ガアルノデアアル、併ナガラ是ガ社會ニ出テ働ク上ニ就テ、果シテ幾許ノ相違ガアルカ、故ニ若シ此智識階級ト云フ名ハ不適當デアアルカ知リマセヌガ、多少ノ教育ヲ受ケタ者ニハ選舉權ヲ與ヘルト云フナラバ、總テ此小學校ノ卒業生マデニ及ボサナケレバ、決シテ徹底シタモノト云フコトハ出來ナイノデアアル、ソレデ其結果、今日ハ何レノ案モ悉ク不徹底ノ點ニ於テ同一ノモノデアアルノデアアル、殊ニ此政府案ニ致シマシテモ、憲政會案ニ致シマシテモ、國民黨ノ案ニ致シマシテモ、二圓以下ハ與ヘナイト云フコトニナルト、二圓以下ノ納稅額ニ居ル所ノ人々、竝ニ全ク納稅シナイ所ノ人々ハ、全ク選舉ノ能力ナシト云フコトヲ表明セラレタモ、同ジ事柄デアアル、一面カラ言ヘバ、國民ニ對スル大ナル侮辱デアアルト私ハ思フノデアアル、元來此立憲ノ本義カラ申シマスレバ、少數ガ多數ニ服從スルト云フノガ、是ガ立憲ノ本義デアラウト思フ、今日ノ選舉制度ニ於キマシテハ、僅ニ此現在ニ於テハ十圓以上デアアルガ、之ヲ擴張シテ二圓以上或ハ三圓以上ト致シマシテモ、僅ニ二百八十何万若クハ三百五十何万位ナ人間ニ依テ代表セラル、所ノ此議會、是ガ六千万ノ國民ニ支配サレルト云フコトニナレバ、即チ少數ヲ以テ多數ヲ服從セシメルト云フ結果ニ相成ルノデアアル、立憲ノ本義ニ遠キコト亦甚ダシト云フハ、恐ラク總テノ諸君ニ御異議ノナイ事柄デアラウト思フノデアアル、現ニ床次內務大臣モ、此政府ノ案モ尙ホ十分デアアルト云フコトハ認メテ居ラレルノデアアル、唯、內相ハ急激ナル選舉權ノ擴張ハ却テ弊害ガアルカラ、現在ノ所ガ丁度宜イト云フコトヲ言ッテ居ラレルノデアリマスルケレドモ、此案ノ如キハ却テ寧ろ此害ヲ多クスルモノデアアルト私ハ思フ、デモ、主張スル所、必ズシモ急激ニ選舉權ノ擴張ヲシヤウト云フ者デハナイノデアリマシテ、單ニ現在ノ納稅資格ヲ撤廢シテ、サウシテ二十五歲以上ノ獨立ノ——二十五歲以上ノ男子ニシテ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ、選舉權ヲ與ヘヤウト云フノデアリマシテ、マダ理想的ノ普通選舉ニ達スルコト遠イノデアリマス、唯、今日納稅資格ヲ撤廢スルト云フコトハ、即チ普通選舉ノ第一歩ニ

踏入ルモノトシテ、吾々ハ暫ク之ニ甘シナケレバナラナイノデ、是ガ何故ニ大切デアアルカト申シマスレバ、納稅資格ヲ存スル以上ハ、此二圓若クハ三圓ノ納稅ヲスル者ニ非ズンバ權利ヲ與ヘズト云フ茲ニ一ツノ制限ヲ置クノデアアル、隨テ多數ノ國民ハ悉ク除外セラレ、排斥セララル、ト云フコトニ相成ルノデアアル、吾々ノ主張スル所ニ依リマスレバ、此納稅資格ヲ撤廢シテ、如何ナル者ニモ權利ヲ與ヘルト云フ原則タケハ、茲ニ打立テルコトガ出來ルノデアアル、其原則ヲ打立テタ以上、此實際ノ國情ニ依リ國民ノ智識ノ進度ニ依リ姑ク之ヲ男子ニ止メ、其男子ノ中デモ先ヅ以テ此獨立ノ意思ノ確立スルト云フ時代、即チ二十五歲ヲ基礎ト致シテ、而モ此獨立ノ生計ヲ營ム者ニ與ヘタイト云フノデアアル、何故トナラバ苟モ二十五歲ニモ達スル所ノ男子ニシテ、獨立ノ生計ヲ營ムコトノ出來ナイ者デアラナラバ、獨立ノ能力ノ無イ者デアアル、獨立ノ能力ノ無イ者ガ自己ノ代表者ヲ選ブ資格ハ無イ、國政ニ參與スル資格ハ無イノデアリマスカラ、是ハ即チ自業自得デアアル、ソレデナラバ他日自反省シルカラハ已ムヲ得ナイノデアアル、併ナガラ他日自反省シ自ラ悟テ獨立ノ生計ヲ營ムコトニナレバ、忽チ權利ヲ與ヘル、是ガ吾々ノ現在ノ納稅ノ資格ヲ基礎トスル諸君ノ意見ト吾々ノ意見ト異ナル根本デアアルノデアアル、斯クシテ幾何ノ選舉人ヲ増加スルカト申シマスレバ……

〔議長大岡育造君退席副議長濱田國松君議長席ニ著ク〕

○村松恆一郎君 今日此二十五歲以上ノ男子ト云フモノガ千三百何万人アルノデアリマス、ソレカラ其中デ獨立ノ生計ヲ營ム者ガドノ位有ルカト云フコトハ、明白ニ知ルコトハ出來マセヌガ、少クモ茲ニ現在ニ戸主ト稱スル者ガ九百六十五何万人アル、中デ男子ノ戸主ガ八百八十三何万人アルノデアリマス、此八百八十三何万人ノ戸主ハ無論獨立ノ生計ヲ營ンデ居ルノデアアル、此以外ニ假令戸主ニ非ズトモ、或下宿生活ヲ致シテ居ル者、或ハ殖生ノ小屋ニ住ッテ居ル者ニ致シマシテモ、或ハ二男トカ三男トカ稱スル者ニモセヨ、兎ニ角獨立ノ生計ヲ營ム者ガ二百何万ヤ三百何万ハ必ず有ルニ相違ナイノデアリマスカラ、吾々ノ主張ニ從ヘバ、一千万人ノ選舉權ガ生ズルノデアアル、此一千万ノ選舉權ト申シマスレバ、現在ノ人口カラ言ヘバ先ヅ五分ノ一許リニ當ルノデアアル、先ヅ二十「パーセント」三三成成ルノデアリマスカラ、先ヅ以テ理想的ノ選舉人員ト云フコトガ出來ルト思ヒマス、吾々ガ如何ニ何デモ今日ノ此世界ノ大勢、今日ノ國民思想ノ上カラ、此位ノ選舉權擴張ハ是非致サナケレバナラヌモノデアアルト考ヘルノデアアル(簡單々々ト呼フ者アリ)唯、茲ニ一言辯ジテ置キタイ事ハ、斯ノ如ク致シマスレバ或ハ此下宿屋

生活ヲ致シテ居ル所ノ者デ、甚シキハ木賃宿ニ生活致シテ居テ、半年一年ヲ過シテ鶴嘴ヲ擔イデ鐵道線路ニ赴ク人入モ、或ハ青服ヲ着ケテ工場ニ働ク所ノ人ニマデモ、選舉權ヲ及ボスト云フ事ニナルト、ソレガ爲メニ或ハ一種ノ危害ガ生ズルコトガナインデアルカ、或ハ危險思想ヲ生ズル事ガアルカモ知ラナイ、ト云フヤウナ危懼ヲ抱キ杞憂ヲ懷ク人ガアルカ知ラセヌガ、是亦吾々ノ甚ダ意見ヲ異ニスル所デアリマシテ、苟モ人トシテ其局ニ當レバ必ズ責任感念ノ生ズルモノデアリマス、責任感念ノ生ズル以上ハ必ズシモ常規ヲ逸シテ思想ヲ懷キ、常規ニ逸シテ行ヒスルモノデナイ、今日ハ奈何セン五千人ノ國民中僅ニ二百四十萬、之ヲ政府案ノ通りニ擴張致シマシテモ二百八十萬ノ人ニ權利ヲ與ヘ、其他ノ者ハ悉ク除外スルコトニナレバ、除外セラレタ者ガ果シテ眞ニ國家ニ對シテ自覺アル徹底シタル責任感念ヲ生ズルヤ否ヤト云フコトハ、疑問デアウト思フノデアアル、若シモ此種生ノ小屋ニ住ム水呑百姓、或ハ此鶴嘴ヲ擔グ所ノ工夫ニ至ルマデモ、我ハ國家ノ政治ニ參與スベキ權利有リト云フ自覺ヲ與ヘマシタナラバ、彼等ハ恐ラク此國家ヲ念シ致シテ、益々國家ノ隆昌ヲ圖リ、此國家ノ基礎ヲ鞏固ニシナケレバナラヌト云フ感ジハ必ズ起スニ相違ナイノデアアル、今日ノ國家ハ即チ國民全體ガ維持シナケレバナラヌ上ハ、萬世無窮ノ帝室ヲ戴キ、下ニ五千萬國民ガ一致シテ此國家ヲ維持スルコト云フ事デナケレバ、此世界列強ノ競爭ノ間ニ立テ國運ヲ盛ンニスル事ノ出來ナイト云フ事柄ハ明カデアアル、之ニ就テハ斯ク申上グル通り苟モ獨立ノ生活ヲ營ム位ノ男子ニハ、悉ク選舉權ヲ與ヘテ、彼等ヲシテ政治上ノ感念、國家ノ基礎ヲ鞏固ニスルコト云フ念ヲ生ゼシムルコトハ極メテ必要ナ事デアルト同時ニ、是ハ唯、私ノ申上デル選舉權ノ擴張ニ依テ、始メテ目的ヲ達セラル、モノト私ハ信ズルノデアアル、床次内相ハ現在ノ此制度、此政府案ニ對スル維持ノ理由トシテ、例ノ恒産有ル者ハ恒心有リト云フ事ヲ主張セラル、ノデアリマスレドモ、由來此日本人ハ支那人ノ如ク物質本位ノ人間デナイ、日本人ノ中ニハ物質以外ニ犧牲ノ崇高ナル精神ヲ持テ居ルモノデアアル、故ニ恒産無シト雖モ恒心有ル者ガ澤山有ル、之ニ反シテ現在ノ選舉場裡ノ有様ハ如何デアアルカ、十圓以上ト言ヘバ地方ニ於テハ最モ恒産有ル所ノ人デアアル、其恒産有ル人ニ選舉上ニ於ケル狀態ハ如何デアリマスルカ、今日諸君ガ運動費ガ多ク掛ルト言ハレル、其運動費ハ何物ニ費サル、カト云フ事ヲ考ヘタナラバ、此恒産有ル者ハ恒心有リト云フ事ハ、何等ノ價值ノ無イト云フコトガ明カデアアル、(拍手スル者アリ)之ニ反シテ現在地方ノ青年、何等ノ選舉權ノ無イ青年デアリマスレドモ、彼等ハ自己ノ地位ヲ自覺シ、現在

ノ政治ノ狀態ヲ理解シテ、所謂犧牲ノ精神ヲ以テ諸君ヲ助ケ來デ居ルニ相違ナイ、何レノ地方ニ於キマシテモ、青年ハ極メテ崇高ナル犧牲ノ精神ヲ以テ選舉場裡ニ働イテ居ルト云フ事ハ疑ナイ事實デアアル、然ラバ内相ノ言ハル、恒産有ル者ハ恒心有リト云フ事ハ、何等ノ根據ノ無イ議論デアラウト思フノデアアル、斯ク申シマスレバ吾々ノ主張吾々ノ意思ト云フモノヲ、今日實施スルニ於テ何等差支ハナイ、何等ノ不都合ハナイト云フコトハ、最早明カデアラウト思フ、然ルニ動モスレバ此一種ノ尙早論ト云フモノガアル、多數ノ人ニ悉ク前置キニハ普通選舉ハ反對デハナイ、唯、併ナガラ時期ガ早イト言ハル、從來此維新前ニ於キマスル開國論ニ對スル尙早論、或ハ明治七年ノ民選議院ノ建白ニ對スル尙早論、或ハ明治二十年頃ノ内地雜居ニ對スル尙早論、是等ハ皆ナ事實ニ於テハ無期延期ノ意味ノ尙早論デアルカラ、是ハ多少ノ理由ガ立ツカ知ラナイ、今日ノ尙早論ハドウデアアルカ、全部トハ申シマセヌガ、少ナクモ議場ノ過半数ノ人ニガ今回ハ此儘ニ致シテ置イテ、此冬ニハ納稅資格ヲ撤廢スルノ案ヲ出サウト云フ下心ハ、恐ラク持テ居ラル、デアラウト思フノデアアル、私ハ千里眼ハ持チマセヌ讀心術ハ得テ居リマセヌガ、是ハ恐ラク間違ノナイ推測デアラウト思フ、然ラバ時期尙早ト云ウテモ幾カ二一年ヲ出デナイ、半年ヲ出デナイ時期尙早トナリ、甚ダ無意味ナル時期尙早デアアル、然ラバ何故ニ進ンデ納稅資格撤廢ノ案ヲ出サレナイノデアアルカ、之ニ向テ贊成セラレナイノデアアルカ、此點ガ私ガ甚ダ怪訝ニ堪ヘザル點デアリマス、今日吾々共ハ唯今申上ダテ通り苟モ獨立ノ生計ヲ營ム所ノ二十五歳ノ男子ニ向テ、全部選舉權ヲ與ヘルト云フ此案ハ、免ニモ角ニモ一度此議會ノ壇上ニ實現サセタイト云フコトヲ努力致シタノデアリマスルカ、不幸ニシテ時至ラズ、僅ニ一名ノ人ヲ一方ニ得レバ一方ニ失ヒ、遂ニ此議場ニ現ハスコトノ出來ナイノハ、甚ダ私遺憾ニ感ズルノデアリマス、併シ諸君ガ總テ之ニ反對デアラナラバ、免ニ角諸君ハ納稅資格ノ撤廢若クハソレ以上ノ選舉權ノ擴張ニハ、恐ラク御異論ハアルマイト思フ、就中政友會ノ松田君ノ如キ、ツイ最近ニ至ルマデ、私ノ目前ニ於テ今日ハ二圓三圓ノ姑息論ヲ唱ヘル時期デハナイ、宜シク普通選舉ニ依ンデ進マナケレバナラヌト云フコトヲ高唱サレテ、餘リニ其氣焰ノ高イ爲メニ、私ハ寧ろ大ニ驚イタ位ノ程度デアッタノデアル、若シ此松田君ニシテ黨議ト云フ柳ガ無カタナラバ、黨議ト云フ轡ガ嵌ッテ居ナカタナラバ、恐ラク吾々以上ノ急進ノ普通選舉論ヲ唱ヘルデアラウト思フガ、併シ此處ガ所謂黨ノ節制、黨ノ一致ノ上カラ、今日此演壇ノ松田君ノ御高説ヲ伺ハナカタノハ、誠ニ遺憾千萬デアアル、單リ松田君ノミナラズ、政友會内ニ於テ尙ホ

其他ニ數十名ノ急進論者ガアルト云フコトヲ確信シテ居ル是ハ私ガ最モ力強ク感ズル所デアアル、又憲政會内ニ於テモ、同様、三木武吉君、橫山勝太郎君、岡部次郎君、大竹貫一君、是等ノ人ハ政友會ノ人ヨリ今一步進ンデ、院外ニ於テ盛ニ普通選舉ヲ唱ヘラレ、現ニ大會ノ決議ニ於テハ速ニ普通選舉ヲ實行スベシト云フ決議ニマデ加デ居ル方デアアル、是亦此黨議ト云フ足枷手枷ノ爲メニ、此議場デ御高説ヲ伺フコトノ出來ナイノハ、甚ダ私遺憾ニ思フノデアリマス、其處ニ至リマスルト、私共ハ局外者カラ見レバ狂ト云フカ思ト云フカ知ラセヌガ、唯、吾々少數ノ者ガ茲ニ吾々カラ申セバ姑息ナル選舉擴張案ヲモツシテハ不満足ナル納稅資格ノ撤廢ノコトスラモ實現スルコトノ出來ナイノハ、甚ダ遺憾デアリマスレドモ、既ニ内面ニ於テハ斯ノ如キ熱烈ノ議會ニ於テ確ニ微々タル吾々ノ主張ガ、此議場ニ大多數ヲ以テ迎ヘラレルト云フコトヲ信ジマシテ、ソレヲセメテモノ慰メト致シマシテ、此處ニ私ハ此主張ヲ述ベテ置キマス

(拍手起ル)

○副議長(濱田國松君) 松本誠之君

(松本誠之君登壇)

(拍手起ル)

○松本誠之君 宜シヤ——滿堂ノ諸君、何時モ私ハ殿リヲ引受ケタヤウ風ニナッテ居リマスガ、極ク簡單ニ申上デマス、故ニモウ私ノアトニハ何誰モ出ル方ガアリマセヌカラ、暫クノ間ノ御辛棒ヲ願ヒマス(謹聽々々)

(副議長濱田國松君議長席ヲ退キ議長大岡育造君著席)

○松本誠之君 先刻村松君ハ現在ノ立場ヲ御話ニナッテ諸君ノ同情ヲ御買ニナタガ、私ガ此演壇ニ立チマシタノハ、決シテ新政會ヲ代表シテハ演説デハナイノデス、又御承知ノ通り我輩ノ屬シテ居ル新政會ハ、此選舉法ノ改正案ニ付キマシテハ、自由行動ヲ取タノデアアル、故ニ吾輩ハ自由行動ヲ取テ議長ニ申込シテ此演壇ニ立タノデアアルカラ、即チ自分ノ意見ヲ暫ク諸君ニ御聽取ヲ願ヒタイ、誠ニ新政會ト云フ一團體ガアリマシテ、斯ノ如キ國家ノ重大ナル問題ニ對シテ、自由行動ヲ取ルト云フヤウニナリマシタノハ、誠ニ自分ニ取リマシテモ不愉快ニ感ズルノミナラズ、他ノ大黨ノ政友會、憲政會、或ハ國民黨ニ對シテ誠ニ慙愧ノ至リニ堪ヘナイノデアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナイ、而シテ私共ハ諸君モ御承知ノ通り何等政黨派ニ關係ハゴザイマセヌ、全ク不偏不黨嚴正中立ノ態度ヲ以テ、今日自分ノ立場ニ居ルノデゴザイマス、失禮ナガラ固ヨリ眼中ニ今日政黨派ヲ

持ッテ居リマセケレドモ、他日憲政會ノ諸君が私ノ氣ニ入ルヤウナ事ヲヤッテ吳レタナラバ、或ハ其驥尾ニ從テ御仲ヤスル時が來ルカモ知レナイ

〔御免ダ〕「ト呼フ者アリ笑聲起ル」

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ願ヒマス

○松本誠之君 總テ何事ヲ爲スニモ 大小トナク事ヲ起シマスル上ニ於キマシテハ、一利ノ之ニ伴ヒ、一害ノ之ニ隨テ來ルノハ當リ前デアル又事ヲ改メル上ニ於テ、其結果タルヤ改メタ事ガ改善トモナリ改惡トモナルト云フコトハ、是ハ免レナイケレドモ、諸君、昔モ今日モ吾々ガ好意ヲ以テ擁護セントスル所ノ此現内閣デアル、此内閣ガ天下ノ廣居ニ立テ、天下ノ正位ニ立テ、天下ノ大道ヲ行ハント欲シテ、此度此衆議院議員選舉法改正案、是ガ即チ國利民福デアル、是ガ社會ノ爲メデアルト思フ、信ジテ出シタコトナレバ、是ガ改惡ニナルカ改善ニナルカ其結果ハ分ラヌケレドモ、能ク之ヲ研究審査シタ上ニ於テ、ヤラセテ見ルガ宜カラウト思フノデアル、而シテ自分ガ聞ク所ニ據リマスルト云フト、或ハ觀察スル所ニ據リマスルト、明治三十五年以來此大選舉區制ヲ以テ、今日マデ押通シテ來タノデアリマスガ、現在ノ有權者諸君ニ於キマシテモ、多クハ此大選舉區ノ繁雜ニ厭忌致シマシテ、小選舉區制ナルモノヲ希望スルト云フ今日ノ時代ニナッテ居ル、又唯今大選舉區——現行法ニ依テ、即チ諸君ト共ニ此競爭場裏ニ立タノデアリマスケレドモ、私ノ思フニハ恰モ實質ニ於テハ小選舉區ノ形ヲ成シテ居ル、何故ナレバ一郡ニ於テ、某ハ千何百票ヲ持ッテ居ル、此郡ニ於テハ千五六百票ヲ持ッテ居ル、此處ニハ八百票ヲ持ッテ居ル、アトノ足ラナイ所ハ一府縣下ヲ跋渉奔走シテ、投票ヲ取ルト云フヤウナ風デ所謂應仁年間ノ如ク群雄割據シテ、各地ニ居ルデハナイカ、是ガ恰モ小選舉區ノ形ヲ爲シテ居ルト云フ吾輩ノ議論デアル、拍手(サウシテ)ドウデアルカ、能クマア憲政會ノ諸君モ御聽キナサイ、若シモ此小選舉區ト云フコトニナリマシタナラバ、私ハ之ニ賛成デアルカラ申スノデアアル、大正六年ニ諸君ト共ニ隨分戰ツテ見タガ、マダ今日ヨリ物價ハ安ウゴザイマシタガ、彼ノ時ハドウダ、諸君、二萬圓ノ金ヲ使ッタ人間ハ大正十年ニハ四萬五六千圓ダ、三萬圓ヲ使ッタ人ハ七萬五千圓ノ金ヲ持ッタナレバ到底選舉場裏ニ立ツコトガ出來ナイ、小寺謙吉ハヤルダラウガ、其他ノ者ハ此戰ハ恐クハ不可能デアウラト思フ、困難デアラウ、是等ノ點カラシテ選舉費用ノ輕減ト云フコトニ付テ、自分ハ、是ハ各候補者ノ即チ戰鬪場裏ニ立ツ人ノ爲メニ、選舉ノ費用ガ減ズルト云フ上ニ於テ宜カラウト云フノデ、此小選舉區ニ賛成ヲ致シタノデアアル、又其狹域ガ狹隘ニナリマスニ付テハ、選舉ノ上ニ於テモ取締ト云フモノガ十分能ク行届キマシテ、必ズヤ選

舉違反ト云フモノガ無イトハ云ヘナイガ、今日ノ如ク大勢出ルヤウナコト無クシテ、其法網ニ罹ルト云フヤウナ人が却テ此小選舉區ニスレバ少ナクナルト云フヤウナコトガアラウカモ知レヌト、私ハ思ヒマス、是等ノ事ニ付テ自分ハ此ノ小選舉區ノ方ガ宜シカラウト云フコトデ、即チ嚴正ノ態度ヲ以テ、中立ノ態度ヲ以テ賛成ヲ致シタノデゴザイマス、又候補者其人デアリマス、今日大選舉區ニ致シテ置キマスと云フト、區域ガ廣イカラ東西南北ニ跋渉致シ驅逐シテ、サウシテ政見發表、ホラ演説、ホラ有志會ノ談話會、色々ナ事ニ臨マナレバナラヌ、中ノ行届カナイ、是ガ小選舉區ニナリマシタナラバ、自分ノ政治上ニ於ケル所ノ政見ノ發表ニ付テハ、能ク行渡ルト同時ニ、國民ニ對シテハ政治道德ノ訓練ヲ十分ニ與ヘ、又政治思想ヲ十分ニ養成シ、政治教育ヲ十分ニ與ヘルト云フコトノ利益ガアルト深ク信ジテ居ルノデアアル、是ハ即チ選舉區域ガ狹クナルト十分政見發表ガ出來ル、ソコデ有權者其者ノ彼ノ人ナラバト云フコトデ、適當ナ人間ヲ舉ゲルコトガ出來ル、此意味ニ於テ小選舉區ニ賛成デゴザイマス、所ガ年齡ノ事ナリ、或ハ智識階級ノ事ナリ、現役兵ヲ濟シテ來タ者ニ權利ヲ與ヘルト云フコトニ付テハ、色々メニ自分ハ議論ヲ持ッテ居ルケレドモ、モ時間モ迫ッテ居ルガ爲メニモウ極ク簡單ニ申シマスガ、唯モ三圓二圓ト云フコトニ付テ政府案ニ賛成ノ意見ハ、是ハ三圓ト云ヒ、二圓ト云ヒ、實ハ五十歩百歩デアアル、二圓ト致シタ所デ格別大シテ有權者ガ殖エルト云フコトデモナレバ、三圓デアッテモサウ減ズルモノデモナイト思フ、ケレドモ私思フニ、現行府縣會議員ノ選舉權モ三圓ノ納稅ノ程度ト致シテ居ル、然ラバ此衆議院議員ノ選舉權ノ納稅資格ヲ三圓トスルト云フコトハ、是ハ府縣會議員ノ選舉資格ノ納稅ニ於テ權衡ガ保タレマシテ、之ヲ二圓トスルト、少シク著ツ逆サ向ケニシタヤウナコトデハアルマイカト信ジマス爲メニ、私ハ此三圓ニ賛成シタノデアリマス、ソレカラ別表ノ事柄ニ付テ大分言ヒタイ事ガアルケレドモ、是ハ省イテ置ク、唯、最後ニ私ガ一言ヲ申シテ、賢明ナル滿場ノ諸君ノ御耳ヲ汚シテ置キタイノハ、他デハゴザイマセヌ、ソレハ能ク諸君ガ御聽取ヲ願ヒタイ、殊ニ憲政會ノ賢明ナル諸君ノ御聽取ヲ願ヒタイ、吾輩ハ兵庫縣邊ノ郷里ノ事ヲ一ツ御話スルガ、僕ノ郷里ハ兵庫縣川邊郡デアル、能ク聞ケ(笑聲起ル)天下ニ名高キ金モアリ有力ナル小寺謙吉君ハ有馬郡デアル、此有馬郡ト吾輩ノ貧弱ナル川邊郡ト總合シテ一名ノ代議士ヲ出スノデアアル、ドウダ(笑聲起ル)サウシテ隣郡ノ武庫郡ハ一名ノ議員ヲ出ス、尾崎ハ獨立シテ一人出ス、他日大正十年ニ於テ此貧弱ナル吾輩ハドウダ(笑聲起ル)金ノ上ナリ、他ノ事ハ別問題トシテ小寺謙吉君ト松本誠之、何十万何百万ノ金ヲ

投リ出シテモ構ハヌト云フ人間ト、大正十年ニ於テ戰ヲ交ヘナケレバナラヌト云フヤウナ境遇デアル、宜シイカ、然ラバ此松本誠之ハ大選舉區ヲ賛成シテ、憲政會ノ諸君、國民黨ノ諸君ニ共鳴ヲ致シマシテ、政府案ニ反對ヲシナケレバナラヌノデアリマス、自分等ノ立場カラ考ヘテ見レバ——所ガ先刻來政友會、憲政會、國民黨ノ先輩諸君、歷々ノ諸君ノ御説ヲ聞ケバ、此別表ノ事ニ付テ御話ニナルノハ、矢張幾分力此黨派ノ感情ガアリ、或ハ自分一身ノ立場ノ事ガアリ、友人ノ立場ノ事ヲ仰シヤルヤウニ私ハ思ッタノデアアル、苟モ天下ノ廣居ニ立テ諸君ト共ニ此議政壇上ニ立ツツク限リニハ、幾分力自分ノ立場カラ見テ、現在ハ斯ウダ、將來ハ斯ウダ、大選舉區ハ不利ダ、小選舉區ハ利益ダト云フヤウナ區々タル自分ノ私心ノ爲メニ、私ノ爲メニ今日ハ彼此云フベキコトデハアルマイト思フ、幾ラカ國ヲ思ヒ、國ヲ愛ヒ、民ヲ思ヒ、國家ヲ思フテ善政良法ヲ布カントスル所ノ念慮アル者ナラバ、所謂善政良法ヲ布カントスル念ノアル人ナラバ、所謂先憂後樂ノ人デアラナラバ、幾分國ノ爲メニ公共ノ爲メニ云フ事ノ眼ヲ以テ、此案杯ニ對シテハ贊否ノ決心ヲシナケレバナラヌト思フ、ソレニ立場ガドウダ、黨派ノ主張ガドウダ、勢力ガドウダト云フコトハ、吾々ノ知キ、即チ不偏不黨嚴正中立態度ノ眼カラ見レバ、政友會、國民黨、憲政會、實ニ笑フニ堪ヘタリ(笑聲起ル)吾輩ハ即チ此見地ヨリシテ大正十年ニ今此處デ言ウテ置クダ、小寺謙吉君潔ク戰ハウ、下岡忠治君ヤッテ見ヤウ、大正十年ニヤッテ見ヤウ、前ノ次官ヤラ金持ハ決シテ恐レナイ、此意味ヲ以テ政府案ニ賛成ヲ表スルト云フコトヲ申シテ置キマス

○岩崎勳君 議長

○議長(大岡育造君) 岩崎君

○岩崎勳君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(大岡育造君) 討論終結ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナント〕呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ討論ハ終結ニナリマシタ、此場合諸君ノ御聽取ヲ願デ置キマス、議員中ニ病氣ヲ推シテ御登院ノ方ガアリマス、投票ノ際登壇ニ不自由ナ御方ヲ見受ケマス、既ニ届出モアリマス、是ハ先例ニ依テ書記官ヲ其席ニ遣シテ投票ヲ受取り、代ッテ投票スルコトヲ許可致シマス(拍手起ル)決議ヲ採リマスル方法順序ヲ宣告致シマス、區制ト納稅、此二ツハ各別ニ採ッテ記名投票ヲ行ヒマス、智識階級、選舉被選舉人ノ年齢是ダケハ起立二問ヒマス、其他ハ委員長ノ報告ニ付テ是亦起立二問ヒマス、此順序ヲ御承知ヲ願ヒマス、而シテ其決ヲ採ル度毎ニ、唯今區制ト簡單ニ申シタノハ斯ウ云フ意味ダト

云フコトノ説明ヲシテ、諸君ノ御了解ヲ得タイト思フノデア
リマス、之ニ御異議ガナケレバ此方法ヲ用ヒタイト思ヒマス
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡有造君) 然ラバ之ニ依リマス——第一二區
制、委員長ノ報告、即チ政府提出案、小選舉區、他ノ二案
ハ大選舉區、仍テ委員長報告ニ付テ採決ヲ致シマス、採決
ハ記名投票ヲ用ヒマス、委員長報告ニ賛成ノ諸君ハ白票、
之ニ反對ノ諸君ハ青票——唯今投票ヲ致シマスル、其採決
スベキ案ハ委員長ノ報告即チ政府案、小選舉區、之ニ賛成
ノ諸君ハ白票、之ニ反對ノ諸君ハ青票デアリマス——開
鎖——指名點呼ヲ命ジマス

〔原田書記官氏名ヲ點呼ス〕
○議長(大岡有造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏
レハナイト認メマス——開鎖——開匣ヲ命ジマス——是ヨリ
投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致シマス
〔寺田書記官長朗讀〕

投票總數三百四十九

可トスルモノ 二百五
否トスルモノ 百四十四

〔拍手起ル〕
○議長(大岡有造君) 仍テ小選舉區制ガ可決致シマシ
タ

〔拍手起ル〕
政府案委員長報告ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ
如シ

磯部 尚君	井坂 光暉君	今井 今助君
岩崎 勳君	井上敬之助君	岩崎總十郎君
石射文五郎君	伊東 重君	池田 龜治君
井上角五郎君	一宮房治郎君	井島 義雄君
鳩山 一郎君	泰 豐助君	生原忠右衛門君
八田 宗吉君	原 敬君	原田佐之治君
林 毅陸君	原田 十衛君	萩 亮君
堀切善兵衛君	西村 正則君	西村 種禮君
堀切善兵衛君	戸符權之助君	戸水 寛人君
床次竹二郎君	陣 軍吉君	長田 桃藏君
小山田信藏君	尾見濱五郎君	小山 溫君
奧村三樹之助君	小川 平吉君	小田切磐太郎君
大石 五郎君	奧田 龜造君	小川 藏次郎君
岡田 榮君	奧田 榮之進君	若尾 幾造君
渡邊 陳平君	渡邊 祐策君	柏谷 義三君
河上 哲太君	川原 茂輔君	神川 長久君
吉植庄一郎君	横田千之助君	米田 稔君
吉原 正隆君	田邊 熊一君	高橋 光威君

高橋 順作君	田村順之助君	瀧 正雄君
高岡唯一郎君	高橋嘉太郎君	高橋 辰二君
田中 隆三君	高橋 本吉君	高見 之通君
竹内明太郎君	坪田 十郎君	土谷 全次君
土屋清三郎君	頭本 元貞君	恒松 隆慶君
根本 正君	中倉万次郎君	中村 喜平君
鳴海文四郎君	中橋德五郎君	中村啓次郎君
成田 榮信君	中野寅次郎君	南里 琢一君
長峰 與一君	中西六三郎君	村野常右衛門君
武藤 金吉君	漆 昌巖君	鶴澤 總明君
上野松次郎君	上埜安太郎君	則元 由庸君
野村治三郎君	野田卯太郎君	工藤 善助君
工藤 吉次君	工藤 卓爾君	熊谷 直太君
熊谷五右衛門君	藏内次郎作君	山本 倅二郎君
山口恆太郎君	前田 米藏君	山内 範造君
丸山豐治郎君	丸山嵯峨一郎君	松浦 五兵衛君
政尾 藤吉君	松田 源治君	氣賀 勘重君
福本 寅松君	福井 三郎君	藤野 正平君
小久保喜七君	小泉策太郎君	小林 源藏君
兒玉亮太郎君	兒玉 好熊君	遠藤 良吉君
江藤 哲藏君	寺田 省歸君	秋本 喜七君
赤尾 彦作君	秋山 金也君	天春 文衛君
穴水 要七君	阿部 武智雄君	赤間嘉之吉君
東 武君	指田 義雄君	齊藤 安雄君
齋藤 珪次君	齋藤 善雄君	佐々木文一君
澤 來太郎君	佐藤 喜八君	齊藤 紀一君
榊田清兵衛君	木村政次郎君	宮本 逸三君
三輪市太郎君	南澤宇忠治君	三土 忠造君
清水市太郎君	島田 俊雄君	志々目藤彦君
廣岡宇一郎君	匹田 銳吉君	廣瀬 鎮之君
百瀬 清治君	望月 圭介君	毛里保太郎君
森田 正路君	元田 肇君	關矢儀八郎君
清 峯太郎君	鈴木 錠藏君	諏訪部庄左衛門
菅野傳右衛門君	隅田 豐吉君	大堀 孝君
湯淺 凡平君	石川 玄三君	花井 卓藏君
堀尾 茂助君	尾崎元次郎君	大林森次郎君
尾崎 敬義君	大藪房次郎君	若尾 璋八君
金杉英五郎君	金澤 仁作君	河野 徹志君
河崎助太郎君	我如古樂一郎君	吉田羊治郎君
横井藤四郎君	田島 達策君	津田 毅一君
上田彌兵衛君	松井文太郎君	松島 肇君
松浦與三郎君	小鹽八郎右衛門	越山太刀三郎君

佐々木平次郎君	北田豐三郎君	北井波治目君
平田健太郎君	石原正太郎君	飯田 精一君
林 平四郎君	富島 暢夫君	小川 郷太郎君
吉田 中君	武市 彰一君	佃 安之丞君
中川隣之輔君	松本 剛吉君	松本 誠之君
松田 三德君	古川 清君	近藤 慶一君
秋田寅之介君	美禰 龍彦君	肥田 景之君
關原 彌里君	臼井 哲夫君	
同 上	同 上	
井原 百介君	井島 茂作君	磯貝 浩君
今村 七平君	井戸文四郎君	石川 又八君
井原喜代太郎君	岩佐善太郎君	橋本 喜造君
半谷 清壽君	早速 整爾君	西川 太治郎君
西 英太郎君	本田 恆之君	大森 三郎君
戸井 嘉作君	富田 幸次郎君	岡部 次郎君
大竹 貫一君	大津淳一郎君	岡部 次郎君
奥田 柳藏君	岡崎運兵衛君	大谷 高寛君
互理 胤正君	片岡 直温君	川崎 安之助君
河野 正義君	唐端清太郎君	加藤政之助君
加藤 定吉君	川村 惇君	河野 廣中君
川村 精之君	河西豐太郎君	河波荒次郎君
横山勝太郎君	加治壽衛吉君	横山 金太郎君
横母木桂吉君	高木 孝史君	田中 萬逸君
竹村 良貞君	高田 正年君	田中 善立君
高橋久次郎君	武富 時敏君	添田飛雄太郎君
長島律太郎君	内藤 傳祿君	長尾元太郎君
武藤 嘉門君	村松龜一郎君	鶴澤 宇八君
上村 耕作君	野村 嘉六君	黒須龍太郎君
久須美東馬君	山口 俊一君	山道 襄一君
山田 珠一君	正木 照藏君	牧口 義矩君
松岡勝太郎君	町田 忠治君	前田卯之助君
古屋 慶隆君	降旗元太郎君	藤澤幾之輔君
小泉又次郎君	小寺 謙吉君	小林嘉平治君
小山 松壽君	小西 和君	小池 仁君
護得久朝惟君	綾部總兵衛君	淺野 順平君
荒川 五郎君	齋藤 隆夫君	櫻井 庄平君
坂口仁一郎君	柵瀬軍之佐君	齋藤 宇一郎君
櫻井兵五郎君	佐々木正藏君	行德 健男君
三木 武吉君	三隅 哲雄君	箕浦 勝人君
下岡 忠治君	日比野 寛君	樋口 秀雄君
平島 松尾君	平山 岩彦君	森田 茂君
森 秀次君	望月小太郎君	關 和知君

仙石 貢君 鈴置倉次郎君 杉山東太郎君
鈴木富士彌君 今村 勤三君 犬養 毅君
犬飼源太郎君 濱田 國松君 西村丹治郎君
堀川 美哉君 土井 權大君 大川 喜六君
大内 暢三君 渡邊 昭君 川口木七郎君
柏原文太郎君 高木益太郎君 高戸 郁三君
高島 兵吉君 中川幸太郎君 植原悦二郎君
野添 宗三君 野口 孝治君 牧野鐵九郎君
近藤 達兒君 藤井 善助君 古島 一雄君
白河 次郎君 關 小橋藻三衛君 有森 新吉君
今井 嘉幸君 小川 直彦君 鈴木梅四郎君
赤木 龜一君 山根 正次君 中村 靜興君
秋田 清君 坂本 金彌君 木下謙次郎君

小山田信藏君 尾見演五郎君 小山 溫君
奧村三樹之助君 小川 平吉君 小田切磐太郎君
大石 五郎君 奧田 龜造君 小川藏次郎君
岡田 榮君 奧田榮之進君 若尾 幾造君
渡邊 陳平君 渡邊 祐策君 粕谷 義三君
河上 哲太君 川原 茂輔君 神川 長久君
吉植庄一郎君 橫田千之助君 米田 穰君
吉原 正隆君 田邊 熊一君 高橋 光威君
高島 順作君 田村順之助君 瀧 正雄君
高岡唯一郎君 高橋嘉太郎君 高橋 辰二君
田中 隆三君 坪田 本吉君 高見 之通君
竹内明太郎君 坪田 十郎君 土谷 全次君
土屋清三郎君 頭本 元貞君 恆松 隆慶君
根本 正君 中倉萬次郎君 中村 喜平君
鳴海文四郎君 南里 琢一君 中村啓次郎君
中野寅次郎君 村野常右衛門君 武藤 金吉君
中西六三郎君 鶴澤 總明君 上野松次郎君
漆 昌巖君 則元 由庸君 野村治三郎君
上埜安太郎君 工藤 善助君 工藤 吉次君
野田卯太郎君 熊谷 直太君 熊谷五右衛門君
工藤 卓爾君 山本悌二郎君 山口恆太郎君
藏内次郎作君 山内 範造君 丸山豐治郎君
柳原九兵衛君 前田 米藏君 牧山 耕藏君
前田 米藏君 松浦五兵衛君 政尾 藤吉君
丸山嵯峨一郎君 松田 源治君 氣賀 勘重君
福井 三郎君 藤野 正年君 小久保喜七君
小泉策太郎君 小泉 源藏君 江藤 哲藏君
兒玉 好熊君 遠藤 良吉君 赤尾 彦作君
寺田 省歸君 秋本 喜七君 穴水 要七君
秋山 金也君 天春 文衛君 齋藤 圭次君
阿部武智雄君 赤間嘉之吉君 齋藤 來太郎君
指田 義雄君 齋藤 安雄君 澤 三輪市太郎君
齋藤 壽雄君 佐々木文一君 榊田清兵衛君
佐藤 喜八君 宮本 逸三君 清水市太郎君
木村政次郎君 宮本 忠造君 廣岡宇一郎君
南澤宇忠治君 三土 忠造君 廣岡宇一郎君
島田 俊雄君 志々目藤彦君 百瀬 清治君
匹田 銳吉君 廣瀬 鎮之君 森田 正路君
望月 圭介君 毛里保太郎君 清 峯太郎君
元田 肇君 關矢儀八郎君 菅野傳右衛門君
鈴木 錠藏君 諏訪部左衛門君 菅野傳右衛門君
隅田 豐吉君 石川 玄三君 花井 卓藏君

堀尾 茂助君 尾崎元次郎君 大林森次郎君
尾崎 敬義君 大藪房次郎君 若尾 瑋八君
金杉英五郎君 金澤 仁作君 河野 徹志君
河崎助太郎君 我加古樂一郎君 吉田羊治郎君
橫井藤四郎君 田島 達策君 津田 毅一君
上田彌兵衛君 松井文太郎君 松島 肇君
松浦與三郎君 小鹽八郎右衛門君 越山太刀三郎君
佐々木平次郎君 北田豐三郎君 北井波治目君
平田健太郎君 石原正太郎君 飯田 精一君
林 平四郎君 富島 暢夫君 小川郷太郎君
吉田 中君 武市 彰一君 佃 安之丞君
中川隣之輔君 松本 剛吉君 松本 誠之君
松田 三德君 古川 清君 近藤 慶一君
秋田寅之介君 美福 龍彦君 肥田 景之君
關原 彌里君 白井 哲夫君

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ 投票漏
ハアリマセヌカ、投票漏ハ無シト認メマス 開鎖 開匣
ヲ命ジマス 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致シマス
〔寺田書記官長朗讀〕
投票總數三百四十五
可トスル者 白票二百三
否トスル者 青票百四十二
〔拍手起ル〕
○議長(大岡育造君) 仍テ直接國稅三圖以上ト決シマ
シタ

○議長(大岡育造君) 次ニ選舉資格中委員長ノ報告、
即チ直接國稅三圖以上ト直接國稅二圖以上ト比較シ
テ採決致シマス、即チ委員長報告三圖以上ト可トスル者ハ
白票、三圖以上ト否トスル者ハ青票 閉鎖 氏名點
呼ヲ命ジマス
〔田口書記官氏名ヲ點呼ス〕
○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ 投票漏
ハアリマセヌカ、投票漏ハ無シト認メマス 開鎖 開匣
ヲ命ジマス 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致シマス
〔寺田書記官長朗讀〕
投票總數三百四十五
可トスル者 白票二百三
否トスル者 青票百四十二
〔拍手起ル〕
○議長(大岡育造君) 仍テ直接國稅三圖以上ト決シマ
シタ

井原 百介君 井原 茂作君 磯貝 浩君
今村 七平君 井戸文四郎君 橋本 喜造君
半谷 清壽君 岩佐善太郎君 西川太治郎君
西 英太郎君 本田 恆之君 本間 三郎君
戸井 嘉作君 富田幸次郎君 大森與三郎君
大竹 貫一君 富田 運兵衛君 岡部 次郎君
奧田 柳藏君 片岡 直溫君 川崎安之助君
互理 胤正君 唐端清太郎君 加藤政之助君
河野 正義君 川村 惇君 河野 廣中君
加藤 定吉君 河西豐太郎君 河波荒次郎君
川村 精之君 加治壽衛吉君 橫山金太郎君
橫山勝太郎君 橫田 孝史君 田中 萬逸君
賴母木桂吉君 高木 正年君 田中 善立君
竹村 良貞君 高田 耘平君 田中 善立君
高橋久次郎君 武富 時敏君 添田飛雄太郎君
長島律太郎君 內藤 傳祿君 長尾元太郎君
武藤 嘉門君 村松龜一郎君 鶴澤 宇八君
山口 耕作君 野村 嘉六君 山田 珠一君
山口 俊一君 山道 襄一君 久須美東馬君
正木 照藏君 牧口 義矩君 松岡勝太郎君
町田 忠治君 前田卯之助君 古屋 慶隆君
降旗元太郎君 藤澤幾之輔君 小林嘉平治君
小寺 謙吉君 藤澤幾之輔君 小泉又次郎君
小西 和君 小池 仁郎君 淺野 順平君
綾部惣兵衛君 淺野 順平君 荒川 五郎君

齋藤 隆夫君 櫻井 庄平君 坂口仁一郎君
棚瀬軍之佐君 齊藤宇一郎君 櫻井兵五郎君
佐々木正藏君 行德 健男君 三木 武吉君
三隅 哲雄君 箕浦 勝人君 下岡 忠治君
日比野 寛君 樋口 秀雄君 平島 松尾君
平山 岩彦君 森田 茂君 森 秀次君
望月小太郎君 關 和知君 仙石 貢君
鈴置倉次郎君 杉山東太郎君 鈴木富士彌君
今村 勤三君 大養 毅君 大飼源太郎君
濱田 國松君 西村丹治郎君 堀川 美哉君
土井 權大君 大口 喜六君 大内 暢三君
渡邊 昭君 川口木七郎君 柏原文太郎君
高木益太郎君 高戸 郁三君 高島 兵吉君
中川幸太郎君 植原悦二郎君 野添 宗三君
野口 孝治君 牧野鐵九郎君 前川 虎造君
藤井 善助君 古島 一雄君 近藤 達兒君
小橋藻三衛君 有森 新吉君 白河 次郎君
關 直彦君 鈴木梅四郎君 今井 嘉幸君
小川 寅六君 中村 靜典君 赤木 龜一君
山根 正次君 兒玉 右二君 秋田 清君
坂本 金彌君

○議長(大岡育造君) 其次ニハ中學校及師範學校卒業以上ノ者ト且ツ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ選舉權ヲ與フベシト云フ此點ニ付テ決ヲ採リマス(「反對」ト呼フ者アリ)暫ク御聽ヲ願ヒマス、是ハ一通リアリマス、中學及師範學校卒業以上ノ者ニ選舉權ヲ與フルト云フノト、其卒業者ニシテ且ツ獨立ノ生計ヲ營ム者(笑聲起ル)ト云フ此二種類アリマス……生計ヲ營ム者——中學及師範學校卒業以上ノ者ニシテ、且ツ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ選舉權ヲ與フベシト云フニ、同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數デアリマス、否決——此次ハ中學及師範學校卒業以上ノ者ニ選舉權ヲ與フベシト云フ、此點ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

〔「反對」多數「下呼フ者アリ」〕

○議長(大岡育造君) 少數——否決——次ニ選舉人ノ年齢ヲ二十年ニスベシトノ點及ビ兵役義務ヲ終リタル者ニ選舉權ヲ與フベシトノ點ニ付テ決ヲ採リマス、賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數
○議長(大岡育造君) 少數デアリマス、否決サレマシタ、其他ハ總テ委員長報告通りニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

〔「贊成々々」少數々々「下呼フ者アリ」〕

○議長(大岡育造君) 大多數デアリマス

〔「拍手起ル」〕

○議長(大岡育造君) 唯今ノ決議ノ結果、議員ヨリ提出ノ二案ハ廢棄セラレ、政府案ハ總テ委員長報告ノ通りニ決シマシタ

〔「拍手起ル」〕

○岩崎勳君 直チニ政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第三讀會ヲ開キ、第二讀會議決ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開キマス

衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出)

第三讀會

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 本案ハ二讀會議決ノ通り三讀會ニ於テ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス

〔「拍手起ル」〕

○議長(大岡育造君) 今日ハ是ニテ散會

午後八時五十一分散會

衆議院議事速記第十九號正誤

頁	段	行	誤	正
二七一	下	三七	五百石六百石	五百萬石六百萬石
二七二	上	三六	三十五萬町步	二十五萬町步
二七三	中	三九	一石	二石
二八〇	下	一六	議事ガ	議事デ
二八〇	下	三〇	(委員長報告)	(委員長報告)(確定議)
二八〇	下	三四	(委員長報告)	(委員長報告)(確定議)